

FMV-BIBLO

情報 生活術 入門

BIBLOを
持って
外に出よう



節電機能を使う

パソコンを電話回線に接続する

インターネットを利用する

外出先でインターネットを使う

他のパソコンとデータを交換する

アプリケーションを使う

豆知識

索引



.....
本パソコンには次の4冊のマニュアルが用意されています。
目的に応じてお読みください。
.....

『安全上のご注意』

本パソコンを安全にお使いいただくための重要な情報が記載されています。
本パソコンをお使いになる前に必ずお読みください。

『本体&オプションガイド』

本パソコンを初めてお使いいただくときに必要な操作と、添付品やオプション機器の使いかたなどについて説明しています。本パソコンをお使いになる前、または必要なときにお読みください。

『リカバリガイド』

本パソコンを購入時の状態に戻す方法と、アプリケーションやドライバを再インストールする方法について説明しています。必要なときにお読みください。

『情報生活術入門』 本書のことです。

本パソコンを使いこなすためのヒントを紹介しています。本パソコンを外に持ち歩く場合、屋内で使う場合など、いろいろなシーンにあわせてお読みください。

.....

ごあいさつ

FMV-BIBLO MC/30 は、Windows98 を搭載した、小型、軽量のパソコンです。出張や旅行などにも手軽に持ち歩け、いつでもどこでも、ご自分の情報空間を広げることができます。



本書では、本パソコンにインストールされたソフトウェアの操作方法や、使いこなしのヒントについて説明しています。

なお、本書は、Windows98 の基本的な操作をご存知の方を対象とし、本パソコンをご購入になったときの設定状態に従って記述しています。


本書の表記について

【安全にお使いいただくための絵記号】

下の表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するための目印となるものです。内容をよくご理解のうえ、本文をお読みください。


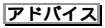



 警告	 注意
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

また、危害や損害の内容がどのような種類のものかを区別するために、上記の表示と同時に次のような記号を使っています。

記号の例とその意味	
	で示した記号は、警告・注意を促す事項があることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を示す絵(左の例の場合は感電注意)が示されています。

【その他の記号について】


本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
	知っている便利なことを記述しています。必要に応じてお読みください。
	覚えていただきたい用語を解説しています。パソコンを初めてお使いになる方はぜひお読みください。
	ご覧になっていただきたいマニュアルや、参照先を記述しています。

画面例および入力例について

- ・記載されている画面は一例で、1999年5月現在のものです。画面が若干異なる場合があります。
- ・お客様に入力していただく文字列(コマンドライン)などは、入力例の文字上に■をかけて表しています。
- ・特に指定がない場合、英数字、記号は半角で入力します。また、大文字と小文字の区別はありません。入力時に空白を入れる必要がある場合は、以下のように表しています。

dir c:

この場合は、「dir」と入力したあとに  を1回押し、続けて「c:」と入力してください。

製品の呼びかたについて

製品名称を、次のように略して表記しています。

製品名称	本書での表記
Microsoft® Windows® 98 operating system	Windows98
Microsoft® MS-DOS® operating system Version 6.2/V	MS-DOS
Microsoft® Internet Explorer 5.00	Internet Explorer
Microsoft® IME 98	MS-IME98
TranXit® Version 3.0	TranXit
10円メールマスター Ver.2	10円メールマスター
Intellisync® for Notebooks	Intellisync
VirusScan for Windows 95/98	VirusScan

機種名の表記について

FMV-BIBLO MC/30を、本パソコンと表記しています。

目次

マニュアルの読み方	
ごあいさつ	i
本書の表記について	ii
本書の構成	viii

第1章 節電機能を使う 1

作業を中断するときの終わりかた・始めかた	2
一時停止(サスペンド)休止(Save To Disk)終了の3つの終わりかた ...	2
ディスプレイや状態表示LCDの状態にあわせて開始する	4
節電機能とバッテリーの残量アラーム機能の設定	5
節電するための操作と設定	5
節電状態から自動的に元の状態に戻す	7
バッテリー残量を確認する	8
バッテリー残量低下時のアラームの設定	9

第2章 パソコンを電話回線に接続する 11

インターネット:こうすれば使える	12
InfoWeb(プロバイダ)を利用する場合	12
他のプロバイダを利用する場合	13
電話回線に接続するには	14
室内の電話回線に接続する	14
携帯電話やPHSを接続する	14
公衆電話に接続して通信をする	16

第3章 インターネットを利用する 19

FMV-BIBLOでインターネット	20
世界中のパソコンをつなぐインターネット	20
インターネットで利用できるいろいろなサービス	21
InfoWeb(プロバイダ)でインターネットを利用する	23
InfoWebの無料体験サービスを利用するとき	23
InfoWebに加入してインターネットを始める	23
すでにInfoWebに加入しているときは	23
他のプロバイダでインターネットを利用する	24
他のプロバイダに加入するときは	24
すでに他のプロバイダに加入しているときは	25
インターネットへの接続設定を調整する	33

ホームページを表示する	39
インターネットに接続する	39
インターネットとの接続を切る	41
ホームページの見かた	43
ミニ情報:Internet Explorerを活用する	44
ツールバーの表示を変える / ページの表示を最新にする / 「戻る」ボタンで戻れないのは / 一気に戻るには	
ホームページを探す	45
ホームページを印刷する	47
ホームページの保存とオフラインでの見かた	48
ミニ情報:ホームページを活用する	54
ホームページのデータを文書などに貼る / 必要な範囲を印刷する / ページの表示を早くする	
Eメールを利用する	55
使いやすい設定にする	55
メールを書いてすぐに送信だけ行う	57
書いたメールを送り自分宛メールを受信する	60
メールの一覧やメールの中身の見かた	64
ミニ情報:メールの作成や送信に便利な機能	65
送り先の指定を使い分ける / アドレス帳にアドレスを登録 / アドレス帳を利用する / メールに自分の署名を入れる	
ミニ情報:受信メールの活用と整理に便利な機能	68
受信した添付ファイルを利用する / メールのカテゴリと整理 / 受信後もメールをサーバーに残す	
インターネットに接続できないときは	72
モデムと所在地情報の設定の確認	72
インターネットへの接続設定の確認	73
モデムの点検と調整	76

第4章 外出先でインターネットを使う 81

外出先の電話回線や携帯電話からの接続の設定	82
InfoWebを外出先で利用する	82
他のプロバイダを外出先で利用する	83
外出先や携帯電話で接続する	85
Internet ExplorerやOutlook Expressで接続する	85
インターネット接続設定を使って接続する	87

第 5 章 他のパソコンとデータを交換する	8 9
Intellisyncでパソコンとデータをやりとりする	90
Intellisyncの使用に必要なハードウェア	90
標準モード(IrDA)で赤外線通信を行うときは	92
データ転送が行えるように設定する	93
Intellisyncの制限事項	96
Intellisync以外の方法でパソコンとデータをやりとりする	97
第 6 章 アプリケーションを使う	9 9
アプリケーションのご紹介	100
目的地への乗り継ぎと運賃を調べる	103
基本的な使いかた	103
駅名の入力を楽しむ	104
探査結果の画面の利用方法	105
その他の使いかた	106
コンピュータウイルスを検査し除去する(VirusScan)	108
VirusScanの働き	108
ウイルスの検査と除去のしかた	109
ご使用上の注意事項	112
10円メール(携帯電話専用)を使う	114
10円メールとは	114
10円メールを使う前の準備	114
メールを送信する	117
メールを受信する	119
アプリケーションのインストールと削除	121
アプリケーションをインストールする	121
インストール後に行うことが必要な操作	124
アプリケーションを削除する	125
第 7 章 豆知識	1 2 7
ハードディスクを使いやすくする	128
ハードディスクに異常がないか調べる(スキャンディスク)	128
不要なファイルを自動検出して削除する(ディスククリーンアップ)	129
操作をしやすくする	131
ミニ情報: 画面を見やすくする	131
マウスポインタを見やすくする / 文字を大きく表示する	

ミニ情報:操作方法を変える	133
Webページを表示しない / ファイルの実行をダブルクリックで / 画面もクリック方法も従来のスタイルにする	
マルチメディアファイルを楽しむ	134
スピーカーの音量を調整する	134
マイクを使って録音する	135
ミニ情報:マルチメディアファイルを開く	136
よくある操作を楽しむ	137
ミニ情報:特殊な文字や記号を入力する	137
読みのわからない漢字を手書き入力する / 記号を入力する / (チルダ)を入力する	
ミニ情報:ファイルを探して中を見る	138
フォルダの階層関係を表示する / ファイルを探す / フォルダ内のファイルの並び替え / テキストや画像を見る / 画像やインターネット文書を見る / ファイルを速く開く / 右クリックメニューの「送る」でファイルを開く	
索引	141

本書の構成

節電機能を使う	本パソコンを携帯して使用するときを活用したい節電方法や作業の中断・再開方法を説明しています。
パソコンを電話回線に接続する	本パソコンで通信するときの、室内の電話回線、携帯電話、公衆電話への接続と設定方法を説明しています。
インターネットを利用する	インターネットのホームページを見たり、Eメールをやりとりする方法などについて説明しています。
外出先でインターネットを使う	外出先や携帯電話からのインターネットへの接続方法を説明しています。
他のパソコンとデータを交換する	Intellisyncなどを利用して、本パソコンと他のパソコンとでデータをやりとりする方法を説明しています。
アプリケーションを使う	本パソコンに添付されているアプリケーションの概要や、他のアプリケーションのインストール方法について説明しています。
豆知識	ハードディスクの効率的な使用方法など、本パソコンを使ううえで参考になる情報を記述しています。
索引	必要な情報がすぐに見られるよう、索引をご用意しています。

第 1 章

節電機能を使う

本パソコンは、バッテリーだけでも使うことができますが、バッテリーで使用できる時間には限りがあります。使っている途中でバッテリーが切れて、大切なデータをなくしてしまわないように、節電に心がけましょう。この章では、バッテリーの節電方法について説明します。

セットアップを済ませた
ピブ朗君、さっそく BIBLO を
カバンにつめ込んで
彼女とデート...

こんなに小さい
パソコン買ったん
だよ。外でも
使えるんだ。

こうやって...
あ、あれっ

ばっ
た
り
が...

どうし
たの?

あらっ？、充電してこなかったのでしょうか？
せっかく自慢しようと思ったのに残念ですね。

この章では、次の内容を説明しています。

- ・作業をしばらく中断しておく方法(●▶ P.2)
- ・中断する前の状態にすばやく戻る方法(●▶ P.4)
- ・何も操作をしないときに自動的に節電する方法(●▶ P.5)
- ・節電状態から元に戻る方法(●▶ P.7)
- ・バッテリー残量が少なくなったら知らせてもらう方法(●▶ P.9)

作業を中断するときの 終わりかた・始めかた



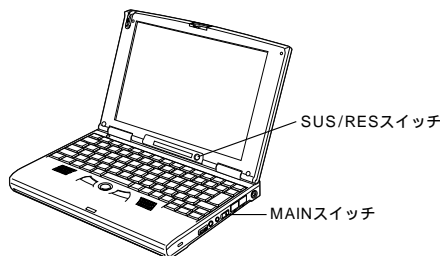
ここでは、節電したりスピーディに作業が再開できるように、操作の終わりかたと始めかたを説明します。

一時停止(サスペンド)、休止(Save To Disk)、終了の3つの終わりかた

本パソコンでの操作の終わりかたには、一時停止(サスペンド機能)、休止(Save To Disk機能)、終了の3つの方法があります。

作業の中断方法の比較 (中断前の状態に戻すときの早さ)

サスペンド(一時停止)状態	一番早い
Save To Disk(休止)状態	2番目に早い
Windows98を終了した状態	Windows98の起動からやり直すことが必要



現在の状態をメモリに保存して一時停止する(サスペンド機能)

使用しているアプリケーションなどをそのままにしておいて、操作を中断します。

サスペンド(一時停止)とは

- 現在の作業状態がメモリに保存されて、電力消費の少ない一時停止の状態になります。これをサスペンド状態といいます。Windows98の画面では「スタンバイ」という言葉で表示されます。
- サスペンドすると、画面は真っ暗になり、ハードディスクなどメモリ以外の大部分の装置は動作を停止します。

サスペンドとレジューム(復帰)

- サスペンドにするときは、SUS/RESスイッチを押します。
- 再開するときも、SUS/RESスイッチを押します。すぐに、サスペンドにする前の状態に戻ります。

サスペンドする前の状態に戻ることをレジューム(復帰)といいます。

現在の状態をハードディスクに保存して休止する(セーブトゥードィスク機能)

使用しているアプリケーションなどをそのままにしておいて、操作を中断します。

Save To Diskでの休止とは

- 現在の作業状態がハードディスクに保存されて、電源を切った休止状態になります。
この働きを「Save To Disk」機能といいます。
- 休止すると電力を消費しません。MAINスイッチをOFFにすることもできます。

休止(Save To Disk)とレジューム

- 休止するときは **[Fn]** を押しながら SUS/RES スイッチを押します。
- 再開するときは SUS/RES スイッチを押します。少ししてから、休止する前の状態に戻ります。
休止する前の状態に戻ることもレジューム(復帰)といいます。

Windows 98 を終了する

使用中のアプリケーションをすべて終了した後、Windows 98 を終了します。

操作を再開するときは、電源を入れて Windows 98 を起動することから始める必要があります。

Windows 98 を終了する操作を行うと、本パソコンの電源が自動的に切れます。

コラム

サスペンド状態にしていられるのは

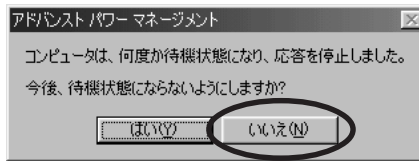
- バッテリーだけで使用している状態では、バッテリーを使いきるとメモリに保存した作業状態が失われます。サスペンド状態にしておくのは、バッテリーを使いきるまでです。
- AC電源に接続していれば、メモリの内容は常に維持されるので、いつでも一時停止する前の状態に戻せます。

休止(Save To Disk)状態にしていられるのは

Save To Disk 機能では、作業状態をハードディスクに保存します。そのためバッテリー切れになってもAC電源を接続すれば、休止する前の状態に戻せます。

「今後、待機状態にならないようにしますか」が表示されたら

サスペンド状態のときに、MAINスイッチで電源を切ったり異常終了したりすると、次のメッセージが表示される場合があります。



このメッセージが表示された場合は、必ず「いいえ」をクリックしてください。「はい」をクリックすると、以降サスペンド機能が使用できなくなります。

ディスプレイや状態表示LCDの状態にあわせて開始する

作業を開始するときは、液晶ディスプレイやMAINスイッチと状態表示LCDの①の状態を確認して、次のように操作します。

液晶ディスプレイを閉じているとき

MAINスイッチがOFFになっている場合

液晶ディスプレイを開いてMAINスイッチをONにすると、休止状態からレジュームするか、Windows98が開始します。

液晶ディスプレイを開いているとき

状態表示LCDの①が点滅している場合

サスペンド(一時停止)状態になっています。SUS/RESスイッチを押します。

状態表示LCDに①が点灯している場合

画面の電源だけ切る節電機能が働いて、画面の表示が消えています。クイックポイント を動かします。

状態表示LCDに①が表示されていない場合

Save To Disk機能で休止状態にしているか、Windows98を終了しています。

MAINスイッチがONであれば、SUS/RESスイッチを押します。

MAINスイッチがOFFであれば、ONにします。



節電機能とバッテリーの 残量アラーム機能の設定



ここでは、本パソコンの電力消費を節約したり、バッテリーの残量を管理するための機能を説明します。

節電するための操作と設定

本パソコンには、次のような節電機能があります。

- ・操作しないときに自動的に節電する
- ・操作を中断するときに節電状態にする
- ・画面の明るさを落として節電する

操作しないときに自動的に節電する

パソコンを使用しているときに、しばらく何も操作をしなければ、画面を暗くするなど自動的に節電するように設定しておくことができます。

バッテリーだけで使用しているときの標準の設定

標準の設定(ご購入時の状態)では、電源を入れた状態で何も操作をしないと、次のように節電の状態になります。

- ① 液晶ディスプレイのバックライトが消え、真っ暗な状態になる。(5分後)
- ② サスペンド状態(一時停止状態)になる。(15分後)

自動的に節電する設定を変更するには

- ・①、②の設定は、Windows98のコントロールパネルにある「電源の管理」で変更できます。
- ・「電源の管理」では、ACアダプタを使用している場合についても、①、②の設定が行えます。

操作方法は、Windows98のヘルプをご覧ください。

節電状態から元の状態に戻すには

- ・画面が暗くなったとき(①)は、クイックポイントに触るか、**[Shift]**を押すと元の状態に戻ります。
- ・サスペンド機能が働いたとき(②)は、SUS/RESスイッチを押すと、元の状態に戻ります。

アドバイス

BIOSセットアップの設定との関係

- ・①、②は、BIOS^{バイオス}セットアップの「省電力」メニューでも設定できます。
- ・BIOSセットアップの「省電力」メニューの「サスペンド動作」を「Save To Disk」にしている場合は、②で休止状態になります。

以上の設定方法は ●▶『本体 & オプションガイド』の「第4章 ハードウェア環境を設定する」

操作を中断して節電状態にする

操作を中断するときは、サスペンド機能やSave To Disk機能を利用して、節電することができます。

サスペンド状態にする操作

- ・次の3つの操作のどれを行っても、サスペンド(一時停止)状態になります。
 - (A) SUS/RESスイッチを押します。
 - (B) 「スタート」メニューから「Windowsの終了」を選択し「スタンバイ」を選びます。
 - (C) 液晶ディスプレイを閉じます。
- ・サスペンド状態から復帰(レジューム)するときは、次の操作を行います。
 - * SUS/RESスイッチを押します。

休止(Save To Disk)状態にする操作

- ・次の操作を行うとSave To Disk機能が働いて休止状態になります。
 - (D) **[Fn]** を押しながらSUS/RESスイッチを押します。
- ・休止状態から復帰(レジューム)するときは、次のいずれかの操作を行います。
 - * MAINスイッチがONであれば、SUS/RESスイッチを押します。
 - * MAINスイッチがOFFであれば、ONにします。

アドバイス

サスペンドの操作で休止状態にすることもできる

BIOSセットアップの「省電力」では、次のように各機能の働きかたを変更できます。

- ・(A)~(C)の操作で、サスペンド(一時停止)状態ではなく休止状態になる。
- ・液晶ディスプレイを閉じて、サスペンドしない。(C)
- ・液晶ディスプレイを開けると、レジュームする。
- ・SUS/RESスイッチを押しても、サスペンド(A)や休止(D)しない。

設定方法は ●▶『本体 & オプションガイド』の「第4章 ハードウェア環境を設定する」



画面の明るさを落として節電する

ピーエムセット
PMSet98の機能を利用すると、画面の明るさを落として節電することができます。

画面の明るさの標準の設定

PMSet98では、バッテリーだけで使用していると画面が暗くなるように、ACアダプタで使用していると画面が明るくなるように標準で設定されています。

画面の明るさを切り替える操作

画面の明るさを切り替えるときは、タスクバーのPMSet98のアイコン()、)がデスクトップのバッテリーのインジケータをダブルクリックして「PMSet98のプロパティ」ウィンドウを表示し、設定を変更します。

操作方法は、PMSet98のヘルプをご覧ください。

節電状態から自動的に元の状態に戻す

ここでは、サスペンド(一時停止)状態から自動的に元の状態に戻す方法を説明します。

時刻やモデム着信で元の状態に戻す

指定した時刻になったときか、モデムの着信(モデムが電話を受けた)があったときにレジュームするように設定できます。

ただし、PDCコネクタに接続した携帯電話からの着信ではレジュームしません。

指定した時刻になったら復帰する設定

(E) BIOSセットアップの「省電力」の「時刻によるレジューム」で設定します。

モデム着信で復帰する設定

Windows98を起動した状態では、モデム着信で復帰するように設定されません。

(F) PMSet98は、復帰する・しないを切り替えることができます。標準では復帰しない設定になっています。

(G) PMSet98が起動しているときは、BIOSセットアップの「省電力」の「モデム着信によるレジューム」でも、復帰する・しないを切り替えることができます。

指定した時刻にプログラムを自動実行して再開する設定

(H) タスクバーにあるタスクスケジューラでタスクを自動実行するように設定します。

BIOS セットアップの「モデム着信によるレジューム」とPMSet98のレジュームの設定は ●▶『本体&オプションガイド』の「節電の設定を変更する」BIOSセットアップの設定は ●▶『本体&オプションガイド』の「第4章 ハードウェア環境を設定する」

アドバイス

自動的にレジュームする場合の制限

- ・Save To Disk機能で、休止状態になっているときは、(E)~(H)でレジュームすることはできません。
- ・モデム着信でレジュームするように設定した場合は、BIOSセットアップの「省電力」メニューの「サスペンド動作」を「Save To Disk」に設定してあっても、サスペンド時には一時停止(サスペンド)状態になります。

バッテリー残量を確認する

バッテリーの残量は、次の方法で確認できます。

状態表示LCDで確認する

表示内容は『本体&オプションガイド』の「バッテリーの残量表示を確認する」をご覧ください。

「PMSet98」で確認する

デスクトップのバッテリーのインジケータで確認できます。





： があればACアダプタに接続中。




： が黄色のときは充電中。



： バッテリーだけで使用中。グレー部分が消費した割合を表示。

インジケータか、またはタスクバーの  か  にクイックポイント でマウスポイントを合わせると、電源の使用状態とバッテリー残量が表示されます。操作方法は、PMSet98のヘルプをご覧ください。

コントロールパネルの  (電源の管理)で確認する

コントロールパネルの  (電源の管理)をクリックし、表示された「電源の管理のプロパティ」ウィンドウで「電源メーター」タブをクリックします。

操作方法は、Windows98のヘルプをご覧ください。

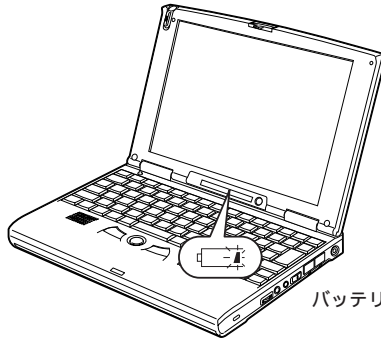
バッテリー残量低下時のアラームの設定

バッテリー残量が少なくなったときは、メッセージや音などで警告したり、バッテリー切れを防ぐために節電状態に切り替えることができます。

「バッテリー残量低下で自動的に節電する」

バッテリー残量低下時の電源アラームの設定

標準の設定(ご購入時の状態)では、バッテリー残量が減少すると、次のようにメッセージや音などで警告したり、節電状態に切り替わります。



バッテリー残量表示

バッテリーの残量が13%になったとき...バッテリー低下を警告するメッセージが表示される。

バッテリーの残量が12%になったとき...「ピー」という警告音が一定間隔で鳴り続け、状態表示LCDの「バッテリー残量表示」が点滅する。

バッテリーの残量が3%になったとき...バッテリー低下を警告するメッセージが表示され、サスペンド(一時停止)状態になる。

バッテリーの残量が0%になったとき...サスペンド状態になる。

「電源の管理」で変更できるもの

- ・ と はWindows98のコントロールパネルにある「電源の管理」で変更できます。

「電源の管理」では、バッテリーの残量に応じて、メッセージを表示したり、サスペンドまたはシャットダウン(終了)するように設定できます。

ご購入時には、「電源の管理」は本パソコンに適した設定になっています。変更する必要はありません。

- ・ と は、本パソコン独自の機能です。「電源の管理」では変更できません。

バッテリー切れが警告されたときの対処方法やバッテリーの充電方法は ●▶『本体&オプションガイド』の「バッテリーで使う」

第2章

パソコンを電話回線に接続する

インターネットを使うための、最初の一步が電話回線に接続することです。

ここでは、室内の電話回線に接続する方法と、
携帯電話や公衆電話に接続する方法を説明します。

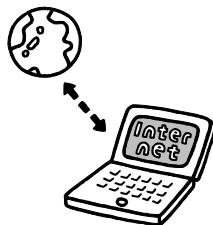


おややピブ朗君、モジュラーケーブルではつなげませんよ。
携帯電話につなぐときには、専用のケーブルを使いましょう。

この章では、次の内容を説明しています。

- ・インターネットを使えるようにするには、どうすればよいか。
(●▶ P.12)
- ・自宅など室内の電話回線に接続する方法 (●▶ P.14)
- ・携帯電話やPHSに接続する方法 (●▶ P.14)
- ・ISDN公衆電話(グレーの公衆電話)から通信する方法 (●▶ P.16)

インターネット： こうすれば使える



ここでは、自宅や会社などで室内の電話回線を使ってインターネットを利用するときの操作の進めかたを説明します。

アドバイス

外出先や携帯電話でインターネットに接続するには

以下の設定作業を行って、室内の電話回線を使ってインターネットに接続できるようにしてから、「外出先の電話回線や携帯電話からの接続の設定」(●▶ P.82)をご覧ください。

InfoWeb(プロバイダ)を利用する場合

プロバイダとしてInfoWebを利用するときは、次の順番で操作を行ってください。

電話回線に接続する

本パソコンを室内の電話回線に接続します。

●▶ 「電話回線に接続するには」(P.14)



インターネットへの接続の設定をする

インターネットを試してみたいときは

次のマニュアルで設定方法とインターネットの利用方法をご覧ください。

●▶ 『はじめよう！インターネット(InfoWeb)』

InfoWebに加入してインターネットを始めるときは

次のマニュアルで接続の設定を行ってから、に進んでください。

●▶ 『はじめよう！インターネット(InfoWeb)』

すでにInfoWebに加入しているときは

次のマニュアルで接続の設定を行ってから、に進んでください。

●▶ 『はじめよう！インターネット(InfoWeb)』



インターネットを使う

- ▶「ホームページを表示する」(P.39)
- 「Eメールを利用する」(P.55)

用語 プロバイダ

インターネットへの接続サービスを提供する業者。インターネット接続サービスプロバイダの略。

他のプロバイダを利用する場合

InfoWeb以外のプロバイダを利用するときは、次の順番で操作を行ってください。

電話回線に接続する

本パソコンを室内の電話回線に接続します。

- ▶「電話回線に接続するには」(P.14)



インターネットへの接続の設定をする

プロバイダに加入してインターネットを始めるときは加入の申し込みと接続の設定が必要です。

- ▶「他のプロバイダに加入するときは」(P.24)

すでにプロバイダに加入しているときは

インターネットに接続するための設定を行います。

- ▶「すでに他のプロバイダに加入しているときは」(P.25)



インターネットを使う

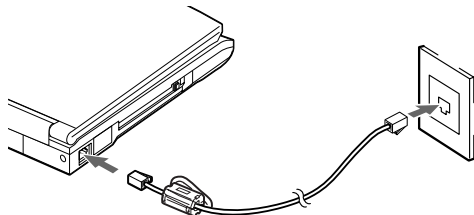
- ▶「ホームページを表示する」(P.39)
- 「Eメールを利用する」(P.55)

電話回線に接続するには



室内の電話回線に接続する

壁のモジュージャックから、電話機を接続しているモジュラーケーブルを外し、代わりに本パソコンを、添付のモジュラーケーブルで接続します。



接続の詳細は、『本体&オプションガイド』の「電話回線に接続する」をご覧ください。

接続作業が終了したら以下の箇所をご覧ください。

インターネットをInfoWebで利用するときは ●▶「InfoWeb(プロバイダ)を利用する場合」(P.12)

インターネットを他のプロバイダで利用するときは ●▶「他のプロバイダを利用する場合」(P.13)

携帯電話やPHSを接続する

本パソコンに携帯電話やPHSを接続して、インターネットやパソコン通信を利用することができます。

接続のしかたは、『本体&オプションガイド』の「携帯電話やPHSを使う」をご覧ください。

接続作業が終了したら、「外出先の電話回線や携帯電話からの接続の設定」(●▶P.82)をご覧ください。

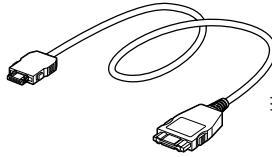
デジタル携帯電話を接続する場合

デジタル携帯電話で通信する場合は、PDCコネクタに接続できる機種であれば、添付の「携帯電話接続ケーブル」で接続できます。その他の機種の場合は、別売の「デジタル携帯電話接続カード」を使用します。

PDCコネクタ用の「携帯電話接続ケーブル」を使う場合

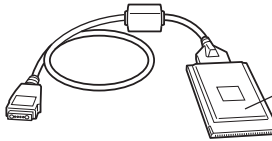
デジタル携帯電話を本パソコンの背面にあるPDCコネクタに、携帯電話接続ケーブルを使って接続します。

詳しくは『本体 & オプションガイド』の「携帯電話やPHSを使う」をご覧ください。



携帯電話接続ケーブル

デジタル携帯電話接続カードを使う場合
接続カードにデジタル携帯電話を接続して、接続カードを本パソコンのPCカードスロットに挿入して使用します。

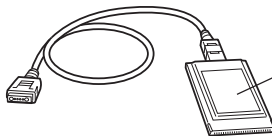


デジタル携帯電話
接続カード

PHSを接続する場合

32Kbps以上のデータ通信(PIAFS^{ピアフ})対応のPHSで通信する場合は、別売の「PHS接続カード(PIAFS対応)」が必要です。

接続カードにPHSを接続して、接続カードを本パソコンのPCカードスロットに挿入して使用します。



PHS接続カード
(PIAFS対応)

アドバイス

PIAFSに対応していないPHSで通信するには

- ・PIAFSに対応していないPHSは、PHS接続カードには接続できません。
- ・PIAFSに対応していないPHSで通信するには、別売の「モデムカード2400」を使用して「無線電話接続ケーブル」で接続してください。

用語 PIAFS(ピアフ)

PHS Internet Access Forum Standardの略で、PHSによるデジタルデータ通信の標準規格のこと。PHSのデジタル通信回線(32Kbps以上)を利用して、非常に高速な通信が行えるが、相手側のアクセスポイントや端末もPIAFSに対応している必要がある。

公衆電話に接続して通信をする

外出時にモジュラーケーブルを用意しておけば、ISDN公衆電話(グレーの公衆電話)に接続して、通信することができます。

必要な準備


公衆電話からインターネットを利用するためには、以下の設定が済んでいる必要があります。

- プロバイダに加入して、接続するための設定が済んでいる。
- 外出先から近くのアクセスポイントに接続するための設定が済んでいる。発信元のダイヤル方法は「トーン」に、外線発信番号は削除しておく必要があります。
- 内蔵モデムで接続するようになっている。

これらの設定については、「第4章 外出先でインターネットを使う」(▶ P.81)をご覧ください。

重要

バッテリーだけで使用しているときは

- 通信中に  (状態表示LCDのバッテリー残量表示) が点滅を始めたなら、間もなくバッテリーがなくなります。ただちに通信を終了し、充電してください。
 - 通信中にバッテリーが完全になると、インターネットに接続したままで、電源だけが切れてしまいます。この場合は、MAINスイッチをOFFにしてからモジュラーケーブルを抜いて、電話回線との接続を切ってください。
- インターネットのプロバイダとの通信では、一定時間データの送受信がないと、自動的に接続が切断されますが、それまでの電話料金や利用料金がかかってしまいます。

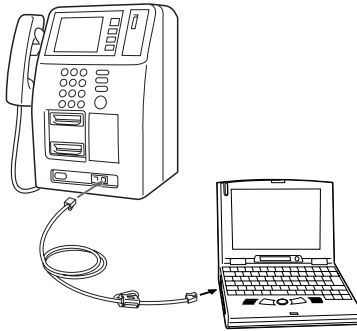
操作の方法

モジュラーケーブルを使って、ISDN公衆電話から通信します。
公衆電話は公共の施設なので、長時間の通信には利用しないようにしましょう。

警告

感電 機器を接続するときは、必ずパソコン本体のMAINスイッチをOFFにしてください。
感電の原因となります。

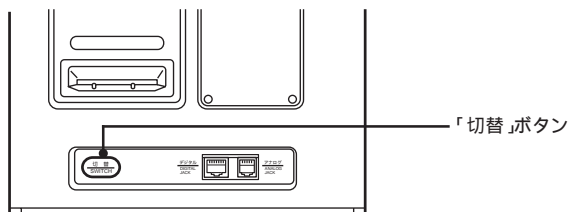
- 1 モジュラーケーブルを本パソコンのモジュラーコネクタと、公衆電話の「アナログ」と書かれた接続口に接続します。

**アドバイス**

別売のISDNカードを取り付けているときは

モジュラーケーブルを公衆電話の「デジタル」と書かれた接続口に接続します。詳しくは、ご使用のISDNカードのマニュアルをご覧ください。

- 2 本パソコンのMAINスイッチをONにします。
- 3 Windows98 が起動したら、以下の操作を行います。
インターネットに接続するときは所在地情報を設定し、「ダイヤルアップの接続」ウィンドウでインターネット接続設定を選択し、パスワードを入力しておきます。●▶「Internet ExplorerやOutlook Expressで接続する」(P.85)
- 4 公衆電話の「切替」ボタンまたは「データ通信」ボタンを押します。
これでダイヤルなどの操作を本パソコンから行えるようになります。



5 テレホンカードを入れます。

硬貨でも利用できます。通信の途中で電話が切れないように、度数に余裕のあるテレホンカードのご利用をお勧めします。

6 本パソコンで接続の操作を行います。

インターネットに接続する場合は、「ダイヤルアップの接続」ウィンドウの「接続」をクリックします。

アドバイス

通信を終了してもテレホンカードが出てこないときは

Windows98を終了し、MAINスイッチをOFFにして、モジュラーケーブルを取り外してください。

.....

第3章

インターネットを利用する

本パソコンには、簡単な操作でインターネットのプロバイダに加入して、すぐにインターネットを始めることができるアプリケーションが入っています。

ここでは、インターネットに接続するための設定方法や実際にインターネットを使うときの操作方法を説明します。

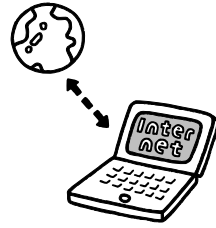


ピブ朗君も、やっと覚えたばかり。
彼女には、うまく伝わらなかったようですね...

この章では、次の内容を説明しています。

- ・インターネットってどんなもの?(**▶ P.20)
- ・InfoWebでのインターネットの始めかた(**▶ P.23)
- ・他のプロバイダでのインターネットの始めかた(**▶ P.24)
- ・ホームページの楽しみかた(**▶ P.39)
- ・Eメールの活用方法(**▶ P.55)
- ・うまく接続できないときの対処方法(**▶ P.72)

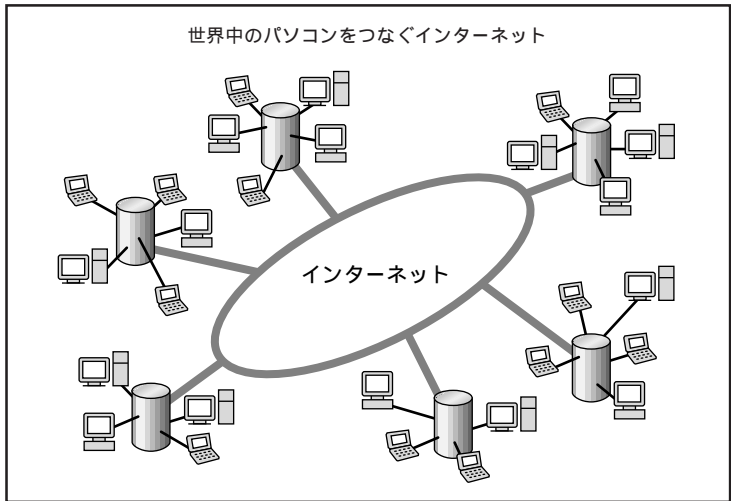
FMV-BIBLOで インターネット



世界中のパソコンをつなぐインターネット

インターネットとは、電話やFAXのように世界中のコンピュータをつなぎ、お互いにデータをやりとりできるようにする仕組みのことです。

自分のパソコンを電話回線につなぎ、最寄りのアクセスポイントに接続するだけで、世界中のインターネットユーザーとEメールを交換したり、ホームページを見たり、ホテルや航空券を予約したり、有名ブランドショップに欲しいものを注文したりと、目的に合わせてインターネットを楽しむことができます。



用語 アクセスポイント

インターネットのプロバイダ(サービス提供会社)やパソコン通信に接続するとき、それらのサービスを行っている会社が指定した電話番号にダイヤルする。この電話番号を「アクセスポイント」という。インターネットのプロバイダ「InfoWeb(インフォウェブ)」では、日本全国の主要な都市にアクセスポイントを用意している。

インターネットの利用には、プロバイダとの契約が必要

インターネットを利用するには、ネットワーク内での自分の連絡先(アドレス)を決める必要があります。アドレスがないと、電子メールを交換したり、いろいろな情報サービスを受けることができません。アドレスは、インターネットのサービスを提供する会社(プロバイダ)と契約することによって取得できます。

インターネットで利用できるいろいろなサービス

インターネットには、国内、海外を問わず、多彩なサービスが用意されています。ここでは、最もよく利用される、「ホームページ探索」、「オンラインショッピング」、「電子メール」を紹介します。

ホームページ探索(WWW)

インターネットが急速に普及したのは、WWW(ワールドワイドウェブ)を利用すると、世界中のさまざまな情報に対して自由にアクセスし、文字だけでなく、画像、音声、動画などを含むマルチメディア情報を取り出せるからです。数え切れないほどの企業や個人が、WWWを利用して、自分の活動や最新の製品情報などを紹介する「ホームページ」を公開しています。また、自分でホームページを作成して、世界中のインターネットユーザーに向けて情報を発信することも、簡単にできます。

さまざまなホームページの間には、「リンク」と呼ばれる関連付けが設定されているので、自分の関心がある情報をクリックするだけで、別のホームページを表示させて情報を得ることができます。

用語 WWW

World Wide Webを略したもの。「世界中にクモの巣のように広がる(情報の網)」という意味。「ワールドワイドウェブ」または「トリプルダブリュ」と読む。また、単に「ウェブ」ともいう。

オンラインショッピング

ホームページでカタログが見られるようにして、インターネット上で通信販売(オンラインショッピング)をしている所も数多くあります。世界中のさまざまな商品をウィンドウショッピング感覚で見たり、実際に注文して、手軽に個人輸入を楽しむこともできます。ただし、オンラインショッピングで商品を購入するときは、契約条件をよく読んで、トラブルに気をつけてください。

Eメール(Electric Mail:電子メール)

Eメールはいつでも、どこからでも、電話回線を通じて瞬時に手紙を送ることができ、自分宛の手紙は自分の都合のよい時間にパソコン上で読むことができます。また、複数の相手に一度に同じEメールを送ったり、Eメールにパソコンのファイルを添付して送ることもできます。

最寄りのアクセスポイントに電話するだけで手紙やデータのやりとりができるので、通信費が安く済みます。また、やりとりするデータが電子データなので、受け取ったあとパソコンで自由に加工できる点でも、大変便利です。同じテーマに関心を持つ人々が、「メーリングリスト」というグループを作り、1通のメールを送るとグループの全員に同じものを配信できる仕組みもあります。

アドバイス

10円メールで、Eメールを簡単に利用することもできます

NTTドコモのデジタル携帯電話をお使いの方は、マスターネット(プロバイダのひとつ)が提供する「10円メール」の機能を利用して、携帯電話から簡単な操作でEメールのやりとりができます。詳しくは、「10円メール(携帯電話専用)を使う」(●▶ P.114)をご覧ください。

その他のサービス

インターネットは、今最も注目されている技術のひとつです。新しいサービスが次々に登場し、今も発展を続けています。ここでは、それらの中からいくつかを紹介します。詳しくは、それぞれのヘルプをご覧ください。

ニュースグループ

同じテーマに関心を持つ人々が、自由に情報や意見を交換する、掲示板のような仕組みのことで、世界中でさまざまな議論が交わされているので、のぞいてみるだけでも面白いでしょう。

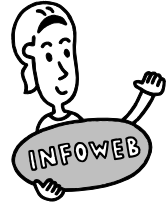
本パソコンでは、アウトLOOK エクスプレス「Outlook Express」で利用できます。

インターネット会議

音声データをリアルタイムにやりとりすることで、インターネットを電話のように利用することができます。同時にビデオ画像をやりとりすればテレビ電話にもなり、離れた場所にいる人とでも一緒に会議ができます。

本パソコンでは、マイクロソフト ネットミーティング「Microsoft NetMeeting」で利用できます。

InfoWeb(プロバイダ)で インターネットを利用する



インターネットを利用するには、プロバイダと契約することが必要です。
インフォウェブ
 InfoWebは、弊社が提供するプロバイダサービスです。

InfoWebの無料体験サービスを利用するとき

本パソコンには、InfoWebを通してインターネットを試しに5時間まで使ってみることができるサービスが付いています。

本パソコンを電話回線に接続するだけで、すぐにさまざまなホームページを見ることができます。

無料体験サービスの利用方法は ●▶ 『はじめよう！インターネット (InfoWeb) 』

InfoWebに加入してインターネットを始める

InfoWebには、本パソコンから電話回線を通して加入の申し込みが行えます。加入したその日から、すぐにインターネットを利用できます。

加入後は、ホームページを見るだけでなく、メールをやりとりしたり、自分のホームページを作るなど、インターネットを本格的に活用することができます。

InfoWebへの加入方法は ●▶ 『はじめよう！インターネット(InfoWeb) 』

すでにInfoWebに加入しているときは

すでに加入されている場合は、InfoWebに接続するための設定を行えば、インターネットを利用できます。

『はじめよう！インターネット(InfoWeb) 』の「ダイヤルアップ設定」を利用すると、簡単な操作で設定することができます。

設定方法は ●▶ 『はじめよう！インターネット(InfoWeb) 』

他のプロバイダでインターネットを利用する



ここでは、InfoWeb以外のプロバイダでインターネットを利用するときに必要なとなる接続の設定について説明します。

他のプロバイダに加入するときは


プロバイダへの加入方法は、プロバイダ各社によってさまざまです。プロバイダ各社の資料に従って加入の手続きを行ってください。

アドバイス

InfoWeb以外のプロバイダにオンラインサインアップするには

オンラインサインアップで加入するには、次の2つの方法などがあります。

「インターネット接続ウィザード」で行う

- ・インターネット接続ウィザードは、「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」_」「アクセサリ」_」「通信」の順にマウスポインタを合わせ、「インターネット接続ウィザード」をクリックして開始します。
- ・インターネット接続ウィザードの「インターネット接続ウィザードによるこそ」というウィンドウで、「新しいインターネットアカウントに...」をクリックし、にして「次へ」をクリックすると、オンラインサインアップができるようになります。その後の操作は画面の指示に従って行ってください。

「オンラインサービス」を利用する

- ・オンラインサービスは、「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」_」「オンラインサービス」の順にマウスポインタを合わせ、加入するプロバイダやサービスの名前をクリックして開始します。その後の操作は、画面の指示に従って行ってください。

コラム

「インターネット接続設定」とは

- ・インターネットへの接続に使用する設定です。
アクセスポイントに電話をかけ、プロバイダのサーバーに接続して、インターネットのネットワークに入るまでの設定を含んでいます。
主な設定内容は、アクセスポイントの電話番号、使用するモデム、接続先のネットワークに入るための情報(プロトコル)などです。
- ・インターネット接続設定は、Windows 98の「ダイヤルアップ接続」の機能を使用した設定です。作成した接続設定は、「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウに、アイコンとして表示されます。
- ・本書では、「インターネットへの接続設定」_」「インターネット接続の設定」_」あるいは「接続設定」などの表現で記載します。

すでに他のプロバイダに加入しているときは

ここではインターネット接続ウィザードを使って、インターネット接続設定 (●▶ P.24 コラム)を作成します。

また、インターネット接続ウィザードで以下の設定を行うと、Internet Explorer(ブラウザ)やOutlook Express(メールソフト)で、ホームページを見たり、メールをやりとりできるようになります。

設定する内容

インターネット接続ウィザードの各画面で設定する内容は、加入されているプロバイダによってそれぞれ異なります。

各プロバイダに接続する方法が記載されている資料を用意して、それに基づいて操作を行ってください。

インターネットへの接続の設定をする


インターネットへ接続するための設定を行います。

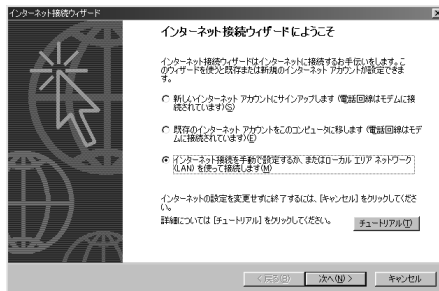
- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「アクセサリ」、「通信」の順にマウスポインタを合わせ、「インターネット接続ウィザード」をクリックします。

「インターネット接続ウィザードによるこそ」というウィンドウが表示されます。


インターネット接続の設定

プロバイダに接続するための接続先の電話番号や使用するモデムを設定します。


- 2 一番下の「インターネット接続を手動で...」をクリックして  にし、「次へ」をクリックします。



「インターネット接続の設定」というウィンドウが表示されます。

- 3 「電話回線とモデム...」が  になっているか確認して「次へ」をクリックします。

「モデムの選択」というウィンドウが表示されます。

- 4  をクリックし、一覧から使用するモデムをクリックして「次へ」をクリックします。

内蔵モデム(V.90 対応)を使用する場合は「 Fujitsu LB RWModem V.90 56K J 」を、携帯電話を「 携帯電話接続ケーブル 」で使用する場合は「 Fujitsu SOFT PDC 」を選択します。接続カードを使用する場合は、該当するものを選択します。

「ステップ 1: ... 」のウィンドウが表示されます。

- 5 接続先の電話番号と国名を設定します。

- 接続先(アクセスポイント)の市外局番と電話番号を入力し、「 国 / 地域名と国番号 」欄が「 日本 (81) 」になっていることを確認します。
- 「 国番号と市外局番を使ってダイヤルする 」が になっているか確認します。

- 6 「詳細設定」をクリックします。

画面の説明にある「 ISP 」とはインターネットサービスプロバイダのことです。

「詳細接続プロパティ」ウィンドウが表示されます。

インターネット接続の詳細設定

インターネットに接続するときに必要な、自分のコンピュータを特定するためのアドレス(IP アドレス)や、接続の橋渡しをするサーバー(DNS サーバー)のアドレスを設定します。

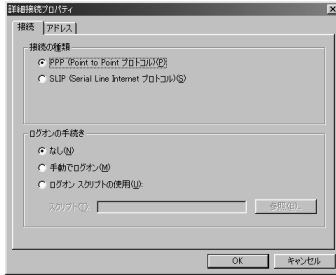
用語 DNSサーバー

DNSとは「 Domain Name System(ドメインネームシステム)」の略。「サーバー」とは、プロバイダに設置された、インターネットの接続サービス提供用コンピュータのこと。DNSサーバーは、インターネットに接続しているすべてのコンピュータに割り当てられているID番号(IP アドレス)とコンピュータ名^{アイピー}の照合を行う。これによって4組の数字を羅列したIPアドレスではなく、意味のある言葉でアドレスを指定できる。

7 接続の種類とログオンの手続きを設定して「アドレス」をクリックします。

「接続の種類」は「PPP」が☑になっていることを確認します。

「ログオンの手続き」が必要なプロバイダであれば、手続きの方法を設定します。



8 プロバイダの指示に従ってIPアドレスを設定します。

InfoWebなど多くの場合は「インターネット サービス プロバイダによる自動割り当て」を選びます。

9 プロバイダの指示に従ってDNSサーバーのIPアドレスを設定します。

- ・接続時に自動設定される場合

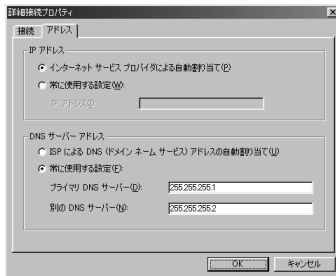
「ISPによる...自動割り当て」をクリックして☑にします。

- ・固定されている場合

「常に使用する設定」をクリックして☑にし、「プライマリDNSサーバー」

「別のDNSサーバー」の入力欄をクリックして、それぞれに入力します。

「別のDNSサーバー」はセカンダリ(副)ドメインネームサーバーのことです。



アドバイス

DNSサーバーのアドレスの入力

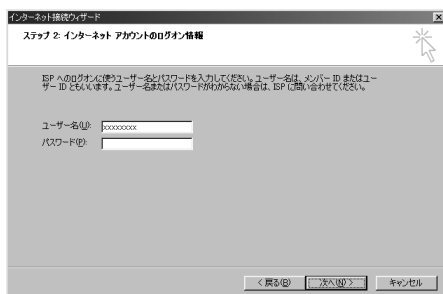
- ・DNSサーバーのアドレスがわからないときは、ご契約のプロバイダに問い合わせてください。
- ・DNSサーバーアドレスは、「202.248.2.226」などのように、255以下の4組の半角数字を「.」(半角ピリオド)で区切って入力します。

10 「OK」をクリックして「ステップ1:...」に戻り「次へ」をクリックします。

「ステップ2:...」のウィンドウが表示されます。

11 プロバイダから割り当てられた「ユーザー名」を入力します。

「ユーザー名」は、インターネットに接続するのに必要な名義(アカウント)です。ここでは、ユーザー名だけを入力することをお勧めします。



重要

入力する文字の種類に注意してください

ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字、全角と半角を間違えて入力すると、接続できないので注意してください。

ユーザー名とパスワードの両方を設定すると

接続時に、自動的にユーザー名とパスワードが入力されて接続します。接続操作が簡単になりますが、他人に勝手にインターネットに接続されるおそれがあります。

パスワードは、暗証番号に相当するものです

他人に知られないよう、取り扱いにご注意ください。

コラム

インターネットアカウント、ユーザー名、接続ID

インターネットのネットワークに参加する権利に付けた名前(アカウント、名義)プロバイダによっては、インターネットアカウント、ユーザー名、接続IDなどと呼ばれます。インターネットでは、このアカウントが参加者を特定するIDとして機能します。

インターネットに接続するときは、アカウントとそれに対応するパスワードを入力して参加の権利を証明します。インターネットへの接続後、メールの受信のために受信メールサーバーに接続する権利が、メールアカウント(POPアカウント)です。プロバイダによっては1つのアカウントで両方を兼ねています。

12 「ステップ2:...」のウィンドウで「次へ」をクリックします。

「パスワードを空白のままにしておきますか?」というメッセージが表示されたら、「はい」をクリックします。

「ステップ3:...」のウィンドウが表示されます。

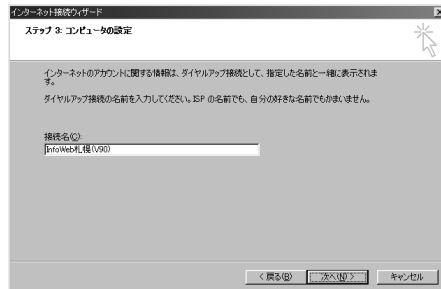
13 「接続名」の欄にインターネット接続設定に付ける名前を入力して「次へ」をクリックします。

標準では「接続先 - ...」という名前が付きます。「...」は接続先の電話番号です。

アドバイス**接続名の付けかた**

プロバイダ名やアクセスポイントの場所、使用する電話の種類(モデムの種類)が分かるように付けます。

例:InfoWeb札幌(V90)、InfoWeb東京C(PDC)、InfoWeb大阪(PHS)



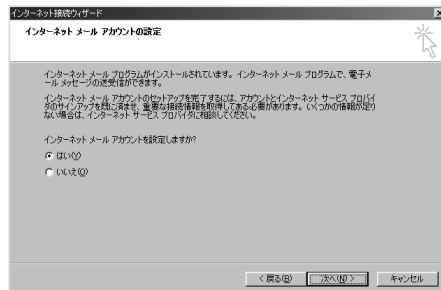
「インターネット メール アカウントの設定」というウィンドウに「インターネット メール アカウントを設定しますか?」と表示されます。

インターネットメールアカウントの設定

Outlook ExpressでEメールを利用するときは、そのための設定を行います。メールを利用するための名義(メールアカウント)などを設定します。

14 「はい」をクリックして  にし、「次へ」をクリックします。

「いいえ」を選んだ場合は、手順22へ進んでください。



「名前」というウィンドウが表示されます。

アドバイス

「インターネット メール アカウント」のウィンドウが表示された場合

Outlook Express で利用できるメールアカウントの設定があります。
新たなメールアカウントの設定を追加するときは、「新規の...」をクリックし、「次へ」をクリックし、15からの操作を行ってください。

すでにあるメールアカウントの設定を使うときは、「既存の...」をクリックし次に進む、「設定の確認」ウィンドウで「変更しない」をクリックし次に進むと、「...終了します」のウィンドウになります。手順22の操作を行ってください。

15 名前を入力して「次へ」をクリックします。

自分の氏名など自由に名前を入力します。メールを送ると、この名前が相手の画面の「差出人」欄に表示されます。

アドバイス

差出人名に使用する文字種類

- 半角のカタカナは使用しないでください。送受信に使用するアプリケーションの種類やその設定によっては、半角カタカナは無関係な文字に化けてしまいます。
- 英語だけ使用できるパソコンで正しく表示されるには、半角英字であることが必要です。

16 プロバイダに指示されたメールアドレスを入力して「次へ」をクリックします。



17 「受信メール サーバーの種類」の をクリックし、一覧から「POP3」が「IMAP」をクリックします。

サーバーの種類は、契約しているプロバイダに合わせて選びます。

18 「受信メール(POP3)...」に、プロバイダに指示された受信メールサーバー名を入力します。

19 「送信メール(SMTP)...」に、プロバイダに指示された送信メールサーバー名を入力して「次へ」をクリックします。

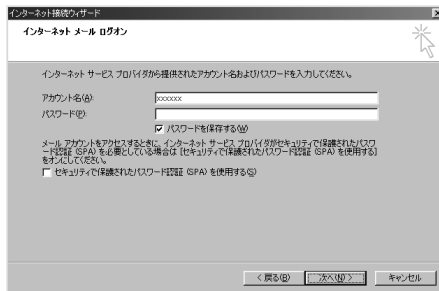
受信メールサーバー名と同じであるプロバイダもあります。




20 メールアカウント名を入力します。

「アカウント名」には、プロバイダから割り当てられたメールアカウントを入力します。

Eメールを使うには、インターネットアカウント(手順11)とメールアカウント(手順20)が必要です。1つのアカウントで両方を兼ねるプロバイダもあります。異なる場合は間違わないようご注意ください。(**▶ P.28 コラム) パスワードは空白にし、「パスワードを保存する」は にしておきます。



アドバイス

プロバイダへのパスワード送信時にセキュリティ機能が使える場合は「セキュリティで保護されたパスワード認証...」をクリックして  にします。

21 「インターネット メール ログオン」のウィンドウで「次へ」をクリックします。

「...終了します」というウィンドウが表示されます。

22 「今すぐインターネットに...」をクリックして□にし、「完了」をクリックします。

インターネット接続設定の確認・調整が必要

以上でインターネットへの接続設定が作成され、Internet ExplorerやOutlook Expressの設定も行われました。

ただし、インターネット接続設定には、インターネット接続ウィザードでは設定できない内容もあるため、作成した接続設定の内容を調整することが必要です。引き続き、次の「インターネットへの接続設定を調整する」を行ってください。

コラム

「インターネット接続設定」とは

- ・ インターネットへの接続に使用する設定です。
アクセスポイントに電話をかけ、プロバイダのサーバーに接続して、インターネットのネットワークに入るまでの設定を含んでいます。
主な設定内容は、アクセスポイントの電話番号、使用するモデム、接続先のネットワークに入るための情報(プロトコル)などです。
- ・ インターネット接続設定は、Windows98の「ダイヤルアップ接続」の機能を使用した設定です。作成した接続設定は、「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウに、アイコンとして表示されます。
- ・ 本書では、「インターネットへの接続設定」、「インターネット接続の設定」、あるいは「接続設定」などの表現で記載します。

インターネットへの接続設定を調整する

インターネット接続ウィザードで作成した、インターネットへの接続設定の内容を確認し、必要な変更を行います。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」の順にマウスポインタを合わせ「ダイヤルアップネットワーク」をクリックします。

「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウは、「マイコンピュータ」ウィンドウの「ダイヤルアップネットワーク」をクリックしても、表示することができません。

- 2 「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウの使用する接続設定のアイコンを右クリックして「プロパティ」をクリックします。

作成したインターネット接続設定のアイコンが表示されない場合は、「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウを開き直すか、本パソコンを再起動してください。



右クリックした接続設定の名前のウィンドウが表示されます。

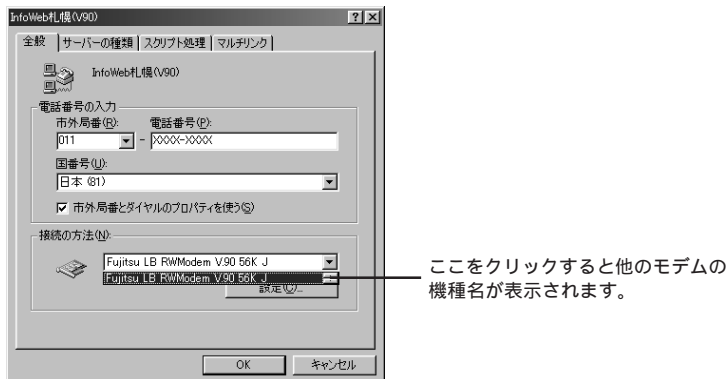
左クリックしたときに表示される「接続」ウィンドウと間違えないようにしてください。

アドバイス

接続設定には、プロバイダ名や自分で指定した名前が付いています

- InfoWebのオンラインサインアップで作成したものは、標準では「InfoWeb」という名前が付いています。
- インターネット接続ウィザードで作成したものは、標準では、「接続先 -」という名前が付いています。「.....」は、接続先の電話番号です。

3 「全般」タブの設定内容を確認します。



市外局番...接続先の市外局番が入力されているか確認します。必要に応じて変更します。

電話番号...接続先の電話番号が入力されているか確認します。必要に応じて変更します。

国番号...「日本(81)」が選ばれているか確認します。

市外局番とダイヤルのプロパティを使う...になっているか確認します。

接続の方法...この接続設定で使うモデムが選ばれているか確認します。

アドバイス

アクセスポイントを変更するときは

「市外局番」と「電話番号」をアクセスポイントの電話番号に変更します。

PIAFS対応のPHSでインターネットに接続するときは

「市外局番」と「電話番号」に、PIAFS対応のアクセスポイントの電話番号を設定することが必要です。

4 モデム名が違っていればモデムを選択し直します。

「接続の方法」のモデム名の欄の▼をクリックし、モデム名の一覧を表示します。

表示されたモデム名の一覧の☒をクリックして、使用するモデムの機種名や接続カード名を表示して、それをクリックします。

- 内蔵モデム(V.90 対応)を使う場合
「Fujitsu LB RWModem V.90 56K J」を選択します。
- 携帯電話を「携帯電話接続ケーブル」で使う場合
「Fujitsu SOFT PDC」を選択します。
- 接続カードでPHSやデジタル携帯電話を使う場合
使用する接続カードを選択します。接続カード名が表示されない場合は、接続カードが使用できるようにしてから、やり直してください。
●▶『本体 & オプションガイド』の「携帯電話やPHSを使う」

- 5 「接続の方法」の下の「設定」をクリックし、「...のプロパティ」ウィンドウを表示して、「全般」タブで設定内容を確認します。



ポート...内蔵モデム(V.90対応)の場合は「COM2」になっているか確認します。

最高速度...お使いのモデムの最高速度になっているか確認します。

- ・内蔵モデム(V.90対応)の場合：通常は「115200 (bps)」を選択します。うまく接続できない場合には「57600」以下に設定してください。
- ・携帯電話(携帯電話接続ケーブル)の場合：「19200」以下に設定します。
- ・携帯電話(接続カード)の場合：V.42bis規格での通信に対応している場合は「19200」以下に、対応していない場合は「9600」以下に設定します。
- ・PHSの場合：通信速度の設定は必要ありません。

この速度でのみ接続...になっているときは、クリックしてにします。

- 6 「...のプロパティ」ウィンドウの「接続」をクリックし、設定内容を確認します。



トーンを待ってからダイヤルする...内線電話から0発信などで接続するときや、「携帯電話接続ケーブル」を使用するときは、にしてください。

ダイヤル時の接続タイムアウト...ダイヤルしたときに、ここで指定した時間以上が経過しても接続できないときは、接続を中止します。

切断までの待ち時間...インターネットに接続しているときも、ここで指定した時間だけデータの送受信がないと、接続が切断されます。

- 7 「オプション設定」タブをクリックし、「モデムの状態をウィンドウ表示する」がになっているか確認して「OK」をクリックします。



手順2で選択した接続設定のプロパティのウィンドウに戻ります。

- 8 「サーバーの種類」タブをクリックし、設定内容を確認します。

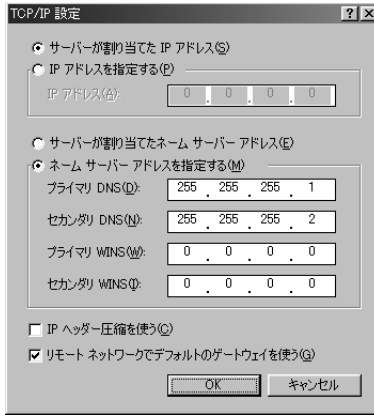



ダイヤルアップサーバーの種類...「PPP:インターネット、Windows NT Server、Windows 98」が選択されているか確認します。


詳細オプション...プロバイダの指示どおりになっているか確認します。


使用できるネットワークプロトコル...「TCP/IP」だけがになっているか確認します。

9 「^{ティーシーピー} TCP / ^{アイピー} IP 設定」をクリックし、設定内容を確認して「OK」をクリックします。



サーバーが割り当てたIPアドレス...ほとんどのプロバイダでは  にします。

サーバーが割り当てたネームサーバーアドレス...プロバイダによっては  にします。

ネームサーバーアドレスを指定する...DNSサーバーのアドレスが一定である場合は、 にして、「プライマリDNS」、「セカンダリDNS」にIPアドレスを入力します。

IPヘッダー圧縮を使う...プロバイダによって異なります。

リモートネットワークでデフォルトのゲートウェイを使う...プロバイダによって異なります。

10 「スクリプト処理」タブをクリックし、設定内容を確認します。



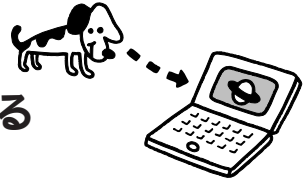
ファイル名...プロバイダによって異なります。

ターミナル画面を最小化の状態で見始める...インターネット接続設定を起動したときのターミナル画面の状態を設定します。自由に設定できます。

11 「OK」をクリックします。

以上でインターネットへの接続設定の確認が終了しました。

実際にインターネットに接続するときは、次の「ホームページを表示する」をご覧ください。



ホームページを表示する

インターネットに接続する

ここまでの設定作業を完了すると、Internet Explorerを利用してプロバイダに接続し、ホームページを見ることができます。

インターネットに接続する操作方法

- 1 デスクトップの (Internet Explorer) をクリックします。

「ダイヤルアップの接続」ウィンドウが表示されます。

アドバイス

「接続先」欄を確認しましょう

表示されているのは使用するインターネット接続設定の名前です。この設定には、使用するモデムや接続先の電話番号などが含まれています。今回実際に使用するモデムと接続先の電話番号が、「接続先」欄のインターネット接続設定と同じでないと接続できません。確認は、インターネット接続設定の名前で行います。

違っている場合 ●▶「Internet ExplorerやOutlook Expressで接続する」(P.85)



2 必要に応じて「パスワード」欄にパスワードを入力します。

InfoWebを利用する場合はコネクションIDのパスワード、他のプロバイダの場合はインターネットアカウントのパスワードを入力します。

重要

「パスワードを保存する」を選択すると

接続時に、自動的にユーザー名とパスワードが送られて接続してしまいます。接続操作が簡単になりますが、本人以外の誰でもインターネットに接続できてしまうので、大変危険です。


用語 URL

Uniform Resource Locatorの略。ホームページ固有のアドレスを「URL(ユーアールエル)」という。

3 「接続」をクリックします。

「ダイヤルアップの接続」ウィンドウが閉じ、しばらくすると接続が完了して、ホームページが表示されます。

4 (ホーム)をクリックします。



 をクリックすると、Internet Explorerが最初に表示するホームページ(スタートページ)を表示します。

InfoWebのホームページ




アドレス欄

現在表示されているページを特定するためのID番号やアドレスの働きをするURL(例... <http://menu.infoweb.ne.jp>)が表示される。


InfoWebのホームページが表示されないときは、「お気に入り」メニューの「富士通お勧めのサイト」から「InfoWebホームページ」を選ぶと表示できます。アドレス欄の  を  までドラッグして離すと、現在表示中のページをスタートページに変更できます。


リンク先のホームページを表示する

ホームページの中には、クイックポイント でマウスポインタを移動させると  に変わる場所(下線や色のついた文字やボタンなど)があります。その位置でクリックすると、その文字などに関連付け(リンク)された別のホームページや同じページ内の別の部分が表示されます。


アドバイス


ペンタッチでリンクの有無を確認

下線の付いた場所などにタッチしたら、そのまま離さずに少し動かし、マウスポインタが  に変わってからペンを離してください。

- 5 ホームページで、マウスポインタが  に変わる箇所をクリックします。

クリックした箇所に、関連付けられた別のホームページが表示され、アドレス欄に URL が表示されます。

雑誌などで知った URL を直接アドレス欄に入力し  を押しても、そのホームページを表示できます。




- 6 表示されたページで、マウスポインタが  に変わる箇所をクリックします。

また、別のホームページが表示されます。

この操作で次々にリンクをたどっていくことができます。

アドバイス

今まで表示してきたページを再度表示するには

ツールバーの  (戻る) をクリックします。  (戻る) や  (進む) をクリックすると、今まで表示してきたページを再度表示することができます。

ホームページの文字が化けて表示されたときは

ホームページの文字が正常に表示されず、無意味な記号や文字の羅列になっている場合は、ホームページの表示に使用する文字セットを切り替えます。

「表示」メニューの「エンコード」にある「日本語(自動選択)」が「日本語(シフトJIS)」が「日本語(EUC)」を選択してください。

インターネットとの接続を切る

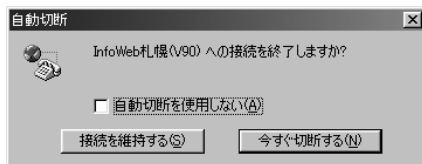
インターネットに接続中は、アクセスポイントまでの電話代や、従量制のプロバイダの場合、接続料金が加算されます。インターネットとの接続を切るときは、以下の操作を行います。

- 7 「ファイル」メニューの「閉じる」をクリックします。

Internet Explorerが終了し、「自動切断」ウィンドウが表示されます。


8 「今すぐ切断する」をクリックします。

インターネットとの接続が切れます。



アドバイス


「自動切断」ウィンドウが表示されないときは

タスクバーのをダブルクリックし、「...に接続」のウィンドウの「切断」をクリックします。

「自動切断を使用しない」を選択すると

Internet Explorerを終了しても「自動切断」ウィンドウが表示されず接続したままになります。またデータの送受信が20分以上なくても切断が行われなくなります。

元に戻す場合は次のように操作します

デスクトップのを右クリックし、メニューの「プロパティ」をクリックします。

「インターネット プロパティ」ウィンドウの「接続」タブで、元に戻す接続設定を選択して「設定」をクリックします。

「...設定」ウィンドウが表示されるので、「ダイヤルアップ設定」欄の「詳細」をクリックし、「ダイヤルアップの詳細」ウィンドウで「アイドル時間が...」と「接続が必要なく...」にチェックを付けます。

重要

ホームページの著作権を尊重する

インターネット上に掲載されている情報(画像、映像、音楽、文書などのデータ)の多くは、著作権法により保護されています。個人的に、あるいは家庭内で楽しむ場合を除き、権利者に無断で情報を配布することや、個人用のホームページなどに掲載することはできません。

ホームページの見かた

Internet Explorerのツールバーにある各ボタンを利用しましょう。

Internet Explorerの各ボタンの働き



以下の 検索ボタン～履歴ボタンをクリックすると、ホームページの左側に、それぞれの機能を実行するための領域(検索バーなど)が表示されます。

戻るボタン...一つ前のページを表示

進むボタン...一つあとのページを表示

中止ボタン...ページの読み込みを中止

更新ボタン...ページの読み込みをやり直す

ホームボタン...起動時の表示ページに戻る

検索ボタン...ホームページを検索

お気に入りボタン...「お気に入り」に登録されているページの一覧を表示

履歴ボタン...これまで表示したページの一覧を表示

メールボタン...メールの作業に移行

文字サイズボタン...ページの文字の大きさを変える

印刷ボタン...ホームページを印刷

編集ボタン...ホームページを編集

アドレス欄...URLを指定

URLのアイコン...これをドラッグすると履歴バーやデスクトップに、このページへのショートカットが登録できる

ホームページを見るための3つの機能

ホームページを見ていくときは、Internet Explorerの次の機能を利用するのが効率的です。

履歴機能

表示したページのタイトルは自動的に履歴の一覧に記録されます。

履歴ボタン()で履歴バーを表示して、ページタイトルの一覧から、見たいものを選ぶだけで表示できます。

履歴バーの「表示」や「検索」をクリックすると、履歴の表示順序を変更したり、タイトルなどにある言葉で検索することができます。

「お気に入り」機能

よく利用するページのタイトルは「お気に入り」の一覧に登録しておく、一覧から選ぶだけで表示できます。

登録は、お気に入りボタン()でお気に入りバーを表示して、URLのアイコン()をお気に入りバーまでドラッグするだけです。

「お気に入り」に、ホームページを保存して、接続していないときに表示することもできます。●▶「ホームページの保存とオフラインでの見かた」(P.48)

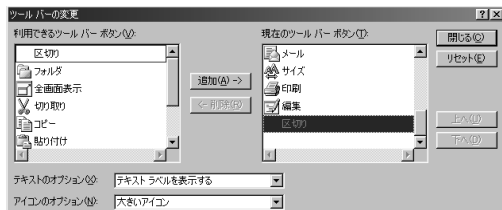
検索機能

ホームページを、言葉などを手がかりに探す機能です。●▶「ホームページを探す」(P.45)

Internet Explorer を活用する


ツールバーの表示を変える

「表示」メニューの「ツールバー」の「ユーザー設定」をクリックして「ツールバーの変更」ウィンドウを表示します。



- ・「利用できるツールバーボタン」と「現在のツールバーボタン」の欄で、ボタンの追加や削除、配置位置の変更が行えます。
- ・「テキストのオプション」欄で、ボタンを説明する文字「戻る」などを表示するかどうかを選べます。
- ・「アイコンのオプション」欄で、ボタンのアイコンの大きさが選べます。

ページの表示を最新のものにする

一度表示したページは、内容が変更されていても、以前のものが表示されることがあります。最新の内容を表示するときは  (更新) をクリックします。

「戻る」ボタンをクリックしても戻れなくなる場合

リンクをクリックしたときに、これまでとは別のウィンドウにリンク先のホームページが表示された場合は、「戻る」をクリックしても元のページに戻れません。

元のページは、タスクバーの該当するボタンをクリックすると表示できます。


必ず戻るページと分かっているときに簡単に戻るには

- 1 あとで必ず戻るつもりページ A とします)で、次に表示したいリンク先を右クリックして、メニューから「リンクを新しいウィンドウで開く」を選びます。
これでリンク先は別のウィンドウ(B とします)に表示されます。
以後は、Bのウィンドウでリンクをたどって、見たいホームページを表示し、Aに戻るときは、Aのウィンドウをクリックします。

ホームページを探す

「こんなことを扱っているホームページが見たい」という場合には、「こんなこと」に関する言葉(キーワード)を手がかりにホームページを探し出すことができます。

検索バーや検索サービスのホームページで、キーワードを入力すれば、その言葉に関するホームページがリストアップされます。
日本国内だけでなく、海外の検索サービスも利用でき、インターネットの大量の情報の中から必要なものを探すのに役立ちます。

- 1 ツールバーの  (検索) をクリックします。
- 2 検索の手がかりにする言葉(キーワード)を入力します。
検索方法については、各検索サービスのホームページをご覧ください。



アドバイス

アンド検索とオア検索

- 2つ以上の言葉を入力したときの検索方法には基本的に次の2つがあります。
- ・複数の言葉の全部を含むページだけを表示する(アンド検索という)
 - ・複数の言葉のどれか1つでも含むページを表示する(オア検索という)
- 複数の言葉を半角スペースで区切って入力した場合、「infoNavigator」などではアンド検索になりますが、オア検索になる検索サービスもあります。

インターネットを利用する

3 検索バーや検索サービスのホームページの「検索」など実行するボタンをクリックします。

入力したキーワードに関連するホームページの一覧が表示されるので、見たいものを選択します。

アドバイス




検索バーの検索結果の表示を前に戻す

検索結果が複数ページある場合に、前に表示した検索結果を再度表示したいときは、検索バー内を右クリックし、メニューの「前に戻る」をクリックします。

番号でホームページを呼び出す

ホームページごとに決められた、2桁から10桁の番号をURL欄に入力するだけで、そのホームページを表示することができます。この番号をインターネット番号と呼びます。対応しているホームページは約2万件とされています。

利用方法

- 1 タスクバーにがなければ、「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」メニューから「Hatch inside」の「hatchinside.exe」を選択して起動します。
- 2 タスクバーのをクリックし、表示されるメニューの「インターネット番号を有効」にが付いているか確認します。
- 3 Internet Explorerを起動して、インターネットに接続します。
URL欄をクリックして、インターネット番号を入力し([Enter])を押します。
これで、インターネット番号に対応したホームページが表示されます。

アドバイス

インターネット番号でホームページが表示できるのは

インターネットに接続しているときだけです。また、表示したいホームページが、インターネット番号を登録している場合だけ表示できます。

インターネット番号で呼び出せるホームページの例

アドレス	ページのタイトル	インターネット番号
http://www.fmworld.ne.jp	FM world	22
http://www.fujitsu.co.jp/ hypertext/softinfo/pr/ATLAI/	翻訳サーフィンの最新情報	299121
http://shop.g-search.or.jp/	InterShop	299106
http://park.infoweb.ne.jp/ onepage/	Home-1-Page	299119
http://village.infoweb.ne.jp/ msh/home/	MySweetHomepage	299115
http://www.mag2.com/	まぐまぐ	299053
http://www.yokohama-web.com/	Yokohama BaySide Wave	299054
http://service.infoweb.ne.jp/ sapocen/members.htm	InfoWebコース変更のお申し込み	299120
http://menu.infoweb.ne.jp/	InfoWebホームページ	299101

アドバイス

ホームページに短縮番号を付けてこれで呼び出す

「Hatch inside」には以上のほか、ホームページに2文字以上の番号や文字を自由に付けて登録し、その番号や文字でホームページを呼び出す機能もあります。操作方法はヘルプをご覧ください。

ホームページを印刷する

本パソコンにプリンタを接続すれば、興味のあるホームページを見つけたときに、その場で印刷することができます。
プリンタの接続方法は ●▶『本体 & オプションガイド』の「プリンタを使う」

- 1 印刷したいホームページを表示する。
- 2 「ファイル」メニューで「印刷」をクリックする。

「印刷」ウィンドウが表示されます。

フレーム形式で表示されているホームページを印刷するときは、どの部分を印刷するか選ぶことができます。フレーム形式になっていないホームページでは、全体をひとまとめにして印刷します。



フレーム形式のページの印刷でだけ有効

- 表示されたとおりに印刷する... ページを表示された状態で印刷します。
- 選択されたフレームのみを印刷する... 選択されているフレームを印刷します。
- すべてのフレームを個別に印刷する... ホームページを各フレームごとに分割して印刷します。

用語 フレーム



ホームページを作成する手法の一つ。一つのページを複数のフレームと呼ばれる領域に分け、各フレームごとに独立して、表示を切り替えられる。

インターネットを利用する

アドバイス

選択したフレームのみ印刷したい場合は


印刷したいフレームの中で、画像やリンク先のマークのない所を右クリックし、メニューから「印刷」をクリックします。

- 3 「プリンタ名」の右の  をクリックし、一覧からお使いのプリンタ名をクリックします。
- 4 必要に応じて、「印刷範囲」や「印刷部数」を入力します。
- 5 フレーム形式で表示されているホームページの場合は、「フレームの印刷」欄で、印刷方法をクリックして  にします。
- 6 「OK」をクリックします。
印刷が開始されます。

ホームページの保存とオフラインでの見かた

インターネットに接続したままで、ホームページの内容を詳細に読んでいると、電話代や接続料金がかかります。興味のあるホームページを見つけた場合は、いったん電話回線を切断してから、その内容をじっくり読むようにすると、費用の節約になります。

オフライン作業に切り替える

- 1 タスクバーの  をダブルクリックし、「...に接続」のウィンドウを表示して「切断」をクリックします。
これで、インターネットとの接続は切断しました。
- 2 「ファイル」メニューの「オフライン作業」をクリックします。

アドバイス

オフライン作業とは

- ・「オフライン作業」に切り替えた後も、画面には、それまで表示していたホームページが表示されます。
インターネットに接続した状態でホームページを表示すると、そのデータが本パソコンに一時的に保存されます。
- ・実際にインターネット上でホームページを呼び出して表示するのではなく、この一時ファイルなど、本パソコンに保存されたページを表示することをオフライン作業といいます。

【オフラインでホームページを見る方法】

オフライン作業では、以下の機能を利用して、ホームページを表示します。いずれの場合でも、日々内容を変更しているホームページが多く、オフラインで見ているのが最新の内容とは限らないことに留意してください。

一時ファイル

インターネットに接続したときに一時ファイル(キャッシュといいます)に取り込んだ内容を、履歴バーでタイトルを選んで表示します。ただしホームページによっては、その日のうちに履歴バーで選択できなくなる場合もあります。あとで必ず見たいページは「お気に入り」に登録する方が確実です。

「お気に入り」への登録

「お気に入り」に登録する際に、オフラインで利用することを選択すると、そのページの全体(本文や画像)をダウンロードできます。

見るときは、お気に入りの一覧から選んで表示します。

内容を最新のものにしたいときは、「同期」機能を使用すると簡単に行えます。

●▶「お気に入りに取りこんだページを見る」(P.51)

ファイルとして保存

ホームページの本文と画像をまとめて、一般のファイルとして保存します。メールに添付するなど、自由に使用したり加工することができます。

●▶「ホームページをファイルに保存して見る」(P.52)

【一時ファイルを利用して見る】

表示できる・できないの区別は履歴バーで



履歴バーにははっきりと表示されているタイトルは、オフラインで表示できるページで、淡い表示になっているのが表示できないページです。

履歴や一時ファイルが残っているのは


履歴が残っているのは標準の設定では、20日前のものまでです。それ以前のものには消去されます。

一時ファイルは最大保存容量(標準では63MB)を超えると古いものから削除されます。



アドバイス

履歴の保存期間や一時ファイルの最大保存容量を変えるには

「インターネット プロパティ」ウィンドウの「全般」タブ(上の画面)で設定します。このウィンドウは、デスクトップの  を右クリックし「プロパティ」を選んで表示します。

・保存期間を変える

「ページを履歴に保存する日数」の右の「20」を変更します。

・最大保存容量を変える

「インターネット一時ファイル」の「設定」をクリックして、「設定」ウィンドウ(下の画面)の「使用するディスク領域」を変更します。



一時ファイルの内容が更新されるのは

ホームページの内容が新しくなっている場合には、インターネットに接続したときに、一時ファイルの内容が更新されます。更新は、上の「設定」ウィンドウでの指定にしたがって、次のように行われます。

「ページを表示する...」: 同じページでも表示するたびに最新のものに更新されます。

「Internet Explorer...」: 何回か繰り返して表示した場合でも1回目に表示したときだけ更新されます。

「自動的に確認する」: 必要性を自動的に判断して更新されます。

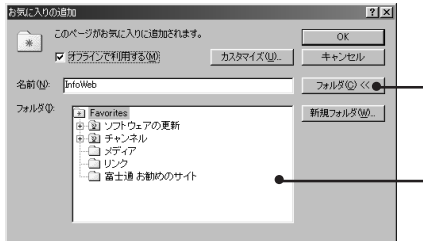
「確認しない」: ツールバーの更新ボタンをクリックしないと更新されません。

お気に入りに取り込んだページを見る

一時ファイルのように消えたりせず、また定期的に内容を更新するのが簡単なのが、「お気に入り」機能を使う方法です。

お気に入りへの登録

登録したいページを表示して、「お気に入り」メニューの「お気に入りに追加」をクリックします。「お気に入りに追加」ウィンドウが表示されるので、「オフラインで利用する」をクリックして にし、「OK」をクリックします。



保存するフォルダを指定するときは **フォルダ** をクリックして **を** を表示

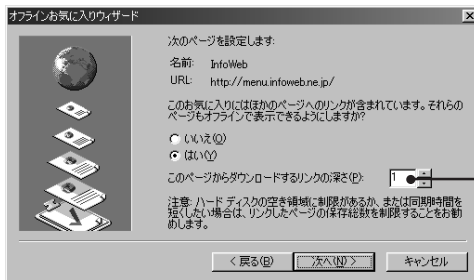
これで、そのページのダウンロードが行われます。見るときは、「お気に入り」メニューをクリックし、一覧からそのページを選択します。

アドバイス

リンク先のページまで取りこみたい

「お気に入りに追加」ウィンドウで、「カスタマイズ」をクリックして「お気に入りウィザード」を開始します。

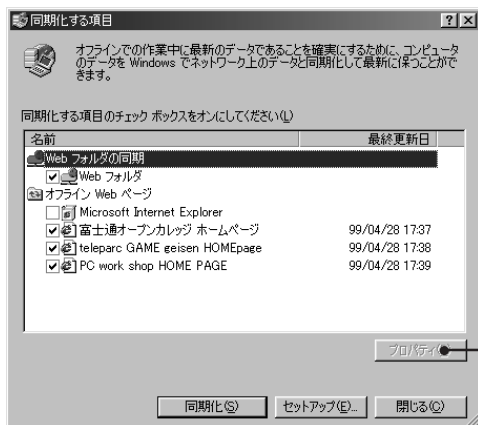
「...それらのページもオフラインで表示できるようにしますか?」で「はい」を にして、取りこむページのリンクの深さを設定します。



リンクの深さを 1 にすると「お気に入り」に追加するページにある URL のページまで保存される

内容の更新

お気に入りの追加したページの内容を更新するときは、「ツール」メニューの「同期化」をクリックし、同期化する項目を にして、「同期化」をクリックします。



自動的に更新したいときは、ここをクリックしてスケジュールを設定

ホームページをファイルに保存して見る

お気に入りのように、あまり頻繁に更新する必要がないページは、普通のファイルとして保存して見ることもできます。

ひとつのページは、テキストや画像などが、HTML形式の規則にしたがって組み合わされてできています。テキストや画像を別々に保存しても、ホームページは再現できません。次の2つの方法のどちらで保存しても、オフラインでホームページを再現できます。

ファイルへの保存

次のどちらの方法でも、「ファイル」メニューの「名前を付けて保存」を選び、「Web ページの保存」ウィンドウで保存を行います。



ホームページのファイル構成で保存

「ファイルの種類」の欄に「Web ページ、完全 (*.htm;*.html)」を選んで保存します。

この場合、そのページの本文は拡張子が「.htm」のファイルに、画像などは拡張子が「.files」のフォルダに保存されます。

見るときは、拡張子が「.htm」のファイルをクリックします。

アドバイス

本文と画像は同じ場所がないと表示できない

・「xxxxxxx.htm」ファイルと「xxxxxxx.files」フォルダの拡張子以外の名前（xxxxxxxの部分）はまったく同じになります。

例：本文のファイルが「Infoweb.htm」なら、その画像のフォルダは「InfoWeb.files」

・「xxxxxxx.htm」ファイルと「xxxxxxx.files」フォルダは、同じフォルダがないとホームページが再現できません。

本文も画像も1ファイルにまとめて保存

「ファイルの種類」の欄に、「電子メールのための Web アーカイブ(*.mht)」を選んで保存します。

こちらは、本文や画像などそのページのすべて要素が、1つのファイル(拡張子が「.mht」のファイル)にまとめて保存されます。

見るときは、拡張子が「.mht」のファイルをクリックします。

ホームページの画像の保存

同じように画像であっても、本文中に位置づけられている画像と、本文の下にある背景の画像は、HTML形式では区別して扱われているので、保存の方法が異なります。



画像を保存する

保存したい画像をクイックポイントで右クリックして表示されるメニューの「名前を付けて画像を保存」を選んで行います。保存するファイルの種類は、その画像に合わせて「JPEG」ファイルが「GIF」ファイルになっていますが、「ビットマップ」ファイルでも保存できます。

背景の画像

ホームページの本文中の画像や、リンク先のマークのない所を右クリックして表示されるメニューの「名前を付けて背景を保存」を選んで行います。保存できるファイルの種類は、画像と同様です。

ホームページのデータをアプリケーションの文書などに貼り付ける


ホームページに表示されている文章や画像は、ドラッグ&ドロップで簡単に、アプリケーションの文書などに貼り付けることができます。

ただし画像の場合は、貼り付ける文書が、ワードパッドの文書のように画像の貼り付けに対応していることが必要です。

- 1 あらかじめ、貼り付けるワードパッドなどの文書を開いておきます。
- 2 文章の場合は、貼り付けたい範囲を選択して、反転状態にします。
- 3 貼り付けたい文章か画像を、タスクバーのアプリケーションのボタンへドラッグして少し待ちます。
- 4 アプリケーションのウィンドウが表示されるので、貼り付けたい箇所左ボタンを離します。

ホームページの必要な範囲を印刷する

ホームページの全体ではなく、文章や画像など必要な範囲を選択して印刷することができます。

- 1 印刷したい範囲を選択して、反転状態にします。
- 2 反転した範囲内で画像やリンク先のマークがない箇所を右クリックして、表示されるメニューの「印刷」をクリックします。
- 3 「印刷」ウィンドウの「印刷範囲」で、「選択した部分」をクリックして  にし、「OK」をクリックします。

ホームページを早く見るには(画像の表示をOFF)

回線が混雑していたりすると、大きな画像のあるホームページは、表示に時間がかかります。画像やアニメーションを表示しないようにすると、ページを早く表示できます。

- 1 Internet Explorerの「ツール」メニューの「インターネットオプション」をクリックします。
- 2 「インターネットオプション」ウィンドウの「詳細設定」タブをクリックします。
- 3 「マルチメディア」という項目グループの中の「画像を表示する」、「アニメーションを再生する」、「ビデオを再生する」、「サウンドを再生する」をクリックして にします。

Eメールを利用する



ここでは、「Outlook Express」を使用して、インターネットで電子メールを送受信する方法について説明します。

Outlook Express を使うためのメールアカウントの設定

次の場合は、すでにメールアカウントの設定が済んでいます

- ・「はじめよう！インターネット(InfoWeb)」を使ってInfoWebに加入した場合
- ・「はじめよう！インターネット(InfoWeb)」のダイヤルアップ設定で設定を行った場合
- ・「インターネット接続ウィザード」でインターネットへの接続とメールの設定を行った場合

接続の設定が済んでいない場合は

初めてOutlook Expressを起動したときに表示されるメッセージに従って設定してください。

使いやすい設定にする

プロバイダに電話をかけてインターネットに接続する場合(ダイヤルアップ接続)に合わせてOutlook Expressを使いやすいするために、初期設定を変更します。

1 デスクトップの (Outlook Express) をクリックします。


「Outlook Express」ウィンドウが表示されます。

アドバイス

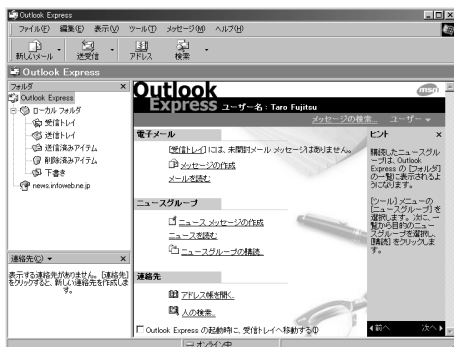
「Outlook Express フォルダを作成する場所を選択してください。」と表示されたときは「OK」をクリックします。

「ダイヤルアップの接続」ウィンドウが表示されたら

「オフライン作業」をクリックします。

「要請されたタスク...は中断されました。...」のウィンドウが表示されるので、 (閉じる)をクリックします。

2 「ツール」メニューの「オプション」をクリックします。

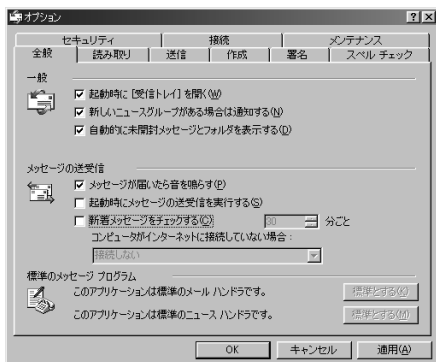


3 「全般」タブの設定を以下のように変更し「送信」をクリックします。

「起動時に 受信トレイ を開く」を にします。

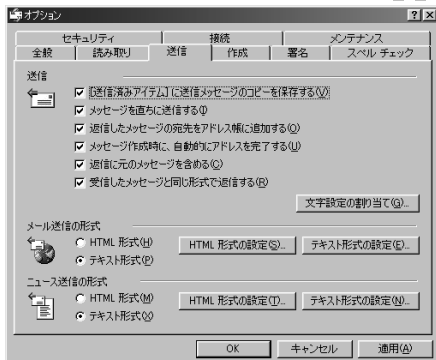
「起動時にメッセージの送受信を実行する」を にします。

「新着メッセージをチェックする」を にします。



4 「送信」タブの設定を以下のように変更し「接続」をクリックします。

「メール送信の形式」の「テキスト形式」を にします。



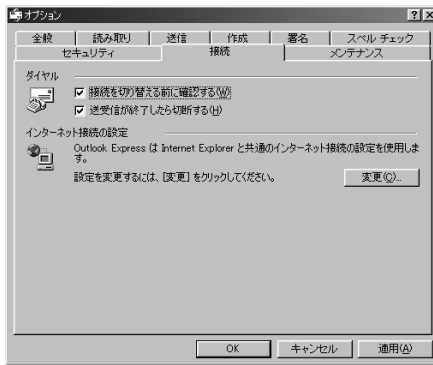
アドバイス**いつも送受信操作でメールを送るのなら**

メールを送るときに、自分宛のメールの受信も兼ねた「送受信」の操作でいつも送るのなら、「メッセージを直ちに送る」を にします。

変更した場合、メッセージの送信は「送受信」の操作を行ったときだけ行われます。

5 「接続」タブの設定を以下のように変更し「OK」をクリックします。

「送受信が終了したら切断する」を にします。




「Outlook Express」ウィンドウに戻り、設定操作が終了しました。

アドバイス**メールの書式**

- 標準では、メールの書式は「リッチテキスト(HTML)」形式になっています。HTML形式では、文字の書体や色を指定したり、画像を挿入することができます。
- メールを受信する相手がHTML形式に対応したメールソフト(たとえばOutlook Express)を使用していないと、メールを読むことができません。相手がHTML形式で受信することが確実な場合以外は、上記手順4のように、メールの書式を「テキスト形式」に設定することをおすすめします。

メールを書いてすぐに送信だけ行う**1 デスクトップの  (Outlook Express) をクリックします。**

ウィンドウの最下部に「オフライン中です」と表示されているときは、「ファイル」メニューの「オフライン作業」をクリックして、 を消します。

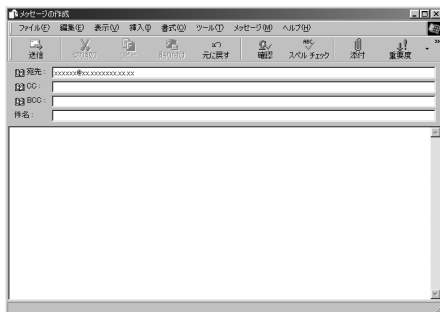
「受信トレイ……」ウィンドウが表示されます。

2 「メッセージ」メニューの「メッセージの作成」をクリックします。

またはツールバーの  (新しいメッセージ) をクリックします。

「メッセージの作成」ウィンドウが表示されます。

3 「宛先」の右の欄をクリックし、送り先のメールアドレスを入力します。




メールの送受信を試すときは、ここで自分のメールアドレスを入力してください。

複数のメールアドレスを設定していると、「宛先」の上に「送信者」欄が表示されます。インターネットに接続するときのプロバイダのメールアドレスになっているか確認してください。▶▶「複数のメールアドレスでの送信」(P.60)

アドバイス

アドレス帳から選択してメールアドレスを入力できる

すでにアドレス帳に送り先のメールアドレスが登録してあれば、「宛先」をクリックすると「受信者の選択」ウィンドウが表示され、メールアドレスを選んで入力することができます。

4 「件名」の右の欄にメールの題名を入力します。

ウィンドウのタイトルが入力した件名に変わります。

アドバイス

件名に使用する文字種類

件名は漢字やひらがな、または半角の英数字で入力してください。
半角のカタカナは使用しないでください。

5 メール本文の入力欄に送信したいメッセージを入力します。

メッセージは、全角文字や半角の英数字で入力してください。半角のカタカナは使用しないでください。

6 送信だけをすぐに行う場合は「メッセージの作成」ウィンドウのツールバーにある をクリックします。

「ダイヤルアップの接続」ウィンドウが表示されます。

アドバイス**一度の接続で送信と受信をしたいときは**

送信のために接続したときに、自分宛のメールを受信したい場合は、「ファイル」メニューの「後で送信する」をクリックします。

作成したメールは「送信トレイ」に保存されます。

送信方法は ●▶「書いたメールを送り自分宛メールを受信する」(P.60)

7 インターネットへ接続する際のパスワードを入力し「接続」をクリックします。



メールを送信するためにプロバイダに電話をかける処理が始まります。インターネットに接続すると送信が行われます。

アドバイス**送信したメールは**

標準の設定では、「送信トレイ」から「送信済みアイテム」に移動します。

送信できなかったメールは、「送信トレイ」に残されるので、「送信」や「送受信」の操作で送り直せます。

送信できなかったときは

「Outlook Express」ウィンドウの「エラー」タブに、エラーの内容が表示されます。必要な処置を行って送信し直してください。

接続できないときは ●▶「インターネットに接続できないときは」(P.72)

8 タスクバーにがあればダブルクリックして「.....に接続」のウィンドウの「切断」をクリックします。

Outlook Express の設定によっては、送信が終了しても、接続されたままになります。その場合は、接続を切断します。

複数のメールアカウントでの送信



メールを送るときに使うメールアカウントとインターネットに接続するときのインターネットアカウントが、別のプロバイダのものであると、送信できない場合があります。

接続しても別のプロバイダのメールは送れないことがある

メールを送信するときは、インターネットに接続するときを利用するプロバイダのメールアカウントを使うことをおすすめします。

セキュリティ上、他のプロバイダのメールアカウントからのメールは送信しないプロバイダが増加しています。

次のどちらかの方法で同じプロバイダのメールアカウントを使うようにしてください。

- ・ 送信に使うメールアカウントを切り替えるには
「メール作成」ウィンドウの「送信者」欄の  をクリックして切り替えます。
- ・ インターネットの接続に利用するプロバイダの切り替え
「ダイヤルアップの接続」ウィンドウの「接続先」欄の  をクリックして切り替えます。

書いたメールを送り自分宛メールを受信する

自分宛のメールを受信します。すでにメールを作成して、送信フォルダに保存してあるときは、そのメールを送信します。一度の接続で送信と受信の両方が行えて効率的です。

アドバイス

送受信で送るメールの保存方法

メールを作成したら、「ファイル」メニューの「後で送信する」をクリックします。作成したメールは「送信トレイ」に保存され、送受信操作で送れるようになります。

1 デスクトップの (Outlook Express) をクリックします。

「受信トレイ...」ウィンドウが表示されます。

2 ツールバーの (送受信) をクリックします。

「オフラインで作業しています。オンラインに切り替えますか?」と表示されたときは、「はい」をクリックします。

「Outlook Express」ウィンドウの「タスク」タブに、送受信するメールアカウントが表示され、「ダイヤルアップの接続」ウィンドウが表示されます。

3 インターネットへ接続する際のパスワードを入力し「接続」をクリックします。

メールを送受信するために、プロバイダに電話をかけ、接続すると送信が行われ、受信サーバーに接続するための「ログオン」ウィンドウが表示されます。

4 「ユーザー名」と「パスワード」を入力して「OK」をクリックします。

「ユーザー名」にはプロバイダから通知されたメールアドレス、「パスワード」にはメールアドレスのパスワードを入力し、「パスワードを保存する」をにします。



メールの受信が行われます。

アドバイス

次回からパスワードの入力は一回だけになる

- ・Outlook Expressで初めて送受信を行うときだけ、インターネットに接続するときと受信サーバーに接続するときの両方でパスワードを入力します。
- ・次回からは、インターネットに接続するときだけパスワードを入力します。

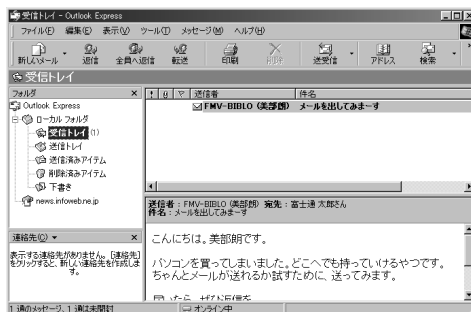
「パスワードを保存する」がにできないときは

メールアドレスの「サーバー」タブにパスワードを設定しを付けてください。
 ●▶「Outlook Expressで接続できない場合」(P.75)

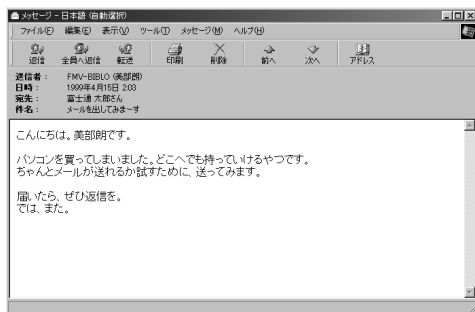
5 タスクバーにがあればダブルクリックして「.....に接続」のウィンドウの「切断」をクリックします。

これで電話回線への接続が切れ、「受信トレイ」ウィンドウに、受信したメールの一覧が表示されます。

6 読みたいメールをダブルクリックします。



選択したメールのウィンドウが開かれて、メールの内容が表示されます。



受信したメールが文字化けしているときは
メールの表示に使用する文字セットを切り替えます。
「表示」メニューの「エンコード」にある「日本語(自動選択)」が「日本語(シフト JIS)」が「日本語(EUC)」を選択してください。

複数のメールアカウントでの送受信と送信

メールアカウントを選んで送受信するには

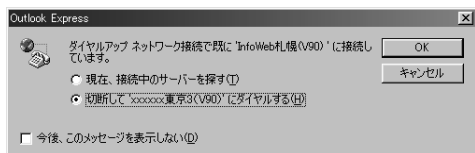
特定のメールアカウントで作成したメールだけを送信して、同時にそのアカウントのアドレスに来ているメールだけを受信します。
[操作方法]: 「ツール」メニューの「送受信」をクリックし、メニューのアカウント名をクリックして選びます。

まとめて送信、受信、送受信するには

複数のメールアカウントのメールをまとめて、送信、受信、送受信することができます。
操作はいずれも、「ツール」メニューの「送受信」をクリックし、メニューから選択して行います。

「すべて受信」の操作

すべてのメールアカウントの設定を使って、受信します。
受信はメールアカウントの設定を行った順に行われます。
一番先のメールアカウントでインターネットに接続し、メールの受信が行われ終了すると、次のウィンドウが表示されます。




「現在、接続中のサーバーを探す」を にして「OK」をクリックすると、接続し直さずに、次のメールアカウントのメールが受信できます。

「すべて送信」の操作

送信トレイにあるメールをすべて送ります。複数のアカウントのメールがあれば、アカウントを切り替えてすべて送信します。

送る順序は「すべて受信」と同じです。

最初のアカウントでの送信が終わると、「すべて受信」のときと同じウィンドウが表示されます。

受信時とは違って、「切断して...にダイヤルする」を  にして「OK」をクリックにすると確実に送信できます。

「現在、接続中のサーバーを探す」を選ぶと、送信できない場合があります。

●▶「複数のメールアカウントでの送信」(P.60)

「送受信」の操作

「すべて受信」と「すべて送信」を組み合わせで行います。

「現在、接続中のサーバーを探す」のウィンドウが表示されて、接続中のアカウントとは別のアカウントで作成したメールが送信フォルダにあれば「すべて送信」と同じように操作してください。

アドバイス

「送受信」で使用するアカウントを選ぶ

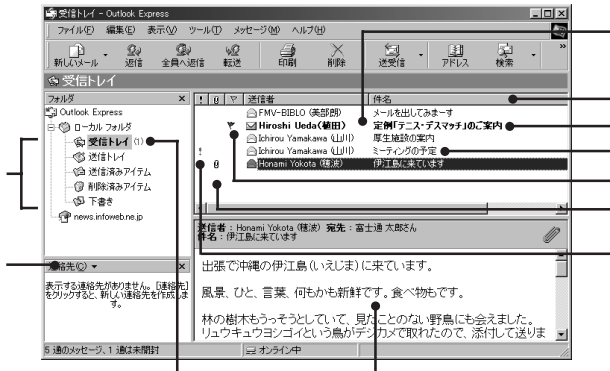
「すべて受信」や「送受信」の操作を行ったときに、標準ではすべてのアカウントで受信を行います。特定のアカウントでは、受信しないようにするには、次のようにします。

- 1 「受信トレイ...」ウィンドウの「ツール」メニューの「アカウント」をクリックします。
- 2 「インターネットアカウント」ウィンドウの「メール」タブをクリックし、設定するアカウントをダブルクリックします。
- 3 「...のプロパティ」ウィンドウの「全般」タブで、「メールの受信時...」を して「OK」をクリックします。

メールの一覧やメールの中身の見かた

メールの一覧のウィンドウの見かた

- ・「Outlook Express」ウィンドウの左側には、「受信トレイ」「送信トレイ」「送信済みアイテム」などのフォルダがあります。
- ・フォルダのアイコンをクリックすれば、表示するフォルダを選択することができます。



表示するフォルダを切り替える

反転しているフォルダのメールの一覧が右側に表示されます。

連絡先欄

アドレス帳です。名前をダブルクリックするとメールを作成できます。

メールの一覧


左側()で選択しているフォルダのメールの一覧です。

タイトル欄

各項目をクリックするたびに、その項目で昇順・降順に並び換えが行われます。

未開封のメール 

標準の設定では、プレビューウィンドウで5秒以上表示すると開封済みになります。

開封済みのメール 

「表示」メニューの「現在のビュー」で「開封済みのメッセージを表示しない」を選ぶと、表示されなくなります。

フラグ(旗) 

あとで探しやすいように自由に付けられるマークです。

添付ファイルありのしるし 

重要度を示す欄

赤の↑が重要度が高く、青の↓が低い、無じるしが通常です。

プレビューウィンドウ

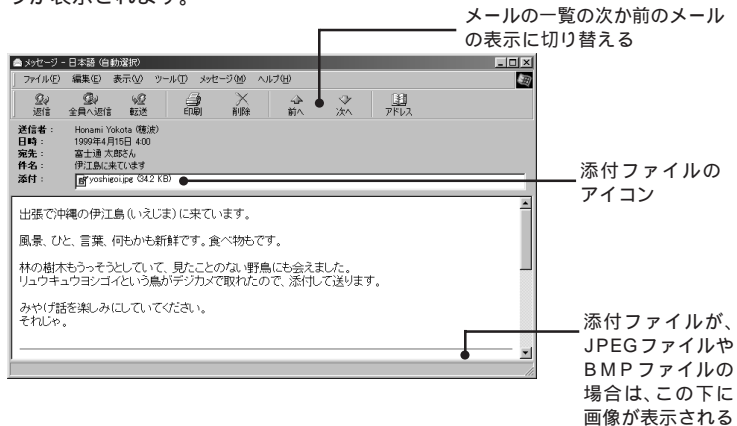
上の一覧で選択しているものの中身を表示します。

未開封メールの数

フォルダ名の右に青の数字があれば、そのフォルダにある未開封メールの数です。

メールの中身の見かた

受信トレイなどで各メールをダブルクリックすると、選んだメールのウィンドウが表示されます。



三二情報

メールの作成や送信に便利な機能

送り先の指定方法を使い分ける

送り先の指定のしかたは、目的に応じて次のように使い分けることができます。

「宛先」欄... 普通の手紙の宛先と同じです。送りたい相手を指定します。

「CC」欄... 「宛先」の人に出すメールですが、他の人にもその控え(CC:カーボンコピー)を送っておきたいときに指定します。

「BCC」欄... 「CC」欄だと、控えを送った相手のアドレスが「宛先」の人にも分かります。「BCC」欄は、控えの送り先のアドレスを伏せるときに使用します。(BCC:ブラック・カーボンコピー)

「BCC」欄は、「メール作成」ウィンドウで「表示」メニューの「すべてのヘッダー」にを付けると表示されます。

アドレス帳の利用方法

アドレス帳を活用するとメールアドレスの入力がずっと楽になります。

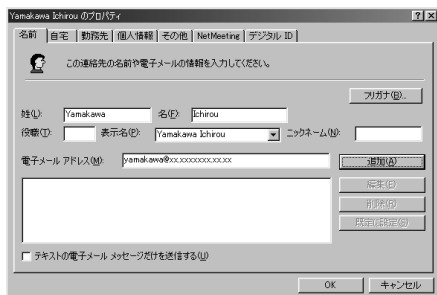
メールアドレスの登録方法

アドレス帳にはメールアドレスを以下のようにして登録します。


メールアドレスを入力して登録する

メールアドレスを手で入力するときは次のようにします。

- 1 「ツール」メニューの「アドレス帳」をクリックします。
- 2 「アドレス帳...」ウィンドウの「ファイル」メニューの「新規の連絡先」をクリックすると、アドレスの入力が行えます。



メールのウィンドウで自動登録する

- ・受信したメールのウィンドウで、「ツール」メニューの「アドレス帳に追加」をクリックすると、メールを送ってきた人、CCのアドレスを選んで自動的に登録することができます。
- ・どのトレイにあるメールでも、未完成のメール  でなければ、同じようにしてアドレス帳に自動的に登録できます。

メールの一覧で自動登録する

「受信トレイ.....」など、メールの一覧のウィンドウでは、メールを選択して「ツール」メニューの「送信者をアドレス帳に追加する」をクリックすると、アドレス帳に自動的に登録できます。

返信メールのアドレスの登録

受信したメールのウィンドウで、「メッセージ」メニューの「送信者へ返信」をクリックして返信メールを作成すると、返信先のアドレスをアドレス帳に自動的に登録できます。

アドバイス

受信したメールに対して返事を出すには

- ・「メッセージ」メニューの「差出人へ返信」をクリックすると、返信メールを作成することができます。
- ・返信メールの宛先には、受信メールの差出人アドレスが自動的に入力されます。
- ・返信メールのメッセージには、受信したメールが自動的に引用されます。

アドレス帳の利用方法

「連絡先」の宛先をダブルクリックしてメールを作成

「受信トレイ……」ウィンドウなどの左下にある「連絡先」欄で、メールを出したい人をダブルクリックすれば、その人のアドレスを宛先に入力した「メッセージの作成」ウィンドウを開くことができます。

「メッセージの作成」ウィンドウでの利用方法

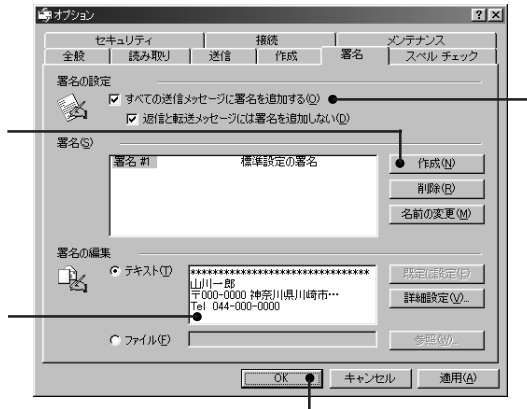
すでに「メッセージの作成」ウィンドウを開いていれば、「ツール」メニューの「受信者の選択」をクリックして、以下のウィンドウを表示します。



- 宛先やCC、BCCの欄に入力する人を選びます
- 入力する欄を選びます
- クリックすると各欄の入力が行われます

自分からのメールだとすぐ分かる署名を入れる

一目で自分からのメールであることが分かる署名をメールに付けましょう。「…Outlook Express」ウィンドウの「ツール」メニューの「オプション」をクリックし、「署名」タブを表示して次のように操作します。



「作成」をクリックします。

住所や名前、連絡方法などを入力します。

「すべての送信メッセージ...」をにすると、「メッセージの作成」ウィンドウを開いたときに自動的に署名が入ります。

にすると「メッセージの作成」ウィンドウの「挿入」メニューで指定しないと入りません。

メールアカウントによって署名を使い分けたいときは、にします。

「OK」をクリックすると設定が有効になります。

その他の機能

書式をHTML形式にする

作成するメールの書式をHTML(リッチテキスト)に変えたいときは、「メッセージの作成」ウィンドウの「書式」メニューの「リッチテキスト(HTML)」を付けます。

ファイルを添付して送る

「メッセージの作成」ウィンドウで「挿入」メニューの「添付ファイル」をクリックして、添付するファイルを指定します。

三 情報

受信メールの活用と整理に便利な機能

添付ファイルの利用方法

受信したメールのウィンドウで、添付ファイルのアイコンを右クリックし、メニューの「名前を付けて保存」をクリックして保存します。

添付ファイルを作成したのと同じアプリケーションがあれば、添付ファイルのアイコンをダブルクリックするだけで開くことができます。

メールの検索

探したいメールがあるときは、「編集」メニューの「検索」をクリックし、メニューから「メッセージ」をクリックして、「メッセージの検索」ウィンドウを表示します。



検索するトレイやフォルダを指定するときに設定します。

送信者名、宛先、件名、メッセージ本文に含まれる文字列で検索するときに設定します。

日付や期間を指定して検索するときに設定します。

検索を開始します。

メールを分類して整理する

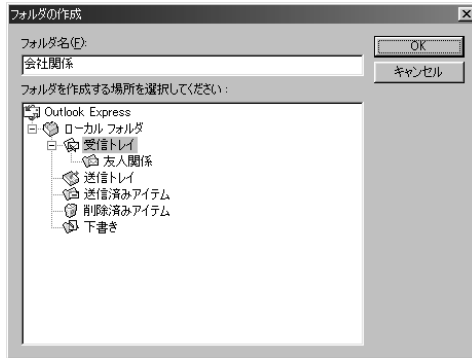
メールを分類する方法には、受信トレイなどから、分類用に作ったフォルダにドラッグする方法と、分類の条件を指定して自動的に振り分ける方法とがあります。

分類用フォルダへドラッグして整理

以下のように分類用のフォルダを作成して、受信トレイや送信済みアイテムなどから、メールをドラッグします。

[操作方法]:「...Outlook Express」ウィンドウの「ファイル」メニューの「フォルダ」をクリックし、メニューの「新規作成」をクリックします。

分類用フォルダを作成する位置とフォルダ名を指定して作成します。

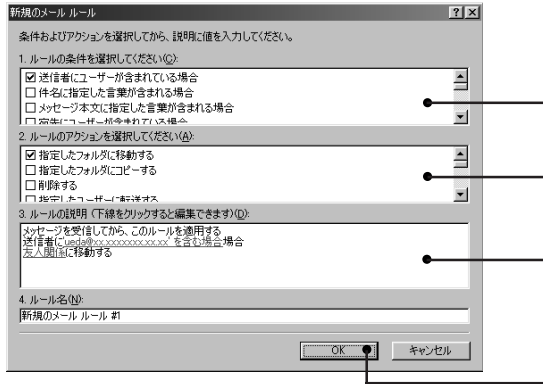


分類条件を指定して自動的に振り分ける

メッセージを分類する条件を設定しておく、これ以後受信するメールはこの条件にしたがって自動的に振り分けられます。

分類条件(メッセージルール)の作成

「メッセージ」メニューの「メッセージからルールを作成」をクリックし、「新規のメールルール」ウィンドウで次のように分類条件を指定します。



なにを手がかりに分類するか、おもに次の条件から選択します。

- ・ 送信者、宛先、CCの名前(メールアドレス)
- ・ 件名やメッセージ本文に含まれている言葉
- ・ メッセージのサイズや、添付ファイルがあること

分類用のフォルダに移動することを選択します。また色分けなどの整理方法もあります。

上記 で選択した条件の内容を指定します。

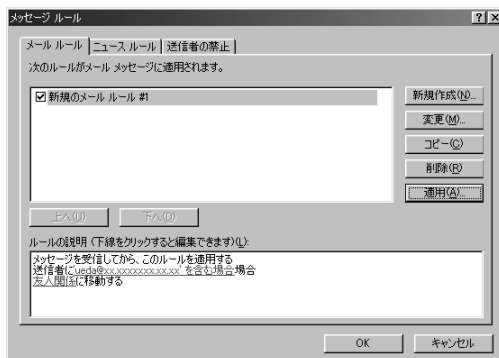
- ・ 下線のある部分をクリックすると、その条件の内容を設定できます。
- ・ で複数の条件を選んでいれば、条件をすべて満たしたもののだけ移動するか、どれか1つでも満たしていれば移動するかを指定します。

分類のルールの設定が終われば、「OK」をクリックします。

これまでのメールも振り分ける

すでに受信しているメールなども自動的に振り分けるときは、次のようにします。

「ツール」メニューの「メッセージルール」をクリックし「メール」を選択して、「メッセージルール」ウィンドウを表示します。

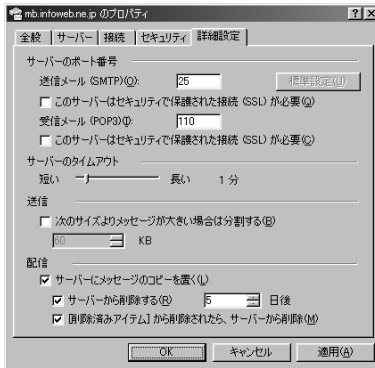


- ・分類方法を変更するときは「変更」をクリックします。
- ・すでに受信しているメールや他のフォルダのメールも自動的に振り分けるときは「適用」をクリックします。表示されるウィンドウで、「適用先」を指定して「適用」をクリックすると、振り分けが実行されます。

受信後もメールをサーバーに残す

標準の設定では、メールをサーバーから受信すると、サーバーのメールは削除されます。サーバーにメールを残すには次のように設定します。ただし、プロバイダによっては、メールをサーバーに残すことを禁止している場合もあるので、確認してください。

- 1 「受信トレイ……」ウィンドウの「ツール」メニューの「アカウント」をクリックします。
- 2 「インターネット アカウント」ウィンドウの「メール」タブをクリックし、設定するアカウントをダブルクリックします。
- 3 「……のプロパティ」ウィンドウの「詳細設定」タブをクリックします。
「……」はメールアカウントに付けている名前です。
- 4 「配信」欄の「サーバーにメッセージのコピーを置く」をクリックして にします。



- 5 「……のプロパティ」ウィンドウの「OK」をクリックします。
- 6 「インターネット アカウント」ウィンドウの「閉じる」をクリックします。
以上で、サーバーにメッセージが残るようになります。

アドバイス

サーバーのメールを削除するには

サーバーにメールを残すと、受信のたびにサーバー側とパソコン側のメールが照合され、余分な時間がかかります。

「詳細設定」タブの「[削除済みアイテム]から…削除」に を付けておけば、「削除済みアイテム」のフォルダからメールを削除するとサーバーからも削除されます。



インターネットに接続できないときは

ここでは、インターネットを使っていてトラブルが発生したときの対処方法について説明します。

接続できないときは次のようにチェックを行ってください。

モジュラーケーブルなどが正しく接続されているかをチェックします。接続のしかたは ●▶『本体 & オプションガイド』の「電話回線に接続する」アクセスポイントを別の場所に変更したり、しばらく時間を置いてから、接続を行ってください。

通信状態が不安定だったり、回線が混み合っていたりして電話がかかりにくくなっている場合があります。

それでも接続できない場合には、以下の説明のように接続や設定の確認を行ってください。

- ・モデムは使える状態になっていますか？
- ・所在地情報の設定は正しく行われていますか？
- ・インターネットの設定は正しく行われていますか？

以上の確認を行っても正常に通信が行えない場合は、モデムの点検と調整を行ってください。●▶「モデムの点検と調整（P.76）」

アドバイス

アクセスポイントの変更方法は


「インターネットへの接続設定を調整する（●▶ P.33）」をご覧ください。InfoWebでは、アクセスポイントの空き状況をホームページで確認できます。

モデムと所在地情報の設定の確認

モデムの状態と所在地情報の設定内容を確認します。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。

「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。

- 2  (モデム) をクリックします。

「モデムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

- 3 「ダイヤルのプロパティ」をクリックします。

直前のインターネットへの接続時に使用された所在地情報が表示されます。

アドバイス

同じモデム名が2つ表示されたときは

「Fujitsu LB RWModem V.90 56K J」など同じモデム名が重複してあるときは、2つとも削除して、本パソコンを再起動してください。

4 国名/地域、市外局番、外線発信番号、ダイヤル方法を確認し、「OK」をクリックします。

設定が間違っていたら、入力し直してください。

- ・「市外局番」をアクセスポイントの市外局番と同じにしていると、市内通話と見なされ、市外局番がダイヤルされません。
- ・携帯電話やPHSでは、常に市外局番をダイヤルしないと接続できません。「市外局番」を携帯電話やPHSの局番に設定してください。
- ・携帯電話やPHS、公衆電話からインターネットに接続するときは、外線発信番号をなしにします。公衆電話の場合、ダイヤル方法をトーンにすることが必要です。

5 「検出結果」タブをクリックし、使用するモデムや接続カードのあるポートをクリックします。

6 「詳細情報」をクリックして、モデムから応答があることを確認します。 ここで応答があればモデムや接続カードは正常に動作しています。

7 「詳細情報」ウィンドウの「OK」をクリックします。

8 「モデムのプロパティ」ウィンドウの「OK」をクリックします。

インターネットへの接続設定の確認

インターネットへの接続設定が正しく行われているか、確認します。

アドバイス

InfoWebを利用している場合

『はじめよう！インターネット(InfoWeb)』をご覧ください。

Internet Explorerで接続できない場合

Internet Explorerの設定と、Internet Explorerが使用しているインターネット接続設定(ダイヤルアップ接続設定)を確認します。

1 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。

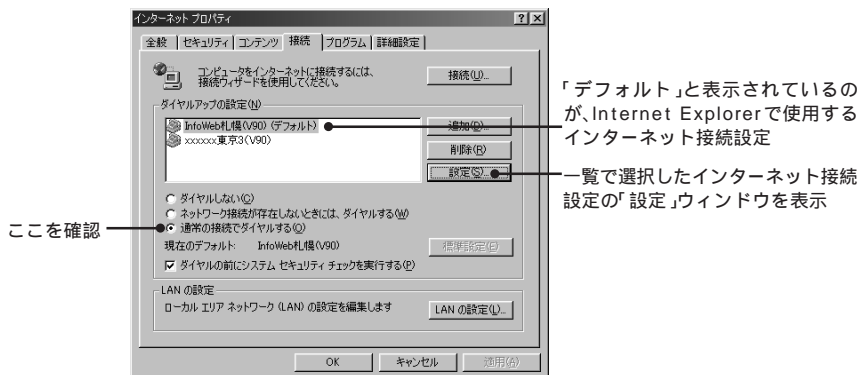
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。

2 (インターネットオプション)をクリックします。

「インターネットのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

3 「接続」タブをクリックします。

4 「ダイヤルアップの設定」欄の「通常の接続でダイヤルする」が になっていることを確認します。



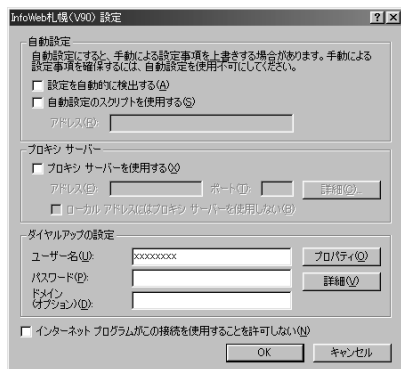
Internet Explorerで使用する接続設定を他のものに変更するときは、使用するものを一覧でクリックして「標準設定」をクリックします。

5 一覧の右にある「設定」をクリックします。

「……設定」ウィンドウが表示されます。

6 「ダイヤルアップ設定」欄の「プロパティ」をクリックします。

このインターネット接続設定の内容が表示されます。



7 インターネット接続設定の内容を確認します。

「インターネットへの接続設定を調整する (●▶ P.33) をご覧になり、設定内容を確認してください。

確認後は、各ウィンドウで「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じてください。

Outlook Express で接続できない場合

Outlook Express の設定と、使用しているインターネット接続設定(ダイヤルアップ接続設定)の内容を確認します。

- 1 デスクトップの  (Outlook Express) をクリックし、「ツール」メニューから「アカウント」をクリックします。

「インターネットアカウント」ウィンドウが表示されます。

- 2 「メール」タブをクリックし、確認するメールアカウントをクリックし、「プロパティ」をクリックします。

選択したメールアカウントの「プロパティ」のウィンドウが表示されます。

- 3 「サーバー」タブをクリックします。

- 4 メールサーバーとメールアカウントを確認します。

「サーバー情報」の各欄に送信メールサーバーと受信メールサーバーの名前が正しく表示されていることが必要です。

「アカウント名」は、メールアカウントを入力します。インターネットアカウントと異なる場合は、間違わないようにしてください。



- 5 「接続」タブをクリックします。

- 6 「このアカウントには次の…」がチェックされているか確認します。

の場合: 「設定」をクリックして、以下の操作を行ってください。

の場合: Internet Explorer のインターネット接続設定を使って接続するようになっています。Internet Explorer の確認を行ってください。▶

「Internet Explorer で接続できない場合」(P.73)



「インターネットへの接続設定を調整する」(●▶ P.33)をご覧ください、設定内容を確認してください。

確認後は、インターネット接続設定のプロパティウィンドウ、メールアドレスの「プロパティ」ウィンドウのそれぞれで「OK」をクリックしてウィンドウを閉じ、「インターネットアカウント」ウィンドウの「閉じる」をクリックして、ウィンドウを閉じてください。

インターネット接続設定で接続できない

「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウのインターネット接続設定のアイコンをクリックして接続できない場合は、その設定内容を確認します。「インターネットへの接続設定を調整する」(●▶ P.33)をご覧ください、設定内容を確認してください。

モデムの点検と調整

所在地情報やインターネット接続設定が、正しく設定されていても接続できない、または接続後に通信ができない場合は、以下のようにモデムの確認を行ってください。

どんな点検が必要か調べる

アクセスポイントに接続できない場合

インターネットへの接続時に表示される「ダイヤルアップの接続」ウィンドウの下部に、「リモートコンピュータに接続済みです」と表示されない場合は、アクセスポイントに接続できていません。以下の2つの点を確認してください。

モデムが通信ポートに接続できているかの確認

- ▶ 「モデムと所在地情報の設定の確認」(P.72)で、モデムからの応答があるか確認します。

パソコン・モデム間の速度の設定

- ▶ 「インターネットへの接続設定を調整する」(P.35)で、パソコン・モデム間の速度を確認します。

アクセスポイントに接続するが、通信が正常に行なわれない場合

以下の順に、確認してください。

モデムの使用環境を確認する ●▶ モデムの使用環境の点検(P.77)



通信状態が改善されない



モデムの通信速度を低下させる ●▶ モデムの通信速度の下げかた(P.78)



通信状態が改善されない



モデムドライバに不具合が ●▶ 『リカバリガイド』の「モデムドライバの発生している可能性があります。再インストール」



回線状態が悪い可能性があります。NTTにご相談ください。



回線状態に問題がない



弊社「パーソナルエコーセンター」にお問い合わせください。

モデムの使用環境の点検

モデムが、正常に通信が行える状態で使用されているか以下の点をご確認ください。

モデムと電話回線の接続の確認

モジュラージャックに接続できていますか？

- ・本パソコンと壁などのモジュラージャックがモジュラケーブルで接続してあるか確認してください。

使用しているモジュラーケーブルは

- ・添付のモジュラーケーブルを使用していますか？
使用していなければ ●▶ 添付品を使用してください。

ISDN回線を使用している場合は

- ・アナログポートに接続して使用していませんか？
アナログポートに接続していれば ●▶ K5.6flexとV.90での通信ができず、最高速度は33600bpsになります。通信速度を33600bps以下に設定してください。

分岐アダプタや分配器を使用している場合は

- ・モジュラーケーブルを延長して使用していませんか？
延長していれば ●▶ 添付のモジュラーケーブルだけで試してください。
- ・3分岐以上の接続になっていませんか？
3分岐以上の場合 ●▶ 2分岐以内にして試してください。

切替器を使用している場合は

- ・モデムが回線に接続するように切り替えているか確認してください。

外付けモデムを接続している場合

- 接続していれば ●▶ 外付けモデムを取り外してください。

電話回線の状態の確認

普通の電話回線の状態は

- ・モデムを外し電話機だけで普通に電話をかけて、相手につながったあと、雑音やエコーや混信などが聞こえませんか？
雑音、エコーなどがあれば ●▶ NTTにご相談ください。

雑音の発生源がそばにないか

- ・電源ケーブルなどの雑音発生源が電話回線のそばにありませんか？
あれば ●▶ 電源ケーブルなどは影響を受けないように離して配置してください。

回線をキャッチホンで契約している場合

- ・キャッチホンの場合 ●▶ モデムでの通信中に、キャッチホンの信号が入るとデータが化けたり通信が途切れたりします。キャッチホン に変更するか、またはキャッチホンでのご使用をおやめください。

モデムの通信速度の下げかた

モデムの接続先への通信速度(回線速度ともいう)を設定するときは、以下のよう to してください。

なお、同じモデムを使用しても特定のインターネット接続設定の場合だけ正常に通信が行えないときは、その接続設定のプロパティからモデムのプロパティを表示して以下の設定を行ってください。●▶「インターネットへの接続設定を調整する」(P.33)

1 「コントロールパネル」の「モデム」をクリックします。

「モデムのプロパティ」の「全般」タブが表示されます。

*「コントロールパネル」は「スタート」ボタンをクリックし「設定」のメニューから選んで表示します。

2 一覧の中の設定するモデムをクリックし「プロパティ」をクリックします。

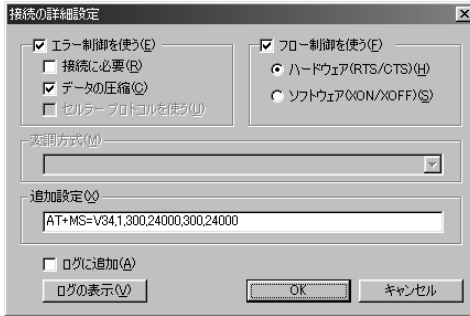
選択したモデムのプロパティウィンドウが表示されます。

3 「接続」タブをクリックし、「詳細」をクリックします。

「接続の詳細設定」ウィンドウが表示されます。

4 「追加設定」欄に次のように通信速度を設定するコマンドを入力します。

- ・通信速度を24000bps以下にすると
「AT+MS=V34,1,300,24000,300,2400」



5 「OK」をクリックします。

設定したモデムについては、これ以後この速度で通信が行われます。

アドバイス

通信速度を指定するには

次のように「AT+MS=」に続けて各設定値を半角カンマで区切って入力します。

AT+MS=[変調方式],[速度変更のモード指定],[最低送信速度],[最高送信速度],[最低受信速度],[最高受信速度]

・[変調方式]...使用できるのは、次の方式です。

V90:V.90モード、K56flex:K56flexモード、V34:V.34モード、V32B:V.32bisモード、V32:V.32モード、V22B:V.22bisモード

・[速度変更のモード指定]...回線の状態に合わせて通信速度を下げる(フォールスルー)の有無。1:あり。0:なし。

・[最低送信速度]~[最高受信速度]:以下の表から変調方式にあった速度を指定します。

V.90	受信	56000, 54667, 53333, 52000, 50667, 49333, 48000, 46667, 45333, 44000, 42667, 41333, 40000, 38667, 37333, 36000, 34667, 33333, 32000, 30667, 29333, 28000
	送信	33600, 31200, 28800, 26400, 24000, 21600, 19200, 16800, 14400, 12000, 9600, 7200, 4800, 2400
K56flex	受信	56000, 54000, 52000, 50000, 48000, 46000, 44000, 42000, 40000, 38000, 36000, 34000, 32000
	送信	31200, 28800, 26400, 24000, 21600, 19200, 16800, 14400, 12000, 9600, 7200, 4800, 2400
V.34		33600, 31200, 28800, 26400, 24000, 21600, 19200, 16800, 14400, 12000, 9600, 7200, 4800, 2400
V.32bis		14400, 12000, 9600, 7200, 4800
V.32		9600, 4800
V.22bis		2400, 1200

第 4 章

外出先でインターネットを使う

出張先や帰省先でもメールをチェックする、そんなときのために、
外出先や携帯電話から
インターネットに接続するときの操作を説明します。



この章では、次の内容を説明しています。

- 外出先用のインターネット接続設定を作成する(●▶ P.82)
- Internet ExplorerやOutlook Expressで接続する(●▶ P.85)
- インターネット接続設定を使って接続する(●▶ P.87)

外出先の電話回線や 携帯電話からの接続の設定



外出先でのインターネットへの接続

本パソコンで、外出先からインターネットに接続するときには、次の方法がご利用になれます。

- ・ 外出先の室内の電話回線を使って接続する
- ・ 携帯電話やPHSを使って接続する
- ・ ISDN 公衆電話を使って接続する

InfoWeb を外出先で利用する

次の順に操作を行うと、外出先や携帯電話からインターネットを使うことができます。

携帯電話やPHSを接続する

携帯電話やPHSを使うときは、これらを本パソコンに接続して、通信ができる状態にします。

- ▶『本体&オプションガイド』の「携帯電話やPHSを使う」



外出用や携帯電話用の接続設定を作成する

「はじめよう！インターネット(InfoWeb)」の「ダイヤルアップ設定」の「アクセスポイントの変更」で設定します。

- ▶『はじめよう！インターネット(InfoWeb)』

設定の注意事項

- ・ これまで利用していたインターネット接続設定を今後も使う場合は、「アクセスポイントの変更」を終了するときに、接続名を変更してください。
- ・ これまで利用していないアクセスポイントを使う場合は、本体の内蔵モデムに電話回線を接続すれば、最新のアクセスポイントをダウンロードできます。
- ・ PIAFS対応のPHSを使うときは、アクセスポイントは現在のアクセスポイント一覧から仮のものを選び、次の でPIAFS対応のアクセスポイントに変更します。



インターネット接続設定を確認し変更する

- ・使用するモデムの機種、アクセスポイントの電話番号、その他の細かな設定を確認し、必要があれば変更します。
- ・PIAFS対応のPHSを使うときは、必ず接続先の電話番号をPIAFS対応のアクセスポイントに変更します。
- ▶「インターネットへの接続設定を調整する」(P.33)

**Internet ExplorerやOutlook Expressで接続する**

Internet ExplorerやOutlook Expressを起動して、「ダイヤルアップの接続」ウィンドウで、作成した接続設定を選んで接続します。

他のプロバイダを外出先で利用する

次の順に操作を行うと、外出先や携帯電話からインターネットを使うことができます。

携帯電話やPHSを接続する

携帯電話やPHSを接続に使うときは、これらを本パソコンに接続して、通信ができる状態にします。

- ▶『本体&オプションガイド』の「携帯電話やPHSを使う」

**外出用や携帯電話用の接続設定を作成する**

インターネット接続ウィザードで、専用の接続設定を作成します。

- ▶「すでに他のプロバイダに加入しているときは」(P.25)

**インターネット接続設定を確認し変更する**

使用するモデムの機種、アクセスポイントの電話番号、その他の細かな設定を確認し、必要があれば変更します。

- ▶「インターネットへの接続設定を調整する」(P.33)

**Internet ExplorerやOutlook Expressで接続する**

Internet ExplorerやOutlook Expressを起動して、「ダイヤルアップの接続」ウィンドウで、作成した接続設定を選んで接続します。

コラム

「インターネット接続設定」とは

- インターネットへの接続に使用する設定です。
アクセスポイントに電話をかけ、プロバイダのサーバーに接続して、インターネットのネットワークに入るまでの設定を含んでいます。
主な設定内容は、アクセスポイントの電話番号、使用するモデム、接続先のネットワークに入るための情報(プロトコル)などです。
- インターネット接続設定は、Windows98の「ダイヤルアップ接続」の機能を使用した設定です。作成した接続設定は、「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウに、アイコンとして表示されます。
- 本書では、「インターネットへの接続設定」、「インターネット接続の設定」、あるいは「接続設定」などの表現で記載します。



外出先や携帯電話で接続する

ここでは、外出先や携帯電話から接続するために作成しておいたインターネット接続設定を使用して、インターネットに接続するときの操作を説明します。

Internet ExplorerやOutlook Expressで接続する


外出先の室内の回線や携帯電話から、Internet ExplorerやOutlook Expressを使って、インターネットに接続します。

- 1 室内の電話回線やデジタル携帯電話やPHSを本パソコンに接続します。

デジタル携帯電話やPHSは電源を入れてください。

携帯電話の接続方法は ●▶『本体 & オプションガイド』の「携帯電話やPHSを使う」

- 2 現在選択している所在地情報を表示します。

「スタート」ボタン、「設定」>「コントロール パネル」とクリックし、 (テレフォニー) をクリックして「ダイヤルのプロパティ」ウィンドウを表示します。

- 3 接続に使用する所在地情報を選び、「OK」をクリックします。

所在地情報は本パソコンから正常に電話がかけられるものを選択することが必要です。

「登録名」欄の右の  をクリックし、一覧からクリックします。

正常に電話がかけられるものがないときは、作成してください。●▶『本体 & オプションガイド』の「移動先や携帯電話用の所在地情報を設定する」

アドバイス

以下の設定が正しくないとき電話がかけられません

- ・市外局番: 発信元(本パソコン)の市外局番です。接続先の市外局番と同じであると、市外局番なしでダイヤルされます。携帯電話、PHSでは常に「000」にしておくことをおすすめします。
- ・外線発信番号: 内線を使用するときに設定します。その他の場合に外線発信番号があると接続できません。
- ・ダイヤル方法: 携帯電話とPHSは設定不要です。ISDN回線では常に「トーン」にします。その他の場合、ダイヤル時に「ビッポッパツ」と高さの違う音がすれば「トーン」しなければ「パルス」に設定します。




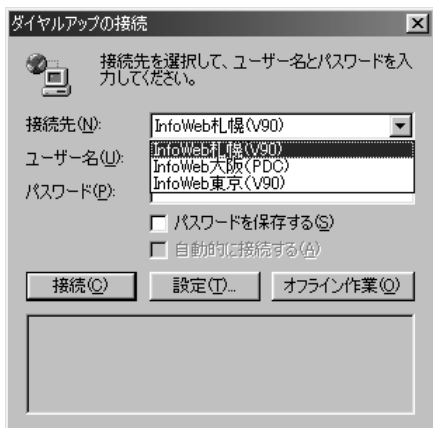
- 4 デSKTOPの  (Internet Explorer) が  (Outlook Express) をクリックします。

「ダイヤルアップの接続」ウィンドウが表示されます。

- 5 「接続先」のインターネット接続設定を切り替えます。

「接続先」欄のインターネット接続設定の名前から、アクセスポイントやモデムが適合するものを選びます。

「接続先」欄の右の  をクリックし、一覧から使用するものをクリックします。名前だけでは分からないときは ●▶「インターネット接続設定を使って接続する」(P.87)



「パスワード」が空欄ならパスワードを入力し「接続」をクリックします。これでインターネットに接続します。

以後の操作は ●▶「ホームページを表示する」(P.39)

うまく接続できないときは、次の「インターネット接続設定を使って接続する」のやり方で接続してください。



インターネット接続設定を使って接続する

外出先の室内の回線や携帯電話を使って、インターネットを利用するときに、インターネット接続を使って接続します。

- 1 室内の電話回線または、デジタル携帯電話やPHSを本パソコンに接続します。

携帯電話の接続方法は ●▶『本体 & オプションガイド』の「携帯電話やPHSを使う」

デジタル携帯電話やPHSの電源を入れてください。

- 2 デスクトップの  (マイコンピュータ) をクリックし、 (ダイヤルアップネットワーク) をクリックします。

「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウが表示されます。

- 3 使用するインターネット接続設定  をクリックします。

接続設定は、最寄りのアクセスポイントやデジタル携帯電話、またはPHSなどのために作成したものを使用します。



「接続」ウィンドウが表示されます。

- 4 ユーザー名やパスワードを入力します。

「ユーザー名」には、インターネットへの接続のアカウントを入力する必要があります。インターネットアカウントとメールアカウントが異なる場合は気をつけてください。(●▶ P.28 コラム)



5 「ダイヤルのプロパティ」をクリックします。

6 所在地情報を確認し正しい設定に切り替えます。

「市外局番」と「外線発信番号」と「ダイヤル方法」が正しく設定されているものに切り替えます。

切り替えかたや設定内容は ●▶「Internet ExplorerやOutlook Expressで接続する」(P.85)

アドバイス

「電話番号が変更されています」が表示されたときは

「ダイヤルのプロパティ」をクリックする前に、「接続」ウィンドウの「電話番号」を変更したため表示されます。


- ・「接続」ウィンドウで行った電話番号の変更は取り消して所在地情報を変更するときは、「OK」をクリックします。
- ・所在地情報を変えずに、「接続」ウィンドウで変更した電話番号でダイヤルするときは、「キャンセル」をクリックします。この場合、次回の接続では、電話番号が変更前のものに戻ります。



7 所在地情報の設定が終了したら「OK」をクリックします。


設定内容を変更したときは所在地情報の名前を付け直してから、「OK」をクリックしてください。


8 「接続」をクリックします。

接続中のウィンドウが表示され、接続中の状況が示されます。

接続が完了すると、「現在.....に接続しています。」のウィンドウが表示され、タスクバーに  が表示されます。

9 「閉じる」をクリックしデスクトップの  (Internet Explorer) または  (Outlook Express) をクリックします。

 Outlook Express をクリックしたときは、「ダイヤルアップネットワーク接続で既に.....に接続しています。」のウィンドウが表示される場合があります。


このときは「現在、接続中のサーバーを探す」をクリックして  にし、「OK」をクリックします。

Internet ExplorerまたはOutlook Expressが起動して、スタートページや受信トレイが表示されます。

アドバイス

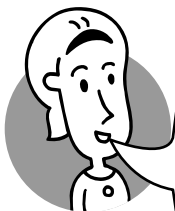
Internet Explorerを終了しても切断されません

Internet Explorerの「ファイル」メニューの「閉じる」をクリックしても、「自動切断」ウィンドウは表示されません。

切断するには、タスクバーの  をダブルクリックし、「...に接続」のウィンドウの「切断」をクリックすることが必要です。

他のパソコンと データを交換する

本パソコンを携帯してご使用になると、
行く先々で他のパソコンとデータをやりとりする場面があるかも知れません。
ここでは、本パソコンと他のパソコンとで
データをやりとりする方法を説明します。



この章では、次の内容を説明しています。

- Intellisyncでパソコンとデータをやりとりする
(●▶ P.90)
- Intellisync以外の方法でパソコンとデータをやりとりする
(●▶ P.97)

Intellisyncでパソコンとデータをやりとりする



会社や自宅で使っているパソコンで作成したデータを本パソコンに転送したり、反対に本パソコンで加工したデータを他のパソコンに転送することができます。

本パソコンには、他のパソコンと直接データをやりとりするアプリケーションとして、Intellisyncがインストールされています。ここでは、Intellisyncを使うようにするための準備と設定について説明します。Intellisyncの操作方法について詳しくは、Intellisyncのマニュアルをご覧ください。

Intellisync以外の方法でのデータのやりとりについては、「Intellisync以外の方法でパソコンとデータをやりとりする」(●▶ P.97)にまとめて紹介しています。

Intellisyncの使用に必要なハードウェア

Intellisyncを使うには、本パソコンと他のパソコンがデータをやりとりできるように、「IRコマンド」などの赤外線デバイスや、ケーブルを用意します。ケーブルを使う場合は、パラレル接続とシリアル接続とで、使用するケーブルが違います。

重要

赤外線通信ポートで通信するときは

以下の点にご注意ください。

- データの通信中に、本パソコンや赤外線デバイスを動かすと、データ転送に失敗することがあります。
- 本パソコンをバッテリーで使用しているときは、本パソコンと赤外線デバイスとの距離を、離しすぎないようにしてください。
- 次のような場合、うまく通信できないことがあります。
 - * 互いの赤外線通信ポートが真正面に向き合っていないとき
 - * 互いの赤外線通信ポートが離れすぎたり、間に遮蔽物があるとき
 - * ACアダプタやCRTディスプレイが赤外線通信ポートの近くにあるとき
 - * テレビ、ラジオなどのリモコンや、ワイヤレスヘッドホンが近くで動作しているとき
 - * 赤外線通信ポートに、直射日光や蛍光灯、白熱灯などの強い光があたっているとき

用語 赤外線デバイス

ケーブルを使わずに、コンピュータ間でデータをやりとりするための装置。本パソコンには、赤外線デバイスとして赤外線通信ポートが内蔵されている。

用語 パラレル接続

同時に複数のビットを並列して送受信する接続方法。PC/AT互換機では、特にパラレルコネクタによる接続方法のことをいう。プリンタにデータを送る場合は、パラレル接続によって行われることが多い。

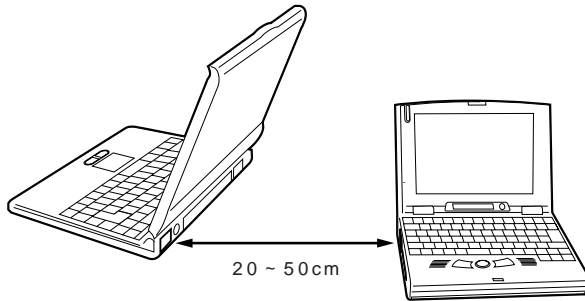
用語 シリアル接続

データを1ビットずつ順番に送受信する接続方法。PC/AT互換機では、特にシリアルコネクタによる接続方法のことをいう。インターネットやパソコン通信など、モデムやTA(ターミナルアダプタ)を使った通信も、シリアル接続によって行われる。

他のFMV-BIBLOと赤外線通信ポートで通信する場合

FMV-BIBLOどうしてIntellisyncを使用して通信する場合には、特にケーブルやハードウェアを用意する必要はありません。

図のように、赤外線通信ポートどうしがまっすぐに向き合うように置いてください。赤外線通信ポート間の距離は、20～50cmでお使いください。



本パソコンの赤外線通信ポートは、左側面にあります。

デスクトップパソコンと赤外線通信ポートで通信する場合

デスクトップパソコンに「IRコマンド」などの赤外線デバイスを接続して、使用できるように設定しておく必要があります。

赤外線デバイスを購入するときは、あらかじめ、デスクトップパソコンとの接続方法や、シリアルコネクタのピン数を確認しておき、接続に必要なケーブル(「RS-232Cケーブル(ストレート)」など)も忘れずに購入してください。

通信時は、本パソコンの赤外線通信ポートが、デスクトップパソコンに接続された赤外線デバイスと向き合うように設置してください。赤外線通信ポートと赤外線デバイス間の距離は、20～50cmでお使いください。

● パラレルケーブルで接続して通信する場合

「パラレルケーブル(クロス)」など、コンピュータ直結ケーブルをご用意ください。また、接続するパソコンのパラレルコネクタのピン数も、必ず確認してください(本パソコンは、D-SUB 25pinです)。

接続するときは、本パソコンにコネクタボックスを取り付けて、互いのパラレルコネクタどうしを、用意したケーブルでつなぎます。パラレルコネクタは、「LPTポート」と呼ばれることもあります。

【アドバイス】

パラレルコネクタの位置は

『本体&オプションガイド』の「コネクタボックスを使う」をご覧ください。

● シリアルケーブルで接続して通信する場合

「RS-232Cケーブル(クロス)」など、コンピュータ直結ケーブルをご用意ください。また、接続するパソコンのシリアルコネクタのピン数も、必ず確認してください(本パソコンは、D-SUB 9pinです)。

接続するときは、本パソコンにコネクタボックスを取り付けて、互いのシリアルコネクタどうしを、用意したケーブルでつなぎます。シリアルコネクタは、「COMポート」または「RS-232Cポート」と呼ばれることもあります。

【アドバイス】

シリアルコネクタの位置は

『本体&オプションガイド』の「コネクタボックスを使う」をご覧ください。

標準モード(IrDA)で赤外線通信を行うときは

本パソコンのご購入時の設定では、赤外線通信ポートは「高速モード(Fast IR)」で動作するように設定されています。高速モードに対応していない赤外線デバイスと通信を行うときは、あらかじめBIOSセットアップの設定を変更してから、Intellisyncを起動して接続の設定を行ってください。

高速モード対応のFMV-BIBLOどうして通信するときや、シリアル接続やパラレル接続で通信する場合には、BIOSセットアップの設定を変更する必要はありません。

重要

BIOSセットアップの設定を変更するときは

本パソコンを再起動します。操作を行う前に、作業中のデータを保存して、使用中のアプリケーションを終了してください。

「IR コマンド」などの赤外線デバイスと通信するときの設定

BIOSセットアップを起動して、「詳細」メニューの「周辺機器設定」で、「シリアルポートB」の各設定を次のように変更してください。

シリアルポートB...「使用する」になっているか確認します。

モード...「IrDA」に設定します。

BIOSセットアップの起動方法や、設定のしかたについては、『本体&オプションガイド』の「第4章 ハードウェア環境を設定する(BIOSセットアップ)」をご覧ください。

重要

「IR コマンド」などで通信したあとは

「高速モード」で通信するように、設定を元に戻してください。BIOSセットアップを起動して、「詳細」メニューの「周辺機器設定」で、「シリアルポートB」の各設定を変更してください。ご購入時は次のようになっています。

モード...「FIR」

I/Oベースアドレス...「2E8」

割り込み...「IRQ3」

I/Oベースアドレス...「118」

DMAチャンネル...「DMA3」

データ転送が行えるように設定する

ここでは、Intellisyncを起動してから、Intellisyncで通信をするための初期設定をします。Intellisyncでのデータ転送の操作については、Intellisyncのヘルプをご覧ください。


なお、Intellisyncでデータのやりとりを行うには、相手のパソコンにもIntellisyncがインストールされている必要があります。

相手のパソコンにIntellisyncをインストールする場合は ●▶「Intellisyncの制限事項」(P.96)

確認

Windows 98のハードウェアウィザードで「赤外線デバイス」をインストールしているときは

Intellisyncを使用する前に、Windows 98が赤外線通信ポートを使用しないように、設定を変更する必要があります。

「コントロールパネル」ウィンドウの (赤外線モニタ)をクリックして、「赤外線モニタ」ウィンドウで「オプション」タブをクリックし、「赤外線通信を使用可能にする」をクリックしてにします。

接続の設定をする


- 1 通信をする2台のパソコンをケーブルで接続するか、赤外線通信を行える位置にセットします。
- 2 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」→「Intellisync」の順にマウスポインタを合わせ、「Intellisync エージェント」をクリックします。

「はじめにIntellisync」ウィンドウが表示されます。

- 3 「OK」をクリックします。

「Intellisync」ランチャーが表示されます。



- 4  (接続設定マネージャ)をクリックします。

「はじめに-接続設定マネージャ」ウィンドウが表示されます。

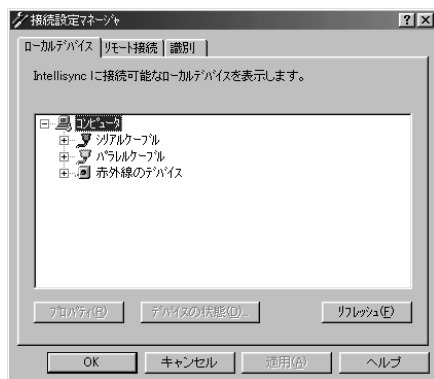
アドバイス

「Intellisync 使用許諾同意書」ウィンドウが表示されたら

「承諾する」をクリックしてください。

- 5 「閉じる」をクリックします。

「接続設定マネージャ」ウィンドウが表示されます。



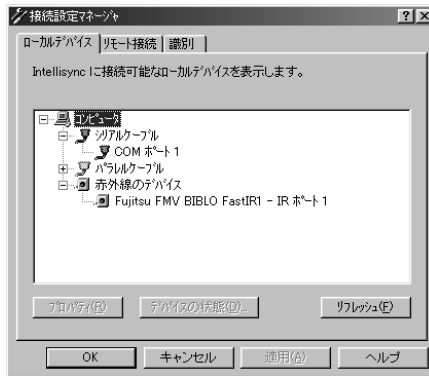
赤外線通信の場合は、手順8で確認する「接続を可能にする」が になっているれば、接続したことを示す音がして、通信できるようになります。ファイル転送やシンク機能をご利用ください。

- 6 「識別」タブをクリックし、自分のコンピュータの通信時の名前を確認して、必要であれば変更します。
- 7 「ローカルデバイス」タブをクリックし、使用するデバイスとポートをダブルクリックします。

シリアル接続の場合は、「シリアルケーブル」をダブルクリックし、「COMポート1」をダブルクリックします。

パラレル接続の場合は、「パラレルケーブル」をダブルクリックし、「LPTポート1」をダブルクリックします。

赤外線通信の場合は、「赤外線デバイス」をダブルクリックし、「Fujitsu FMV BIBLO FastIR 1-IRポート1」をダブルクリックします。



選択した各ポートの「ポートのプロパティ」が表示されます。

- 8 「接続を可能にする」をクリックして にします。

シリアル接続の場合、2台のパソコンで同じ転送速度を設定することが必要です。

「IRコマンド」など外部に接続した赤外線デバイスを使う場合は、「IRウィザード」をクリックして赤外線通信の設定を行うことが必要です。



- 9 設定を変更した場合は「OK」、設定を変更しなかった場合は、「キャンセル」をクリックします。

「接続設定マネージャ」ウィンドウに戻ります。

先頭に青信号が表示されているポートは接続されています。

- 10 送受信相手のパソコンの設定をします。

以上の手順2～9の操作を、送受信相手のパソコンで行います。

接続できたら、ファイル転送やシンク機能をご利用ください。

「接続設定マネージャ」ウィンドウの「リモート接続」タブをクリックすると接続しているパソコンの名前や状態を確認できます。

Intellisync の制限事項

Intellisyncには、次の制限事項があります。ご使用になる前に、確認してください。

- Windows 98を終了させる前に、必ずIntellisyncを終了させてください。
- データの通信中に、赤外線デバイスをふさいだりして、通信エラーが発生した場合は、Intellisyncをいったん終了させてから、再度行ってください。そのままお使いになると、正常に通信できないことがあります。
- Intellisyncのシンク機能では、全角のファイル名は指定しないでください。全角文字が含まれたファイルを指定すると、正しく動作しません。
- 赤外線通信の相手先のパソコンが4Mbpsモードでの通信をサポートしていない場合、Intellisyncは自動的に通信モードを切り換えます。それでも正常に通信できない場合は、本パソコンの通信モードを115Kbps以下に変更してください。

アドバイス

転送速度について

本パソコンは、Intellisyncを搭載しており、最大4Mbpsの速度で通信できます。転送速度は、通信相手のパソコンにより異なります。

- TranXit2.0などの115Kbpsのパソコンと通信する場合
自動的に115Kbpsモードで接続されます。
- Intellisyncなどの4Mbpsのパソコンと通信する場合
自動的に4Mbpsモードで接続されます。

他のパソコンでのIntellisyncの一時的な使用

ファイル転送を行う場合、次の方法でIntellisyncを他のパソコンにインストールして一時的に使用することができます。

- 「プログラム」メニューの「Intellisync」の「メイクディスク」を選択すると、インストール用のフロッピーディスク(6枚)が作成できます。
- 「アプリケーションCD」からインストールすることができます。



Intellisync 以外の方法で パソコンとデータをやりとりする

インテリシンク
Intellisync以外の方法で、パソコンとデータをやりとりすることもできます。
ここでは、それらの方法について簡単に紹介します。

【フロッピーディスクなどを使う】

本パソコンにフロッピーディスクユニットを接続して、データやファイルをフロッピーディスクにコピーすれば、別のパソコンとのデータのやりとりが簡単にできます。大量のデータをやりとりする場合には、別売のSCSIカード(PCカード)を取り付け、光磁気ディスクドライブなどを接続することもできます。

【インターネットやパソコン通信を利用する】

インターネットやパソコン通信も、パソコンとのデータ交換のツールとして利用することができます。

テキスト形式のデータなら、インターネットやパソコン通信の電子メールにして自分宛に送り、別のパソコンで受信すれば、データのやりとりができます。プログラムや画像などのバイナリ形式のデータをやりとりするには、ファイルをメールに添付して、自分のメールアドレス宛に送ります。

用語 バイナリ形式

テキスト形式でないデータ形式を総称して「バイナリ形式」という。通常の電子メールでは、テキスト形式のデータをやりとりしており、バイナリ形式のデータはそのままでは読み取ることができない。プログラムや画像データの他、ワープロで作成したデータや、圧縮ソフトで圧縮されたファイルもバイナリ形式になっている。

【LANに接続する】

本パソコンを会社などのLANに接続すると、LAN上のパソコンどうしが、お互いを外付けのハードディスクドライブのように認識して、簡単にファイルのコピーや移動ができるようになります。ただし、LANに接続するためには、利用するLANの種類に応じたPCカードが必要になります。また、PCカードの設定方法もLANの種類や形態によって異なります。LANへの接続の前に、LANの管理をしている人(ネットワーク管理者)に相談してください。

用語 LAN

Local Area Networkの略で「ラン」と読む。パソコンに限らず、同じ建物やフロアにある何台ものコンピュータを接続してネットワークを構成し、ファイルやプリンタなどを共有できるようにする仕組み。

アプリケーションを使う

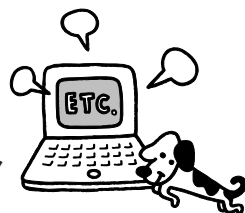
本パソコンには、電源を入れるとすぐに使える
便利なアプリケーションがいくつか内蔵されています。
ここでは、これらのアプリケーションの機能と使いかたを紹介します。



この章では、次の内容を説明しています。

- アプリケーションのご紹介 (●▶ P.100)
- コンピュータウイルスを検査し除去する(VirusScan)
(●▶ P.108)
- 10円メール(携帯電話専用)を使う (●▶ P.114)
- アプリケーションのインストールと削除 (●▶ P.121)

アプリケーションのご紹介



本パソコンには、便利なアプリケーションがいくつかインストールされています。ここでは、インストールされている主なアプリケーションを紹介します。

インターネットエクスプローラ Internet Explorer

インターネットのホームページを表示するためのアプリケーションです。
●▶「ホームページを表示する」(P.39)

アウトルックエクスプレス Outlook Express

インターネット上で、メールを送受信したりニュースグループを利用したりするためのアプリケーションです。●▶「Eメールを利用する」(P.55)

FM手帳

個人の情報管理を行うアプリケーションです。カレンダー上に手帳に書くように簡単に予定が書き込めます。予定は、時間の決まったもの、未定のもの、やるべき作業(ToDo)を区別して書き込み、月・週・日単位で自由に確認できます。住所録のデータを使ってホームページを見たり、メールの送受信を行うなど、インターネットを利用するのにも役立ちます。

操作方法は添付のマニュアルかヘルプをご覧ください。

添付の「メモリダイアルリンク」を使うと、PDCコネクタに接続した携帯電話の電話帳を編集することができます。

操作については、「アプリケーションCD-ROM」のファイル「¥Mdlink¥Disk1¥Readme.txt」をご覧ください。

10円メールマスター

NTTドコモのデジタル携帯電話による電子メールサービス「10円メール」の専用アプリケーションです。簡単な操作でインターネットの電子メールが利用できます。

●▶「10円メール(携帯電話専用)を使う」(P.114)

フロントページエクスプレス FrontPage Express

インターネットのホームページを作成するためのアプリケーションです。HTMLについての知識がなくても、ワープロのような感覚でホームページを編集することができます。

インフォウェブ はじめよう！インターネット(InfoWeb)

インターネットを利用するために、パソコンを使ってInfoWeb(プロバイダ)と契約するためのアプリケーションです。

●▶「InfoWeb(プロバイダ)でインターネットを利用する」(P.23)

インテリシンク Intellisync

他のパソコンとデータをやりとりするためのアプリケーションです。

●▶「Intellisyncでパソコンとデータをやりとりする」(P.90)

駅すばあと

目的地までの電車の経路や運賃を調べるためのアプリケーションです。

●▶「目的地への乗り継ぎと運賃を調べる」(P.103)

ハッチインサイド Hatch inside

インターネットのホームページに簡単に接続するためのアプリケーションです。「Hatch inside」を起動して、インターネットに接続していると、電話をかけるときのように数字をブラウザのURL欄に入力するだけで、ホームページが表示できます。

操作方法はヘルプをご覧ください。

FM便利ツール

パソコンに思いがけないトラブルが起こるのを防いだり、操作を手伝ってくれてパソコンを使いやすくするソフトです。

おもな機能は次のとおりです。詳しくはヘルプをご覧ください。

- FMメニュー アプリケーションを一覧画面からのクリックだけで起動します。
- あんしんパソコン 表示されるアイコンや操作できるキーなどを制限します。他の人が間違った操作をしても、困ったことにならないようにできます。
- かんたんボタン キーを押すだけでブラウザやメールソフトを起動します。
- おしえてポスト 指定した時間間隔や指定時刻に自分宛のメールがないかチェックし、あれば受信します。
- みはって！回線 インターネットに接続して、電話を長く使っているとお知らせします。
- かんたんマウス ダブルクリックの操作をやりやすくします。
- ずーっと画面 操作をしなくても、画面が暗くならないように、スクリーンセーバが働かないようにします。
- おしらせディスク ハードディスクの空き容量が少なくなると警告を出します。
- おりこうフロッピー Windowsの終了時にフロッピーディスクなどを出し忘れていないかチェックします。
- お楽しみツール 音楽CDを演奏したり、15パズルやパネルで行う神経衰弱のゲームが行えます。

ウィルススキャン

VirusScan

本パソコンがコンピュータウイルスに感染していないかチェックし、感染していればウイルスを除去するアプリケーションです。

●▶「コンピュータウイルスを検査し除去する(VirusScan)」(P.108)

FMかんたんバックアップ/データ

FMかんたんバックアップ/インターネット設定

ハードディスク内にあるデータやインターネットに接続するときの設定(ユーザー名やパスワード)をコピーして予備を作成します。

バックアップできるデータは、ご購入時に本パソコンにインストールされているアプリケーションのデータです。バックアップ先は、内蔵または外付けのハードディスクです。

操作方法はヘルプをご覧ください。

メモ帳

テキストデータを作成したり、表示するためのアプリケーションです。

タッチおじさんメール

Eメールを作成したり送受信するためのアプリケーションです。茶目っ気たっぷりのタッチおじさんが、メールを配達してくれ、ときには笑えるハプニングもあったりする、使って楽しいメールソフトです。

サンリオアクセサリー

キャラクター「キティ」をあしらったアクセサリソフトで、次の機能があります。「キティ」がパソコンのデスクトップ上をトコトコ歩き回る「デスクトップマスケット」、指定した時間に鳴る目覚し時計の「アナログ時計」、インターネットに接続しているときに、メールを受信していないかチェックする「メール着信チェッカー」。

アドバイザー

FM Adviser

FMV診断

FM Adviserは本パソコンにインストールされているドライバやアプリケーションをチェックし、誤った設定がされていれば警告を出します。

FMV診断は、本パソコンに異常がないか検査し、検査結果を表示します。

操作方法はヘルプをご覧ください。

目的地への乗り継ぎと運賃を調べる

「駅すばあと」は、行きたい場所に交通機関を使ってどうやったら行けるかを案内してくれるアプリケーションです。乗り継ぎの方法や運賃、所要時間などを教えてくれます。

基本的な使いかた

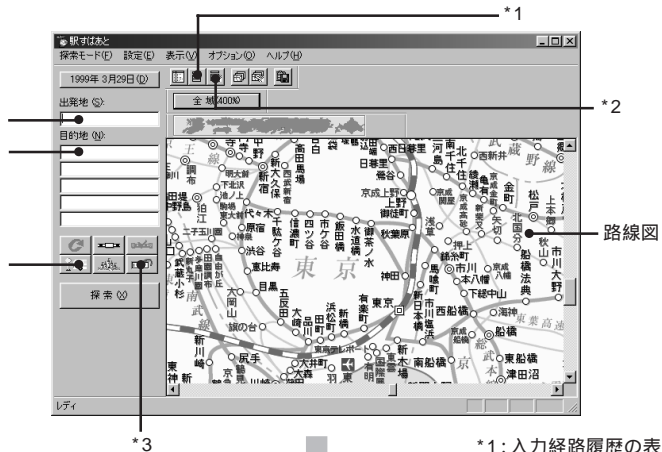
「駅すばあと」は、「スタート」ボタンをクリックして、「プログラム」の「駅すばあとと全国版」と選び「駅すばあと」をクリックして開始します。

調べたい区間の一方の駅名を入力します。

「出発地」欄をクリックして、キーボードで入力するか、路線図上の駅をダブルクリックします。

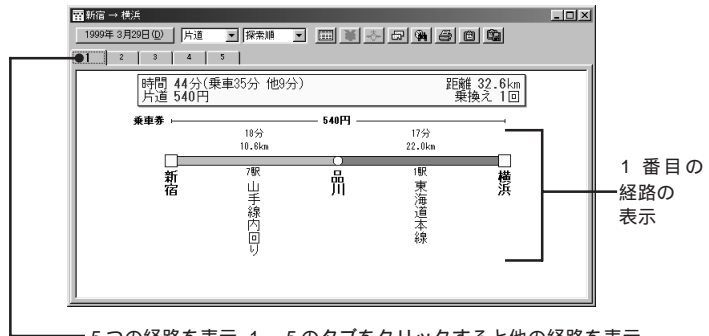
「目的地」に他方の駅名を入力します。

「探索」をクリックします。



- *1: 入力経路履歴の表示
- *2: 入力経路履歴の編集
- *3: 入力履歴

調査した結果が表示されます



5つの経路を表示。1～5のタブをクリックすると他の経路を表示

アプリケーションを使う


駅名の入力を楽にする

キーボードで駅名を入力


出発地や目的地の欄をクリックして、駅名をひらがな・カタカナ・ローマ字・漢字のいずれかで入力します。


駅名の最初の1文字を入力すると、その文字で始まる駅名の一覧が「駅選択」ウィンドウに表示されます。目的の駅をダブルクリックして入力します。

入力したことのある駅名を履歴から選ぶ

 (入力履歴) をクリックすると、これまでに入力した駅名の一覧が表示されます。調べる駅をダブルクリックで入力します。

一度調べた区間は履歴から選べる

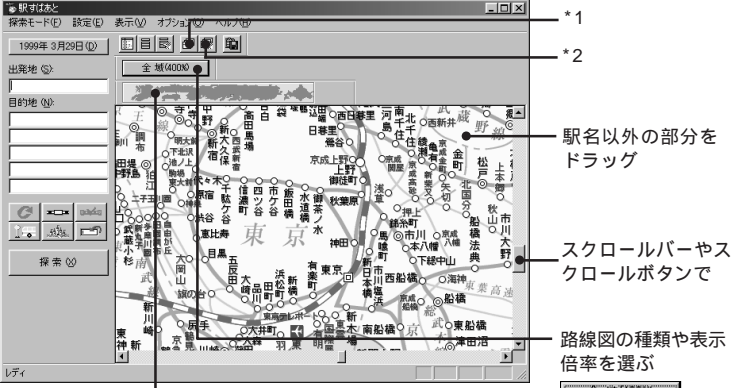
 (入力経路履歴の表示) をクリックすると、これまでに調べた区間の一覧が表示されます。調べたい区間をダブルクリックすると、経路の調査が行われ結果が表示されます。

 (入力経路履歴の編集) をクリックすると、履歴を消さないように設定できます。

路線図での駅選択

調べたい駅が入った路線図を表示して、駅名をダブルクリックします。

見たい地域の路線図を表示するには



スクリーンショットには、検索モードのウィンドウと路線図が表示されています。ウィンドウには「1999年3月29日」の日付と「全城(400%)」の出発地・目的地欄があります。路線図は東京周辺を拡大表示しています。

*1: 路線図のしよりの表示
*2: 路線図のしよりの編集

駅名以外の部分をドラッグ


スクロールバーやスクロールボタンで

路線図の種類や表示倍率を選ぶ

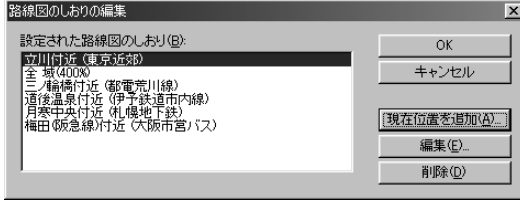
全城(400%)	100%
全城	200%
東京近郊	200%
名古屋近郊	400%
大阪近郊	400%
地下鉄	
路面電車	
路線バス	


クリックした地域の路線図になる

しおりを付けるとすぐに見られる

今見ている路線図にしおりを付けておけば、 (路線図のしおりの表示) をクリックしてしおりを選ぶだけで、同じ路線図が表示できます。

しおりを付けるには



まず路線図を表示して、しおりに付ける駅名の駅をクリックして赤線で囲みます。あとは (路線図のしおりの編集) をクリックして、「現在位置を追加」を選べばOKです。

探査結果の画面の利用方法

探査結果の画面では、各種の情報を切り替えて表示したり、印刷したりファイルに出力することができます。

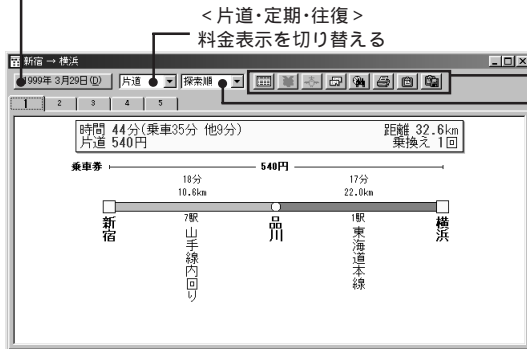
また表示中の経路は、ワードパッドの文書などにドラッグして、見たままのイメージがテキストのデータで貼り付けることができます。

アドバイス

調べた結果の見方









- ・探査は早さを優先して行なわれ、5経路が表示されます。乗り換えや空路を避けたいなどの調節は、「設定」メニューの「探索条件の設定」で行います。
- ・以下の「ダイヤ探索」で、実際の時刻表ダイヤを使用するのは、新幹線や特急、航空便に限られ、その他の場合は、平均的な運転間隔で計算されます。

その日に適用されている特急料金や航空運賃、臨時便ダイヤを使って調べる



*1
< 探査順・運賃順・
定期順・時間順 >
経路1～5の順序を
切り替える

*1: 次ページで説明
のボタン

-  5 経路の一覧を表示。
-  出発時刻などを指定して調べるダイヤ探索。
-  グリーン料金や自由席料金で計算。
-  結果を印刷。全経路が表示中の経路が選ぶ。
-  航空会社別の料金で計算。
-  表示中の経路をクリップボードにコピー。
-  区間を分けて買った方が安くなるかの計算。
-  このしるしを付けた経路だけをまとめてクリップボードやファイルに出力。
*出力は「オプション」メニューの「探索結果の出力」で行う

アドバイス

駅の出口や乗り入れの情報を表示

探索結果の画面や路線図の画面、また駅名選択ウィンドウで駅名をクリックすると、次の情報が表示できます。

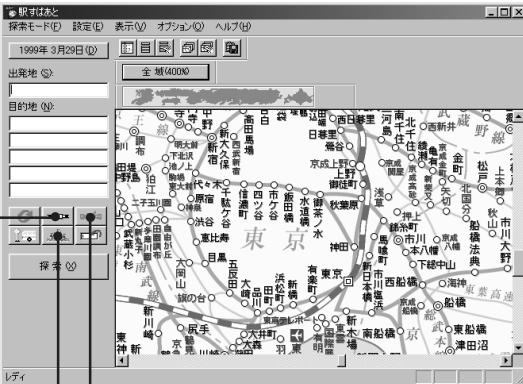
- ・詳細表示...乗り入れ路線の一覧、特急や新幹線ダイヤを表示
- ・路線図...路線図上にその駅の位置を表示
- ・出口案内...「1 番出口」などの案内を表示
- ・福祉設備案内...車椅子対応の設備の有無を表示

路線の選択や停車駅の表示

結果画面で路線名や路線バーをクリックすると、その区間の他の路線名(急行、準急、普通なども路線名が別になる)の1覧が表示されます。路線を切り替えて所要時間などを調べることができます。

その他の使いかた

「駅すばあと」には、このほかにもさまざまな機能があります。詳しくは、マニュアルのファイル「c:\¥Program Files¥ExpWin32¥ Manual.rtf」またはヘルプをご覧ください。



路線の駅名一覧から出発地・目的地を選択

乗換駅や乗る路線を指定して探索

ランドマーカー一覧から出発地・目的地を選択

駅からのバスや徒歩も計算に入れる

駅から目標物(自宅や会社)までの移動にかかる時間や費用も計算します。あらかじめ目標物(ランドマーク)の駅からの所要時間やかかる費用を登録しておけば、出発地や目的地に、そのランドマークを選ぶだけで、全体の所要時間や費用が結果画面に表示されます。

あらかじめ300以上が登録されている

テーマパークや劇場など300以上のランドマークが登録されているので、それらへの経路の表示が簡単に行えます。

目標物(ランドマーク)を登録する操作

「スタート」ボタンをクリックして、「プログラム」、「駅すばあと 全国版」と選び「ランドマーク登録」をクリックして開始します。「ランドマーク登録」ウィンドウが表示されるので、「編集」メニューの「追加」をクリックして、以下の画面で登録を行います。

ランドマークの分類名を選ぶか、新たに付ける

ランドマークに付ける名前

最寄駅からランドマークへの移動方法を3通りまで登録

新たに登録したランドマークは、「駅すばあと」を再起動したときに使用できるようになります。

アドバイス

回答数を変える

結果画面に表示される経路数を変える(最大20) ●▶「設定」メニューの「回答数の設定」

ダイヤ探査の乗換え時間の設定

特急や空路など時刻表ダイヤで探索するときの乗換え時間を設定 ●▶「設定」メニューの「ダイヤ探索時の乗換え時間の設定」

空席・予約案内

インターネットで航空会社に接続して予約 ●▶ 結果画面の空路のクリックで表示される「路線情報」で「空席・予約案内」を選ぶ

コンピュータウイルスを 検査し除去する(VirusScan)



ウイルススキャン
「VirusScan」は、コンピュータウイルスを発見し除去するためのアプリケーションです。

用語 コンピュータウイルス

コンピュータに侵入して、異常動作を引き起こすプログラム。ウイルスに侵入されることを「感染」という。

ウイルスは、フロッピーディスクなどの外部媒体やパソコン通信・インターネットからデータを読み込んだときに侵入することが多い。

VirusScanの働き

VirusScanは、本パソコンのドライブや接続したドライブがウイルスに感染していないか検査し、感染していた場合は、通知や除去など、必要な処置を行います。

ウイルス検査には2つの方法がある

VirusScanでは、次の2つの方法でウイルスの検査が行えます。

指示したときに実行されるウイルス検査

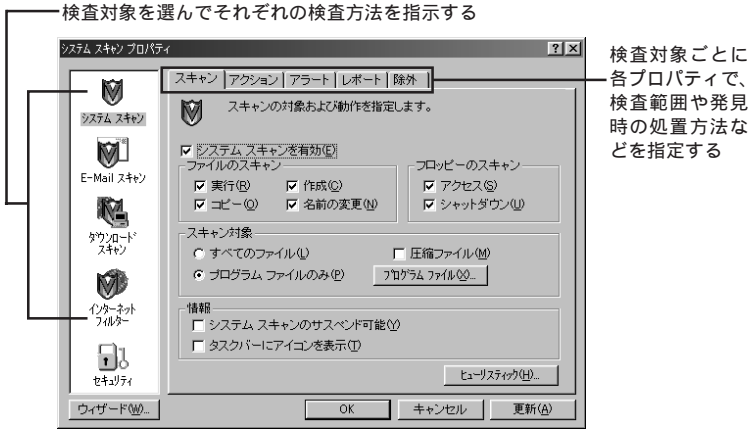
検査した方がよいと思ったときに、実行を指示して行うもの。これをオンデマンドスキャン、随時実行するウイルス検査と呼びます。

常にウイルスの侵入を監視する検査

バイシールド
VShieldというプログラム(モジュール)が本パソコンに常駐して、ファイルへのアクセスがあったときに自動的に検査を行うもの。これをオンアクセススキャン、常時監視のウイルス検査と呼びます。

常時監視では、Eメールの添付ファイルやインターネットからダウンロードしたファイルに対して検査を行ったり、ホームページのJAVA アプレットやActiveXコントロールからの感染を防ぐこともできます。

VShieldは次のウィンドウで検査のしかたを設定します。



ウィルスの検査と除去のしかた

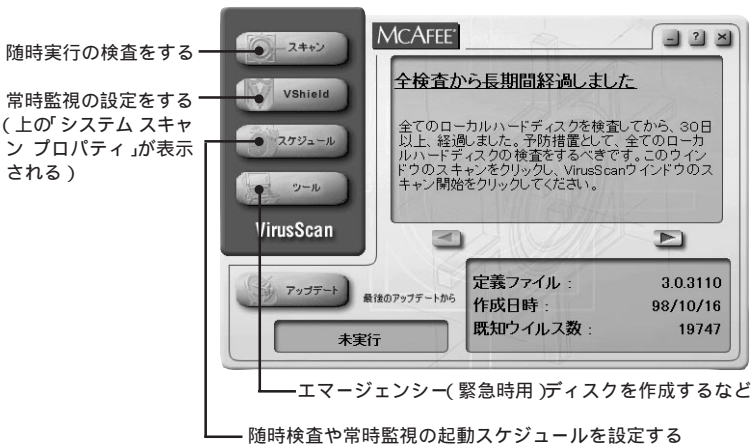
随時実行するウィルス検査は次のように行います。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「McAfee VirusScan」の順にマウスポインタを合わせ、「McAfee VirusScan セントラル」をクリックします。

VirusScan セントラルのウィンドウが表示されます。

- 2 「スキャン」のボタンをクリックします。

「ようこそ……」のウィンドウが表示されたときは、「OK」をクリックします。検査のしかたを設定するウィンドウが表示されます。



3 設定が必要なタブをクリックして次の設定行います。

スキャン...ウィルス検査の対象の設定。

アクション...発見されたときの処置方法の設定。

内容は ●▶「ウィルス発見時の処置方法の設定」(P.111)

アラート...発見されたときの警告方法の設定。

レポート...検査の記録(ログ)の要・不要の設定。

除外...検査から除外するファイルなどの設定。



アドバイス

他のドライブも検査したいとき

「スキャン」タブの「追加」をクリックして、「追加スキャン項目」ウィンドウを表示します。そこで「スキャン対象」をクリックすると、「すべてのハードディスク」などが選択でき、「ドライブまたはフォルダ」をクリックすると、個々のドライブやフォルダが選択できます。

マクロウィルスも検査するとき

「スキャン」タブの「マクロ ヒューリスティック スキャン」をクリックして、検査の感度を設定してください。

4 以上のタブの設定が終了したら「スキャン開始」をクリックします。

検査が行われ、発見されなければ「感染している項目はありません」と表示されます。

発見された場合は、ウィンドウ下部に感染ファイル名や、ウィルス名などが表示され、手順3で指定した処置が行われます。

5 **X** (閉じる) をクリックし、セントラルのウィンドウで **X** をクリックします。

アドバイス

エマージェンシーディスクを作成してください

エマージェンシー(緊急時用)ディスクは、システムがウイルスに感染されて、Windowsが起動できないときに、ウイルスの影響を受けずにシステムを起動するのに使います。

作成方法は、VirusScanのヘルプをご覧ください。

.....

ウイルス発見時の処置方法の設定

ウイルスが発見されたときの処置方法は、「アクション」タブで次の中から選択します。

アクションを指定...ウイルスを検出したときに、以下の「除去」「削除」「続行」などの対処を選択する。

感染しているファイルをフォルダに移動...感染ファイルを、指定されたフォルダに自動的に移動する。

感染しているファイルからウイルスを駆除...感染ファイルからウイルスを除去する。除去できなかったときは、他の処置を選択する。

感染しているファイルを削除...感染ファイルを削除する。

スキャンを続行...感染ファイルを処置せずに検査を続行する。

アドバイス

ログファイルは残したほうが安全

「レポート」タブでログファイル(検査や処置内容を記録したファイル)を残すかどうか指定します。

万一感染してファイルの移動や削除が行われても、ログファイルがあれば、元の状態に戻す手がかりになります。

.....

ご使用上の注意事項

VirusScanを使用する際は、以下の点にご注意ください。

VirusScanのご利用時

重要

検査対象のディスクにアクセスしない

- ・ハードディスクの検査の実行中は、ハードディスクのプログラムを実行しないでください。
- ・フロッピーディスクの検査実行中は、フロッピーディスクを取り出さないでください。

フロッピーディスクで起動するときは

そのフロッピーディスクにウイルスが感染していないか検査してからお使いください。


常時監視のVShieldのご利用時

重要

次の場合はVShieldを終了してください。

- ・アプリケーションのインストールに不具合が発生したとき
- ・アプリケーションの動作が不安定になるとき

これらの場合は、VShieldの常駐を終了させてください。

これらの場合は、VShieldの常駐を終了させてください。
タスクバーの (McAfee VShield) を右クリックし、表示されるメニューから「終了」をクリックします。

アドバイス

ウイルスDATファイルとスキャンエンジンの更新

- ・VirusScanは、ウイルスの検査に、ウイルスの情報を記載したデータファイル (DATファイル) と、検査プログラム (スキャンエンジン) を使用しています。
- ・DATファイルは、VirusScanコンソールの「 AutoUpdate 」を実行するか、以下のサイトから無料でダウンロードできます。必要に応じて更新してください。
<http://www.nai.com/japan/>
- ・スキャンエンジンを更新する場合は、新たに最新版の「 VirusScan 」を購入してください。詳細についてはVirusScanの「 必ずお読みください 」を参照してください。

ご質問などの連絡先は

- VirusScanをご使用中に、前記の項目以外に、何かトラブルが発生した場合は、次の所へご連絡ください。

パソコンに関するご質問

『本体&オプションガイド』の「それでも解決できないときは」をご覧ください、「お問い合わせの確認シート」に必要事項をご記入の上、弊社FMインフォメーションサービスにお問い合わせください。

VirusScanに関するご質問

VirusScanのマニュアルをご覧ください。

- コンピュータウイルスを発見された場合は、下記協会に届け出のご協力をお願いします。

IPAセキュリティセンター ウィルス対策室

電話:03-5978-7509(1999年4月現在)



10円メール(携帯電話専用)を使う



「10円メールマスター」は、NTTドコモのデジタル携帯電話を利用してインターネットの電子メールを送受信するサービス、「10円メール」を利用するためのアプリケーションです。「マスターネット」というプロバイダに加入し、10円メール用のユーザーIDで通信を行います。

10円メールとは

10円メールには、次のような特長があります。

1回10円で送受信ができる

1回10円(12秒以内)でインターネットメールの送受信ができます。送信時は、12秒以内で1000文字(全角)までのデータだけが送れます。受信時は、12秒以内で1000文字までのデータが10円で受信でき、それを越えると、12秒ずつ10円が加算されます。

ポケットベルにメッセージを送信できる

NTTドコモのポケットベル、インフォネクストシリーズにメッセージを送信できます。全角文字の場合、約50文字まで送信できます。

重要

ポケットベルの相手先がエリア外にいるときは

メッセージを送信したとき、相手がエリア外にいるときやポケットベルの電源を切っているときは、送信エラーとなります。

10円メールを使う前の準備

ここでは、マスターネットへ加入するまでの手順について説明します。すでにマスターネットに加入している方も、10円メールの申し込みが必要です。

必要なものを用意する

10円メールマスターを利用して通信を行うには、次の機器が必要です。なお、対応している機種などについて詳しくは、ヘルプをご覧ください。

NTTドコモのデジタル携帯電話

9600bpsに対応したNTTドコモのデジタル携帯電話が必要です。他のデジタル携帯電話、またはPHSなどではご利用できません。

携帯電話接続ケーブル

- ・PDCコネクタ用の「携帯電話接続ケーブル」を使用します。
接続方法は、『本体&オプションガイド』の「携帯電話やPHSを使う」をご覧ください。
- ・モデムを選択する際に、「Fujitsu SOFT PDC」を選択してください。

デジタル携帯電話接続カード

NTTドコモのデジタル携帯電話の接続に使用する、デジタル携帯電話接続カードが必要です。

クレジットカード

マスターネットに加入するには、クレジットカードが必要です。お手元に用意してください。使用できるクレジットカードについては、ヘルプをご覧ください。

なお、法人会員でクレジットカード以外のお支払いを希望する場合は、マスターネット株式会社にお問い合わせください。

モデムの設定をする

10円メールマスターでは、本パソコンに内蔵のモデムではなく、「携帯電話接続ケーブル」が携帯電話接続カードを接続に使います。

アドバイス

携帯電話用の所在地情報に切り替えることが必要

10円メールを使用するときは、携帯電話用の所在地情報を使わないと接続できません。

これまで内蔵モデムを使って通信を行っていた場合は、携帯電話用の所在地情報を使って通信をするように設定してください。

操作方法は ●▶『本体&オプションガイド』の「所在地情報の設定と切り替え」



- 1 本パソコンとデジタル携帯電話を接続します。
『本体&オプションガイド』の「携帯電話やPHSを使う」をご覧ください。また、携帯電話接続カードのマニュアルもあわせてご覧ください。
- 2 「スタート」ボタンをクリックし「プログラム」、「10円メールマスター」の順にマウスポインタを合わせ、「10円メールマスター」をクリックします。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。
- 3 「キャンセル」をクリックします。

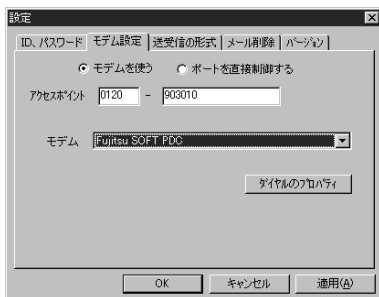
4 「通信設定」をクリックします。



「設定」ウィンドウが表示されます。

5 「モデム設定」タブをクリックします。

- 6 「モデムを使う」をクリックして  にし、「モデム」の右の  をクリックして、一覧から「Fujitsu SOFT PDC」がデジタル携帯電話接続カードの名前をクリックし、「OK」をクリックします。



これでデジタル携帯電話を使って、通信ができるようになりました。続けて、10円メールが利用できるように、加入手続きをします。

加入手続きをする

加入手続きは、本パソコンからオンラインで行います。加入手続きをすると、約1週間で10円メール用のユーザーIDなどが郵送されてきます。

すでに10円メールに加入している場合は、「ユーザーIDを設定する」(●▶ P.117)に進んでください。

確認

デジタル携帯電話を準備してください

デジタル携帯電話の電源を入れ、発信者番号通知を「ON」に設定してください。操作方法については、デジタル携帯電話のマニュアルをご覧ください。

1 「入会手続き」をクリックします。

「新規入会」ウィンドウが表示されます。

- 2 マスターネットに加入している場合
「はい」をクリックし、「10円メール申し込み」ウィンドウで必要な項目を入力します。

マスターネットに加入していない場合

- 「いいえ」をクリックし、「オンライン登録」ウィンドウで必要な項目を入力します。

入力する項目について詳しくは、ヘルプをご覧ください。

- 3 「通信&登録」をクリックします。

ユーザーIDを設定する

マスターネットからユーザーIDなどが郵送されてきたら、10円メールマスターに登録します。

- 1 「通信設定」をクリックします。
- 2 各項目を入力して、「OK」をクリックします。

これで、10円メールが使えるようになりました。

メールを送信する

10円メールを利用してメールを送信してみましょう。自分宛にメールを送ることもできます。

確認

デジタル携帯電話を準備してください

デジタル携帯電話の電源を入れ、発信者番号通知を「ON」に設定してください。操作方法については、デジタル携帯電話のマニュアルをご覧ください。

送信できるデータ

- ・送信できるデータは、テキストデータのみです。バイナリデータのファイルや、添付文書を送ることはできません。
- ・一度に送信できるのは、全角文字で約1000文字(12秒以内)までです。ただし、相手側の機種によっては、受信した時に文字数が少なくなることがあります。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」→「10円メールマスター」の順にマウスポインタを合わせ、「10円メールマスター」をクリックします。

10円メールマスターのウィンドウが表示されます。

- 2 「メール送信」をクリックします。

「メールの送信」ウィンドウが表示されます。

- 3 「宛先」の右の欄をクリックし、送信先のメールアドレスを入力します。
- 4 「表題」の右の欄をクリックし、メールのタイトルを入力します。
- 5 メールの内容を入力し、「送信」をクリックします。
送信先にメールが送られます。

メールを受信する

送られてきたメールを受信してみましょう。

確認

デジタル携帯電話を準備してください

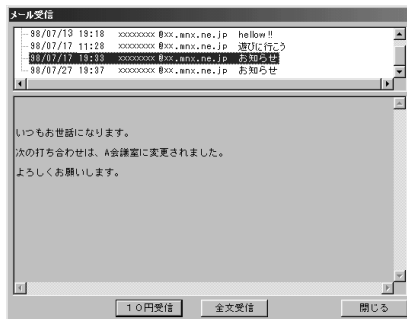
デジタル携帯電話の電源を入れ、発信者番号通知を「ON」に設定してください。操作方法については、デジタル携帯電話のマニュアルをご覧ください。

重要

受信できるデータ

受信できるデータは、テキストデータのみです。バイナリデータのファイルや、添付文書を受信することはできません。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」→「10円メールマスター」の順にマウスポインタを合わせ、「10円メールマスター」をクリックします。
10円メールマスターのウィンドウが表示されます。
- 2 「メール受信」をクリックします。
「メール受信」ウィンドウが表示されます。上の欄には、前に受信したメールの一覧が表示されています。
- 3 「10円受信」または「全文受信」をクリックします。
10円受信：通信時間が12秒以内で、未読のメールを受信します。12秒以内であれば複数のメールも受信できます。
全文受信：未読のメールをすべて受信します。通信時間が12秒かかるごとに、10円の料金がかかります。
- 4 受信したメールのタイトルをクリックします。



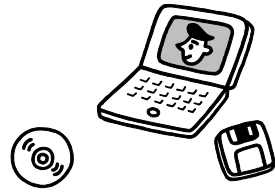
メールの内容が下の欄に表示されます。

5 メールを読み終わったら、「閉じる」をクリックします。

「メール受信」ウィンドウが閉じます。

10円メールマスターには、この他にもたくさんの機能があります。詳しくは、ヘルプ、または10円メールの入会後に郵送されてくるマニュアルをご覧ください。

アプリケーションのインストールと削除



ここでは、アプリケーションをインストールする前の準備とインストールの方法、および削除の方法について説明します。

アプリケーションをインストールする

アプリケーションの提供のされかたに合わせて、必要があればフロッピーディスクドライブまたはCD-ROMドライブをご用意ください。

インストール前に確認すること

アプリケーションをインストールする前に確認事項がいくつかあります。次の説明を参考に、正しくインストールできることを確かめてください。

Windows98用のアプリケーションか？

「Windows98 対応」と明示されたアプリケーションを使用してください。Windows95や3.1のみに対応しているアプリケーションは、利用できない場合があります。

ハードディスクの空き容量は？

ハードディスクの空き容量が足りないときは、アプリケーションを正しくインストールできません。インストールするアプリケーションに添付のマニュアルをご覧ください。必要なディスク容量を確認してください。本パソコンのハードディスクの空き容量は、次のようにして調べることができます。

- 1 デスクトップの  (マイ コンピュータ) をクリックします。

「マイ コンピュータ」ウィンドウが表示されます。

- 2 CまたはDドライブを右クリックし、メニューから「プロパティ」をクリックします。

選択したドライブのプロパティのウィンドウが表示されます。

アドバイス

ハードディスクの空き容量が不足しているとき

利用しないアプリケーションのアンインストールや、不要なファイルの削除などによって、ハードディスクの空き容量を増やすことができます。詳しくは、「アプリケーションを削除する」(●▶ P.125)、「不要なファイルを自動検出して削除する(ディスククリーンアップ)」(●▶ P.129)をご覧ください。

ご購入時の設定では

「マイ コンピュータ」ウィンドウでドライブのアイコンにマウスポインタを合わせただけで、ウィンドウの左側に空き容量などが表示されます。

必要なメモリは？

本パソコンは、64MBのメモリを内蔵しているので、市販されているほとんどのアプリケーションを利用することができます。ただし、アプリケーションによっては、大容量のメモリを必要とする場合があります。また、複数のアプリケーションを同時に起動して、切り替えて利用する場合には、メモリが不足することがあります。

アプリケーションに添付のマニュアルをご覧ください。必要なメモリ容量を確認してください。メモリを増設する方法については、『本体&オプションガイド』をご覧ください。

使用中のアプリケーションの終了

アプリケーションのインストールが終了すると、コンピュータの再起動が行われる場合があります。再起動すると、それまでの作業で保存されていないデータは失われてしまいます。インストール作業を始める前に、作業中のデータを保存して、使用中のアプリケーションを終了してください。

インストールを始める

重要

ドライブが正しく認識されていますか

インストール作業を始める前に、フロッピーディスクユニット、またはCD-ROMドライブが正しく認識されていることを確認してください。デスクトップの「マイコンピュータ」をクリックして、ウィンドウ内にドライブのアイコンが表示されているれば正しく認識されています。

アドバイス

Windows98のCD-ROMのセットを求めるメッセージが表示されたら

「Windows98のCD-ROMのセットをしてください」というメッセージが表示された場合は、次のフォルダにコピーするファイルがあります。次のフォルダをコピー元に指定してください。

「c:¥windows¥options¥cabs」

- 1 アプリケーションのフロッピーディスク(またはCD-ROM)をセットします。
- 2 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロール パネル」をクリックします。
「コントロール パネル」ウィンドウが表示されます。

3 (アプリケーションの追加と削除) をクリックします。

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。



4 「インストール」をクリックします。

「フロッピー ディスクまたは CD-ROM からのインストール」ウィンドウが表示されます。

5 「次へ」をクリックします。

「インストール プログラムの実行」ウィンドウが表示されます。

6 「インストール プログラムのコマンドライン」の下の欄に、フロッピーディスクか CD-ROM のインストールプログラムのファイル名を入力し、「完了」をクリックします。

インストールプログラムが始まります。このあとの操作は、各インストールプログラムによって異なります。画面に表示されるメッセージに従って、インストール作業を進めてください。

アドバイス

内蔵されているアプリケーションの再インストールについて

『リカバリガイド』の「第2章 アプリケーションを再インストールする」をご覧ください。

インストールしたアプリケーションの削除について

『リカバリガイド』の「アプリケーションの削除方法」をご覧ください。

インストール後に行うことが必要な操作

アプリケーションをインストールしたあとは、以下のようにWindows98のライブラリをアップデートする操作を行ってください。

- 1 CD-ROMドライブを接続して「リカバリCD-ROM 2/2」をセットします。
- 2 起動中のアプリケーションをすべて終了します。

VirusScan、FM便利ツール、Hatch insideなど、タスクバーに常駐するタイプのアプリケーションもすべて終了してください。

スクリーンセーバーを設定している場合は、「なし」に設定します。

アドバイス

VirusScanやHatch insideなどを終了するには

タスクバーのそれぞれのアイコンに、マウスポインタを合わせて左または右クリックし、表示されたメニューの「終了」などの項目をクリックします。

FM便利ツールを終了するには

「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」→「FM便利ツール」の順にマウスポインタを合わせ、「5. 終わる」をクリックします。

- 3 「スタート」ボタンをクリックし、「ファイル名を指定して実行」をクリックします。

「ファイル名を指定して実行」ウィンドウが表示されます。

- 4 「名前」欄に次のように入力し、「OK」をクリックします。

e:\libupd\SPeu.exe

ファイルのコピーが始まります。

コピー中を示す画面が消えたら、再起動します。

- 5 「スタート」ボタンをクリックし、「Windowsの終了」をクリックします。

- 6 「再起動する」をクリックし、「OK」をクリックします。

パソコンが再起動して、アップデートが有効になります。

アプリケーションを削除する

アプリケーションを削除するときは、必ず各アプリケーションに付属のアンインストール機能を使うか、「コントロールパネル」ウィンドウの「アプリケーションの追加と削除」を使って行ってください。

アンインストール機能が用意されている場合は、そちらを優先して、アンインストール機能を使って削除してください。

コラム

アンインストール機能とは

Windows98に対応したアプリケーションには、「アンインストール機能」が用意されているものがあります。アプリケーションには、インストールするときに自動的にシステムの設定を変更するものがあり、単にプログラムのファイルを削除するだけでは、インストールする前の状態に戻らないことがあります。アンインストール機能を使うと、プログラムファイルを削除するとともに、システムの設定もアプリケーションをインストールする前の状態に戻すことができます。

アンインストール機能を使う

アンインストール機能は、「スタート」ボタンから利用します。たとえば、「タッチおじさんメール」をアンインストールする場合には、「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「タッチおじさんメール」の順にマウスポインタを合わせ、「タッチおじさんメールの削除」をクリックします。削除を確認するウィンドウが表示されるので、「はい」をクリックします。

重要

アプリケーションをアンインストールする前に

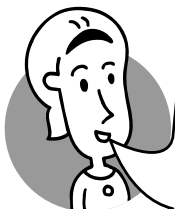
本当に削除してもよいかどうか、確認してから行ってください。アプリケーションをアンインストールすると、設定内容なども消えてしまうので、再びインストールをしない限り復元できません。

アプリケーションの追加と削除

「アプリケーションの追加と削除」での操作は『リカバリガイド』の「アプリケーションの削除方法」をご覧ください。

豆知識

本パソコンには、ハードディスクの不具合を検査したり
不要なファイルを削除するなど、
メンテナンスのためのユーティリティソフトが内蔵されています。
ここでは、これらの操作方法を説明するだけでなく、
本パソコンの使いやすさをアップするための豆知識を掲載しています。



この章では、次の内容を説明しています。

- ハードディスクを使いやすくする(●▶ P.128)
- 操作をしやすくする
 - ミニ情報: 画面を見やすくする(●▶ P.131)
 - ミニ情報: 操作方法を変える(●▶ P.133)
- マルチメディアファイルを楽しむ
 - ミニ情報: マルチメディアファイルを楽しむ(●▶ P.134)
- よくある操作を楽にする
 - ミニ情報: 特殊な文字や記号を入力する(●▶ P.137)
 - ミニ情報: ファイルを探して中を見る(●▶ P.138)

ハードディスクを使いやすくする

ハードディスクに異常がないか調べる(スキャンディスク)

Windowsが正常に終了しなかったり、ソフトウェアの障害などによって、システムのファイル管理に異常が発生することがあります。


スキャンディスクは、ファイル管理に異常がないか検査します。

自動修復を指定すると

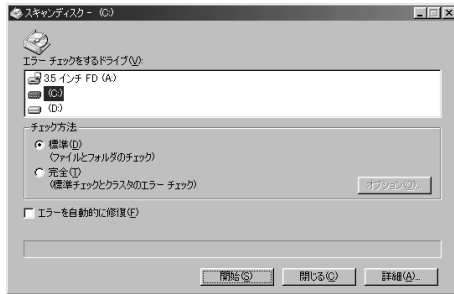
管理外のクラスタ(ディスクを管理するときの単位領域)や読み書きできないクラスタを、ファイルから除外するなどの処置を行います。処置内容については(C:)フォルダの「Scandisk.log」というテキストファイルをご覧ください。


重要

スキャンディスクを行うときの注意事項

- ・スキャンディスクを開始する前に、起動しているアプリケーションはすべて終了してください。タスクバーにアイコンが表示されている、VirusScanなどの常駐ソフトも終了する必要があります。
- ・デスクトップの何も無いところを右クリックし、メニューの「プロパティ」を選択すると表示される「画面のプロパティ」ウィンドウで、「スクリーンセーバー」タブを開き、「スクリーンセーバー」の設定を必ず「なし」にしてください。
- ・「コントロールパネル」ウィンドウの  (電源の管理) をクリックし、「電源設定」タブの「システムスタンバイ」の設定を、必ず「なし」にしてください。
- ・スキャンディスクは、必ずACアダプタを接続してから行ってください。
- ・スキャンディスクを行っている間は、絶対にMAINスイッチをOFFにしないでください。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし「プログラム」_、「アクセサリ」_、「システム ツール」の順にマウスポインタを合わせ、「スキャンディスク」をクリックします。
- 2 「エラー チェックをするドライブ」欄で、チェックしたいドライブをクリックします。




- 3 「チェック方法」欄の「標準」をクリックし  にします。

アドバイス

「完全」を選択した場合は

「完全」を選択してスキャンディスクを実行すると、クラスタごとの検査を行うので時間がかかります。正確に検査したいときに、実行してください。

- 4 「エラーを自動的に修復」をクリックし  にします。

- 5 「開始」をクリックします。

選択したディスクの検査が始まり、「スキャンディスク」ウィンドウに進行状況が表示されます。

検査が終了すると、「結果レポート」ウィンドウが表示されます。

- 6 「閉じる」をクリックします。

「スキャンディスク」ウィンドウに戻ります。

- 7 「閉じる」をクリックします。

スキャンディスクが終了します。

不要なファイルを自動検出して削除する(ディスククリーンアップ)


パソコンを使用していると、プログラムが一時的に使ったファイルなど不要なファイルが残ることがあります。ディスククリーンアップでは、次のファイルを自動検出して削除することができます。

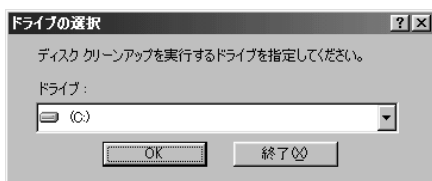
- ・インターネットの一時ファイル
- ・ダウンロードされたプログラムファイル(Active Xなど)
- ・ごみ箱
- ・一般のプログラムが使用する一時ファイル

この他に、Windowsのコンポーネントや、アプリケーションを指定して削除することもできます。


- 1 「スタート」ボタンをクリックし「プログラム」,「アクセサリ」,「システム ツール」の順にマウスポインタを合わせ、「ディスク クリーンアップ」をクリックします。

しばらくして「ドライブの選択」ウィンドウが表示されます。

- 2 「(C:)」の  をクリックして、処理したいドライブをクリックし、「OK」をクリックします。



「ディスク クリーンアップ」ウィンドウが表示されます。

- 3 「削除するファイル」欄の削除するファイルの をクリックし  にします。

アドバイス

削除するファイルの説明

「削除するファイル」をクリックすると、「説明」欄にどのようなファイルが削除されるかが表示されます。また、「ファイルの表示」をクリックすると、削除されるファイルの一覧が表示されます。

- 4 「OK」をクリックします。

削除を確認するウィンドウが表示されます。

- 5 「はい」をクリックします。

選択したファイルの削除が始まり、削除の進行状況を示すウィンドウが表示されます。

削除が終了するとウィンドウが閉じ、ディスククリーンアップが終了します。



操作をしやすいにする

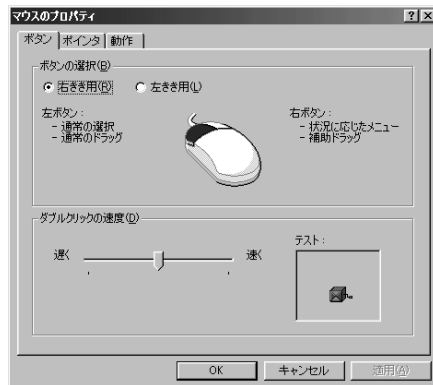
三
情報



画面を見やすくする


マウスポインタを見やすくする

クイックポイント で操作する場合は、マウスポインタの大きさを変えたり、軌跡を表示するとマウスポインタの動きを目で追いやすくなります。また、ダブルクリックの間隔やマウスポインタの移動速度は、使いやすいように変更することができます。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
- 2  (マウス) をクリックします。
「マウスのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
以下手順3からの操作は、必要に応じて行ってください。
- 3 「ダブルクリックの速度」の  をドラッグして、適切な速度に調整します。



- 4 「ポインタ」タブをクリックします。
マウスポインタのデザインを選択するウィンドウが表示されます。
- 5 「デザイン」の  をクリックし、一覧からマウスポインタ名をクリックします。
クリックしたマウスポインタのデザインが表示されます。
- 6 「動作」タブをクリックします。
マウスポインタの速度や軌跡を設定するウィンドウが表示されます。
- 7 「ポインタの速度」の  をドラッグして、適切な速度に調整します。



- 8 「ポインタの軌跡」の「表示する」をクリックして にし、 をドラッグして軌跡の長さを調整します。
- 9 「OK」をクリックします。
マウスポインタの設定が変更されます。

● 文字を見やすくする ●

「画面のプロパティ」や「ユーザー補助のプロパティ」の設定で表示する文字を大きくすることができます。




■ 画面タイトルやアイコンの文字

ウィンドウタイトルやメニュー、またアイコン名の文字は、画面のプロパティで大きくすることができます。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
- 2  (画面) をクリックします。
「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 3 「デザイン」タブをクリックします。
- 4 「配色」の右の  をクリックし、一覧から「Windowsスタンダード(大きいフォント)」か「Windowsスタンダード(特大のフォント)」の配色名をクリックします。
クリックした配色名のデザインが表示されます。
- 5 「OK」をクリックします。
画面の文字の大きさが変更され、「画面のプロパティ」ウィンドウが閉じます。

■ ヘルプの文字

ユーザー補助機能では、画面タイトルやアイコン名の文字に加えて、Internet ExplorerやOutlook Express、Windowsのヘルプの文字を、大きくすることができます。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
- 2  (ユーザー補助) をクリックします。
「ユーザー補助のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 3 「画面」タブをクリックします。
- 4 「ハイコントラストを使う」をクリックして にし、「設定」をクリックします。
- 5 「ハイコントラストの色設定」欄の「ユーザー設定」をクリックし、 にします。
- 6 「ユーザー設定」の右の  をクリックし、一覧から「Windowsスタンダード(大きいフォント)」か「Windowsスタンダード(特大のフォント)」の配色名をクリックします。

7 「OK」をクリックします。

8 「ユーザー補助のプロパティ」ウィンドウで「OK」をクリックします。

画面の文字の大きさが変更され、「ユーザー補助」ウィンドウが閉じます。

三 二 情報

操作方法を変える

Web ページを表示しない

従来のWindowsスタイルのほうが、操作しやすいという方は、以下の操作で変更することができます。

- 1 デスクトップの何も無いところに、マウスポインタを合わせて右クリックし、メニューを表示します。
- 2 アクティブデスクトップにマウスポインタを合わせ、表示されたメニューの「Web ページで表示」をクリックして (チェックマーク) を外します。

ファイルの実行をダブルクリックで

- 1 「スタート」メニューの「設定」で、「フォルダオプション」をクリックします。
- 2 「全般」タブで「カスタム」をクリックして にし、「設定」をクリックします。
- 3 「カスタム設定」ウィンドウで「シングルクリックで選択し、ダブルクリックで開く」をクリックして にし、「OK」をクリックします。
- 4 「フォルダオプション」ウィンドウの「閉じる」をクリックします。

画面とクリック方法のどちらも従来のWindowsスタイルにする


- 1 「スタート」メニューの「設定」で、「フォルダオプション」をクリックします。
- 2 「全般」タブで「従来の Windows スタイル」をクリックして にし、「OK」をクリックします。

マルチメディアファイルを楽しむ


Windows98には、音楽や動画などを楽しむためのアプリケーションが、あらかじめ用意されています。また、本パソコンにはマイクが付属していますので、音声を録音することもできます。

スピーカーの音量を調整する

音量の調整は、次の3つの方法があります。


- ・本体右側面の「音量ボリューム」で調整する。
- ・タスクバーの (音量)で調整する。
- ・「Volume Control」ウィンドウで調整する。(**▶ P.135)

これらの方法で音を消す操作を行った場合、消音するかどうかは次のとおりです。

	本体右側面の 音量ボリューム を最小にしたら 消音する？	タスクバーの  (音量)でミュート を <input checked="" type="checkbox"/> にしたら 消音する？	WAVE*2の 「選択」を <input type="checkbox"/> にしたら 消音する？	Aux*2の 「選択」を <input type="checkbox"/> にしたら 消音する？
バッテリー切れ アラーム*1	する	しない	しない	しない
エラー操作時の 効果音(WAVE)	する	する	する	しない
モデムの音量	する	する	しない	する
音楽(MIDI)	する	する	しない	しない


* 1:状態表示LCDのバッテリー残量表示が点滅したときのアラーム音です。

* 2:「Volume Control」ウィンドウでの操作です。


[Fn] を押しながら **[F3]** を押して消音にしたり、本体右側面の「音量ボリューム」で消音状態にしていると、バッテリー切れのアラームが聞こえなくなります。本パソコンをバッテリーだけで使用している場合、音量はタスクバーので調整することをお勧めします。

なお、WAVE や MIDI などの音量を個別に調整したい場合は、「Volume Control」ウィンドウで操作します。

タスクバーの (音量)で音量を調整する

- ・タスクバーの をクリックし、「ミュート」の左が になっている場合は、クリックして にします。
- ・つまみをドラッグして適切な音量に調整します。

WAVEやMIDIなどの音量を個別に調整する



- ・タスクバーの をダブルクリックし、「Volume Control」ウィンドウを表示させます。
- ・「WAVE」や「Synthesizer」の下にある、「音量」のつまみをドラッグすると、その音の音量が調整できます。
- ・「選択」をクリックして にすると、その音が消えます。

マイクを使って録音する

自分の声や楽器の音などを録音し、WAVEサウンドファイルとして保存することができます。保存したファイルの音を、マウスをクリックしたときにでる音やWindowsのエラー音にすることもできます。






マイクが使えるようにする

次の操作で、標準の設定になっているか確認します。

- 1 タスクバーの (音量)をダブルクリックします。
- 2 「オプション」メニューの「プロパティ」をクリックします。
- 3 「録音」をクリックして にし、下の一覧の「Microphone」をクリックして にしてから、「OK」をクリックします。
- 4 「Recording Control」ウィンドウの「Microphone」の下にある「選択」が になっていれば、クリックして にします。

録音する

マイクを接続してから、次のように操作します。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」 「アクセサリ」 「エンターテイメント」の順にマウスポインタを合わせ、「サウンド レコーダー」をクリックします。
- 2 「サウンド レコーダー」のウィンドウで  をクリックして録音を開始し、 をクリックして停止させます。
- 3 録音した音声を聞きたい場合は、 をクリックします。
- 4 保存したい場合は「ファイル」メニューの「名前を付けて保存」をクリックして保存します。

音や画像のファイルを開く

音や画像のファイルは、そのアイコンをクリックするだけで、簡単に再生したり、表示したりできます。

開くことができるのは、次のようなファイルです。

再生できるサウンドファイル

ウエーブ WAVEファイル、ミディ MIDIファイル

C:¥Program Files¥Plus!¥ThemesにWAVEファイルのサンプルがあります。

C:¥Windows¥Mediaに両方のサンプルがあります。

再生できる動画ファイル

AVIファイル、エムペグ MPEGファイル、クイックタイム QuickTime、MOVファイル

表示できる画像ファイル

BMPファイル、ジエイベグ JPEGファイル、ジフ GIFファイル、ティフ TIFFファイル

C:¥Program Files¥Plus!¥ThemesにJPEGファイルのサンプルがあります。

C:¥WindowsにBMPファイル、GIFファイルのサンプルがあります。

よくある操作を楽にする


三二情報

特殊な文字や記号を入力する

特殊な文字や記号を入力する場合や、読みがわからないか、読みを入力しても変換できない場合は、文字コード表やIMEパッドのソフトキーボードを使って入力することができます。

読みのわからない漢字を手書き入力する

MS-IME98の手書き入力機能では、漢字などをペンで書くと、それに似た形の漢字の一覧が表示され、そこから目的の字を選択して入力することができます。特にペンで操作しているときに便利な機能で、複雑な文字でも気軽に入力できます。

MS-IME98のツールバーの (IMEパッド) をクリックし、「手書き」ウィンドウを表示します。

左側の手書き領域にペンで文字を書くと、右側の一覧に形の似た文字が表示されるので、クリックして選択します。

このほか、複数の手書き領域を使って、文字を手書きしながら、次々と入力していく機能などもあります。操作方法はヘルプをご覧ください。

記号を入力する


読みから入力する

特殊な文字や記号でも、読みがわかれば次のように読みで入力することができます。

例: 記号の入力

「〒」= ゆうびん、「」= シャーぷ、「」= るーと

MS-IME98のソフトキーボードから入力する

MS-IME98のツールバーの (IMEパッド) をクリックして、「手書き」ウィンドウを表示し、「手書き」をクリックして表示されたメニューから「文字一覧」をクリックします。「文字一覧」ウィンドウでは入力したい文字や記号を表示しクリックして入力します。

文字コード表より入力する

「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「アクセサリ」、「システムツール」の順にマウスポインタを合わせ、「文字コード表」をクリックします。「文字コード表」から入力したい文字や記号をコピーし、貼り付けて入力します。

(チルダ)を入力する

「**~**」は、日本語入力システムがオフの状態では、**[Shift]** を押しながら **[~]** を押します。



ファイルを探して中を見る

ここでは、ファイルの検索方法や、ファイルの中身を簡単に確認する方法などを説明します。

ディスクやフォルダ内を階層的に表示する(エクスプローラ)

ディスクやフォルダを右クリックし、「エクスプローラ」をクリックすると、そのディスクやフォルダが、フォルダ相互の関係がわかる形で階層的に表示されます。

エクスプローラ上でファイルやフォルダをコピーまたは移動するときは、それらをコピー先や移動先のフォルダにドラッグして重ねます。

異なるドライブのフォルダへドラッグすると、マウスポインタに **[+]** が表示され自動的にコピーされます。移動したい場合は、**[Shift]** を押し、**[+]** の表示を消してから、移動先にドラッグしてボタンを離します。

アドバイス

常にエクスプローラでフォルダを表示するには

- 1 「スタート」メニューの「設定」から「フォルダ オプション」をクリックし、「ファイル タイプ」タブをクリックします。
- 2 「登録されているファイル タイプ」の中から「フォルダ」をクリックし、「編集」をクリックします。
- 3 「アクション」欄の「explorer」をクリックし、「標準」をクリックします。

ファイルを探す(検索機能)

検索機能を使うと、ファイルを簡単に探すことができます。

「スタート」メニューの「検索」から「ファイルやフォルダ」をクリックし、検索条件を設定します。

検索条件は「名前と場所」、「日付」、「その他」の3つのタブで設定することができます。

「名前と場所」タブ: ファイル名やファイル内に含まれる文字列や、検索するドライブを指定して検索します。

「日付」タブ: ファイルの作成日や更新日時などを指定して検索します。

「その他」タブ: ファイルの種類やサイズを指定して検索します。

アドバイス

*(半角のアスタリスク)を使ってファイル名を検索する

ファイル名検索では、「*」はすべての文字(文字のない場合も含む)に該当します。

「a*c.txt」と入力した場合は、aとcの間にどんな文字があるファイル名でも、また文字のないファイル名でも検索されます。

【例】ac.txt、abc.txt、abbc.txt、abbcc.txt など

ファイルをサイズ順・種類順・日付順に並び替える

- フォルダウィンドウやエクスプローラウィンドウにフォルダを開いた状態で、「表示」メニューの「詳細」をクリックします。
 - ファイル名の一覧を表示している領域の先頭にある「名前」、「サイズ」、「ファイルの種類」、「更新日時」をクリックします。
- これによって、クリックした項目が昇順、または降順に並ぶように並び替えが行われます。



テキストやビットマップの内容を確認する(クイックビューア)

テキストファイルやビットマップファイルのアイコンを右クリックして表示されるメニューから「クイックビューア」をクリックします。

クリックしたファイルの中身が表示され、確認することができます。

画像やインターネットドキュメントを簡単に見る(Web表示)

- エクスプローラウィンドウやフォルダウィンドウで「表示」メニューの「Web ページ」をクリックし、☑(チェックマーク)の付いた状態にします。
- 中身を見たいファイルにマウスポインタを合わせると、ファイルの中身を簡単に表示することができます。
- Web表示で簡単に中身を表示できるのは次のファイルです。
BMPファイル、JPEGファイル、GIFファイル、TIFFファイル、HTMLファイル

フォルダやアプリケーションを速く開くには

ショートカットを作る

デスクトップ上に、フォルダやアプリケーションのショートカットを作っておくと、簡単にフォルダやアプリケーションを開くことができます。

ショートカットは、次のような方法で作成します。

- フォルダやアプリケーションなどを右クリックし、表示されたメニューから「ショートカットの作成」をクリックします。

・クイックポイント で操作するときは、次のようにして作成することもできます。

フォルダやアプリケーションにマウスポインタを合わせ右ボタンを押したまま、ショートカットを作りたい場所までドラッグして、表示されたメニューから「ショートカットをここに作成」をクリックします。

「ショートカットキー」

作成したショートカットに「ショートカットキー」を登録しておく、キー操作だけでフォルダやアプリケーションを開くことができます。

たとえば、**[Ctrl]**と**[Alt]**を押しながら**[C]**を押すと、Cドライブのウィンドウが開くというようにできます。

登録するには、ショートカットを右クリックして「プロパティ」をクリックし、「ショートカット」タブにある「ショートカットキー」に入力します。

「送る」の送り先にアプリケーションを登録する

ファイルやフォルダを右クリックしたときに表示されるメニューに「送る」があります。

送り先のアプリケーションで開く

「送る」にマウスポインタを合わせると表示される、「3.5インチFD(A)」や「マイドキュメント」などの項目をここでは送り先と呼びます。

送り先にはアプリケーションを登録しておくことができます。ファイルを右クリックして送り先のアプリケーションを選べると、選んだアプリケーションを使って、そのファイルを開くことができます。

送り先に登録するときは

送り先に登録するときは、アプリケーションのショートカットを作成して、「SendTo」フォルダに入れます。





「SendTo」フォルダは、Cドライブの「Windows」フォルダにあります(C:\¥Windows¥SendTo)。

【例】テキストファイルをメモ帳で開く

「SendTo」フォルダに「ワードパッド」のショートカットを入れておくと、「送る」メニューの送り先に「ワードパッド」が表示されます。

テキストファイルを右クリックして、メニューから「送る」を選んで、送り先の「ワードパッド」をクリックすると、テキストファイルを「ワードパッド」で開くことができます。

索引

① SUS/RES表示)	
~の消灯	4
~の点滅	4
 (FM便利ツール)	101
 (PMSet98)	8
 (PMSet98)	8
 (PMSet98)	8
数字・ABC順	
10円メール	114
32Kデータ通信	15
ACアダプタに接続中の表示	8
BCC	65
BIOSセットアップ	
~の省電力の設定	6、8
~の設定の影響	6、8
~とPMSet98の設定	7
CC	65
DNSサーバーアドレス	26
Eメール メール	
FM Advisor	102
FMV診断	102
FMかんたんバックアップ	102
FM手帳	100
FM便利ツール	101
FrontPage Expressとは	100
Hatch inside	46、101
HTML形式	52、57
ID(インターネットの)	28
IPアドレス	27
ISDNカード	17

ISDN公衆電話でインターネット	16
InfoNavigator	45
InfoWeb	
~とは	23
~に加入している場合の設定	23
~の無料体験	23
~への加入申し込み	23
はじめよう!インターネット~	23
Intellisync	90
Internet Explorer	
~で接続する	39
~で切断する	42
~のオフライン作業	48
~の接続設定	73、86
LANとは	97
MAINスイッチの場所	2
MIDIファイルを聴く	136
Outlook Express	
~で切断する	59、61
~での「オフライン」	57
~での「ログオン」	60
~でメールを作る	57
~でメールを受信する	60
~でメールを送信する	57、60
~の受信メールの見かた	65
~の接続設定	75、86
~の初期設定	55
~のトレイの見かた	64
PDCコネクタ	
~用「携帯電話接続ケーブル」	14
PHS	
~接続カード	15
~でインターネット	15
PIAFSとは	15

PMS98	7、8
POPメールサーバー名	31
POPアカウント名	31
PPP	27
SMTPメールサーバー名	31
SUS/RESスイッチの位置	2
Save To Disk機能	3
～を実行する前に戻る	3
～とサスペンドの比較	3
URLとは	40
VShield	108、112
VirusScanとは	108
Volume Control	134
WAVEファイルを聴く	136
WWWとは	21
(チルダ)	138

五十音順

あ

アカウント	28
アクセスポイント	20、26
アドレス帳(メールの)	58
アプリケーション	
～のアンインストール	125
～のインストール	121
～の概要	100
～の削除	125

い

一時停止	
～状態	2、5、6、9
～する前に戻る	2、6
～と休止状態との比較	3
インストール	121

インターネットエクスプローラー	
Internet Explorer	
インターネット	
～接続設定とは	24
～接続設定の作成	25
～にInternet Explorerで接続	39
～に接続するための設定	23、25
～の始めかた	12
～への接続を切断する	42
～メール メール	
～を無料で試す	23
インターネット会議とは	22
インターネット接続ウィザード	25
インターネット番号	46

う

ウイルスとは	108
ウイルスDATファイル	112

え

液晶ディスプレイ	
～の明るさ 画面の明るさ	
～を開けてレジュームする設定	6
～を閉めると一時停止する	6
～を閉めるとサスペンドする	6
駅すばあと	103
エクスプローラ	
～でのファイルの移動	138
～でファイルを並び替える	139
エマージェンシーディスク	111

お

音	
～が出るようにする	134

～のファイルを聴く	136
～を大きくする	135
オフライン作業(Internet Explorer).....	48
終わりかた(操作、作業の).....	2
オンラインサービス	24
オンラインサインアップ	24
オンラインショッピングとは	21
音量の調整	135

【か】

開始(操作、作業の).....	2、4
加入(プロバイダへの).....	23、24
外出先でインターネットを利用	
携帯電話での利用	82、85
室内の電話回線での利用	82、85
外線発信番号	85
画像	
～のファイルを開く	136
ホームページの～の保存	53
画面の明るさ	
AC電源使用时でも暗くする	7
消えたのを元に戻す	4
何もしないで消えた	5
バッテリー使用时でも明るくする	7
画面の表示	
デスクトップのWeb表示を消す ...	133
文字を大きくする	132
漢字を手書きで入力	137

【き】

記号の入力	137
休止	
休止(Save To Disk)状態	3
～する前に戻る	3
～とサスペンドとの比較	3

【く】

クイックビューアで見ると	139
クリック操作のしかたを変える	133

【け】

携帯電話	
～接続カード	15
～接続ケーブル(PDCコネクタ用)..	14
携帯電話でインターネット	
PIAFS対応PHSの場合	15
PIAFS非対応のPHSの場合	15
デジタル携帯電話の場合	14
検索	
ファイルの～	138
ホームページの～	45

【こ】

公衆電話でインターネット	16
コネクションID(接続ID)	28
コンピュータウイルス	108
～の検査と除去	109
～発見時の連絡先	113

【さ】

再開(操作、作業の).....	2、4
作業の中断・停止・終了	2、3
作業の再開・開始	2、3
削除	
アプリケーションの～	125
不要なファイルの～	130
サスペンド	
～とSave To Disk機能の比較	3
～する前に戻る	2
～するときに休止状態になる	6
サンリオアクセサリー	102

室内の電話回線でインターネット	14
終了(操作、作業の)	2、4
ショートカット	139、140
消音(スピーカー)	134
所在地情報	72、85
署名(メール)	67
シリアルケーブルで接続する	92
受信トレイの見かた	64
受信メールサーバー	31、75
状態表示LCD	4

【す】

スキャンディスクの操作	128
スタートページの設定	40
スタンバイ	2
スピーカーの音量	134

【せ】

赤外線通信ポート	90
赤外線デバイス	91
接続(本パソコンの)	
室内の電話回線への～	14
携帯電話への～	14
PHSへの～	15
接続設定(インターネットへの)	
～の確認	73
～の作成	82
～の調整	33
切断する	
Internet Explorerで～	41
Outlook Expressで～	59、61
節電	
～機能の概要	5
時刻になったら～状態から戻す	7
～状態から戻す操作	6

操作をしないと自動的に～する	5
～の標準の設定	5
モデムが電話を受けて元に戻す	7

【そ】

送信トレイの見かた	64
送信メールサーバー	31

【た】

ダイヤルアップ接続	24
ダイヤルアップネットワーク	24
「ダイヤルアップネットワーク」	
ウィンドウ	33、87
「ダイヤルアップの接続」	
ウィンドウ	39、86
ダイヤル方法	85
タッチおじさんメール	102
タッチパネルの操作	
ホームページを見るとき	41
手書きで文字を入力する	137
ダブルクリックで実行	133

【ち】

チルダ()	138
--------	-----

【て】

停止(一時停止)	2
添付ファイル(メール)	65、68
データ	
～の交換	93
ディスククリーンアップ	129
デジタル携帯電話	14
「電源の管理」	5、9
電子メール メール	
電池のマーク	8

電話回線への本パソコンの接続

- 携帯電話に接続 14
- 公衆電話に接続 16
- 室内の電話回線に接続 14

【と】

- 特殊な文字の入力 137
- 動画ファイルの再生 136
- ドメイン 26
- 内蔵モデムの動作チェック 72、76

【に】

- ニュースグループとは 22

【は】

- ハードディスク
 - ～の異常を調べる 128
 - ～の不要なファイルの削除 129
- 始めかた(操作、作業の) 4
- はじめよう!インターネット 23
- バイナリ形式 97
- バッテリー
 - ～切れの通知 9
 - ～の残量表示 8
 - ～の充電中の表示 8
- パスワード
 - インターネットアカウントの～ 28、40
 - メールアドレスの～ 31、61
- パラレルケーブルで接続する 92
- ピー、ピーと繰り返し鳴る 9

【ふ】

- ファイル
 - 「送り先」機能で開く 140
 - 「ショートカット」で開く 139
 - ～の検索 138

- ～の転送 93
- ～の並び替え 139
- ～をメールに添付 68

- 復帰(レジューム)する 3

プロバイダ

- ～とは 12
- への加入 23、24
- に加入している場合の接続設定 23、25

【ほ】

ホームページ

- ～の印刷 47、54
- ～のオフライン作業 48
- ～の検索 45
- ～の表示 39
- ～の保存 52
- ～のリンク 41
- 「ボリューム コントロール」 134

【ま】

- マイクで録音する 135
- マウスポインタ
 - ～を大きくする 131
 - ～の動きをゆっくりにする 131
 - ～の軌跡を表示する 131
- マルチメディアファイル 136
- 無料体験サービス 23

【め】

- メーリングリストとは 22
- メール(Eメール、電子メール)
 - ～アカウント 28、31
 - ～アカウントのパスワード 31、61
 - ～アドレス 30、58
 - ～サーバー名 31
 - ～受信・送信トレイの見かた 64

～とは	21
～の作成	57
～の受信	60
～の整理	69
～の送信	58
～の見かた	65

【も】

モジュラーケーブル	14
モデム	
～が機能しているかの確認	73、76
～の選択(切り替え)	34
～の通信速度を下げる	78

【ゆ】

ユーザーID(接続ID)	28
「ユーザー補助」機能を使う	132
ユーザー名	28

【り】

リンク	41
-----------	----

【れ】

レジューム	2、3
-------------	-----

【ろ】

録音する	135
ログオン	61

Microsoft、Windows、MS、MS-DOSは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

InfoWeb は、富士通株式会社の商標です。

K56flex は、Lucent Technologies 社、Rockwell International 社の商標です。

その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright© 富士通株式会社 1999

画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。

FMV-BIBLO 情報生活術入門

B3FH-5502-01-00

発行日 1999年5月

発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。

本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利については、当社はその責を負いません。

無断転載を禁じます。

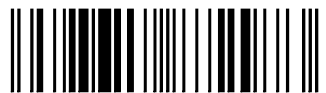
落丁、乱丁本はお取り替えいたします。

©9905-01

FUJITSU



このマニュアルはエコマーク認定の再生紙を使用しています。



T4988618872973